臺灣日日新報 夕刊
七月九日
夕刊一部定價二錢

三井、三菱、住友と薩派の間に一大連繋

齋藤首相と攻守同盟を結び資本主義修正の大勢を阻止

政友會は斷然反對せん

【東京九日發電通】政友會は政府の時局匡救對策の將來に就き深甚の注意を拂つてゐるが、齋藤首相、高橋藏相を初め政府首腦部の間にはこの際萬難を排して徹底的政策を實行せんとするの誠意なく、穩健無難な政策を以て當面を彌縫せんとする意向明かに窺知せられる外に最近三菱、三井、住友三大財閥と薩派間に一大連繋成り地方國民の要望と識者の間に起つてゐる資本主義經濟政策に對する大修正の趨勢を阻止すべく齋藤首相との間に攻守同盟成立し、この財閥の力に依つて政民兩派を巧みに操縱して第三次議會を乘切らん方針との情報あり若し政府が斯る態度を執らば政友會は斷然反對すべく、而して徹底的政策を待望する國民に與ふる失望甚しく延いて大勢は議會會期切迫と共に正面衝突の動向を辿りつつあるは特に注目に値する、更に高橋藏相の經濟的態度は黨內の不滿を生ぜしめ近く辭意を表すべく高橋藏相の向背も注目を惹いてゐる

滿鐵の後任總裁

九日午後決定せん

首相と陸相を歷訪して拓相諒解を求む

【東京九日發電通】滿鐵總裁問題が九日に持越され成行如何では永井拓相の面目問題とも關聯し重大化の虞れがあるので、永井拓相は八日午後九時私邸に齋藤首相を訪ひ自己の所信を披瀝し、首相の意向を質し會談十五分にして直ちに荒木陸相をその官邸に訪問、拓相は陸相に九日取急ぎ最後決定方針に依り決定した各省意見を述べ、軍部の圓滿な諒解を求め八日午後十時辭去した、而して軍部は關東軍の意向を確かめる要があるから荒木陸相より關東軍首腦部に照會を重ねることとなるべく、この結果最後的決定は九日午後までかかる模樣なるが、永井拓相は軍部の諒解を得て林博太郎伯に決定するものと觀察されてゐる、聞く所によれば滿鐵後任總裁として荒木陸相より正式に推薦してゐるのは豫備役大將吉田豐彥氏である、併し軍部として飽まで同大將の總裁推薦を固執するものでなく、閣僚の意見に一致した人物なら誰でもよいとしてゐる、林博太郎氏に荒木陸相が贊否を明かにしてゐないのは軍部が林博氏を完全に諒解してない結果に過ぎず、吉田大將は技術者出身で斷る、右選には軍部きつての鐵道通である

拓相、首相と會見

【東京九日發電通】永井拓相は九日午前十時官邸に齋藤首相を訪ひ滿鐵總裁問題に付き懇談した

賠償會議本會議

九日に開かる

調印を行ふに決す

【ローザンヌ八日發電通】八日午後の英佛獨首相會議の結果、ドイツは三十億マルクの支拂を受諾した、方式に關する細目は午後四時から更に會談を開いて決定することとなつたが、これで獨佛協定は完全に成立した譯である、九日午前本會議を開く筈

【ローザンヌ八日發電通】賠償會議幹部會は八日午後四時開會、協議の結果八日午後九時より本會議

山中の隱れた奉仕（二）

開墾の片手間に教へ初めたイロハ

四青年が忍苦の一年

血の滲むやうな忍苦の一年だつた、遠く人里離れた山奥に貧しい兒童を集めてなけなしの財布をはたいて育英の道にいそしんで來た四人の本島人青年その隱れた美擧が漸く當局に知られて近く表彰の計劃が進んでゐる、本紙で報ぜられた「この美談」內木山の隱れた奉仕」の愉快なニュースは各方面へ大きな波紋を投げた、誰も彼も四人の青年に禮をおくる事を惜まない、ここに彼等の踏んで來た荊棘の路を振り返つて見やう

—×—

西町派出所裏から臺車の便をかりて約一里の山路を走る、山と山とが重り合つた間の猫額大の狹い谿地、小ツぽけな民家、ゴミ〳〵した人家、見えたなら車を捨てて先づ眩道、それから山路にかかる、新しくひらかれた赤土の急坂に汗を流す事三四丁、パツと目の前に丸太ン棒の門と竹の扉が立ちふさがる、中に入れば趣味も豐かに按配された花園、粗末な板と竹の網へ泥をぶつけた家、それに萱をふいた校舍がある、此處が昨春に設立された「國語普及學校」卽ち彼等の貧しい血と汗とを當つた殿堂なのだ

—×—

主人公たる青年達は[illegible]

の四名、この四人のものが集まつて一つ內木山の開墾でもやらうぢやないかと相談し合つたのが一昨年の四月頃だつた。其時分は恰度不況の眞只中で、失職中でもあり大來氣で七月から開墾を進め出した、勿論資金のあらう筈もなく各自わづかな小資錢を割いて共同で無盡會社に五百圓の加入をした、その月六十圓を借入れ十一月には全額を投じて開墾の鍬入れを始めた、そして開墾から一甲步の土地を年三十圓で借り入れてここに彼等の事業の第一步を踏み出した、日の出前に起きて鍬を振り月の出を見て始めて手を洗つた。一心不亂に困難な小地の開墾に彼等の全精根を注ぎ込んだ

—×—

一般を眺めてゐた部落の人々にも何かしら感激に似た衝動を與へたらしい「謹方方の酸く合間に是非私の子供に國語を教へてやつて下さい」一人二人三人と彼等の下に集る子供の數が殖えた、子供の數が殖える每に彼等は開墾よりも授業の方により以上の關心を持たねばならなかつた、其處で約百圓を投じて四人の勞力で雨露を凌ぐに足るささやかな小屋をつくつた、勿論貧困な部落民の兒童で教科書や文房具から一切の設備、教科書から文房具の一部迄總局は彼等の財囊を絞らねばならなかつたかくて同年四月昭和六年の四月からこの國語普及學校は呱々の聲を揚げたのである

—×—

每日交代で山の校舍へ通つた、たとへその規模は小くとも事業そのもののもつ大きな意義に彼等は常に年若き特有の胸の躍動を覺えた

—×—

だが彼等の前途にも矢張りのしかかつて來る苦惱があつた「あいつ等に何が出來るか」「つまらない事だ」「馬鹿な奴等だ」樣々な惡罵がかつては先輩や友人だつた人人から暴風の樣に浴びせかけられた。それに當然來るべき經營難の經濟苦が待つてゐた。つまらぬ何にもならぬ、一層の事やめてしまふか彼等の心に兎つて彼等は幾度となく語りあつた、だが朝毎に通つて來る子供等の顏を見るとボールドに向つてイロハを書くと知らず知らずに投げ出さうとした氣持はなえて又新しい力が加はつて來るのだ「ようし生徒が捨てて行くまでやるんだ」[illegible]

[illegible]

海賊襲擊の證據を蒐集

外交問題に移されん

全進丸船員の聽取り開始

【基隆電話】既報海賊船に襲はれ漸く逃れ歸つた第二十二全進丸につき詳細なる取調べを行ふため八日夜から州東州刑事部長以下警部、木村、蘭類部等が來港、九日早朝から水上派出所に陣取つて基隆郡清水刑事主任と共に全船員の總き取りを行ふと共に、各方面に亙つて調査をなしつつある、午後からは總督府側官も來基する筈で、證據品の蒐集をなし直に事件を總督に附すると共に外交問題に移すと言はれてをり、本島として稀有の事件だけに今後の成行が注目されてゐる、更に海軍側でも今後の警備の參考に資するためとある筈である

重傷ではあるが生命は安全

川本、古田の兩船員

賊徒のため重傷を負うて基隆醫院に入院せる川本總太郎、古田榮の兩名を醫院に訪へば兩名共割合にしつかりしてゐるが、縫合手術を受けてゐる事とて一言の挨拶も出來なかつた、何田院長は語る

川本は頭九二發を摘出した、一發は左胸から肺臟部近くを通つてをり可成の重傷である、古田は四發、一發は頸を貫いてゐて顏面神經の近くなので摘發には餘程注意しないと口が曲る懼れがあるので苦心してゐるが順調にゆけば一ケ月位で癒るだらう

州刑事課木村警部は語る

摘出された彈丸は見たがどんな種類の拳銃だかまだ判らぬ、ケースは隨分小さいものだつた

五大海軍國の特別會議

英代表が主張

【ゼネバ七日發電通】軍縮英國代表ザイモン外相はロンドンに於てフーバー軍縮案に對する英國對案の發表あるや次の如く言明した、余は問題の重大性に鑑み先づ五大海軍國に於て特別の會議を催しワシントン、ロンドン兩條約改正に關し協議の必要ありと信ず

を開會、可決配布を爲し、九日午前調印を行ふに決定した

殖田局長視察

殖田殖產局長は既報の通り吉良技師、大石作業課長、榴暇技師を隨へ九日午前八時半臺北發列車にて出發嘉義試驗所、八仙山、阿里山營林所視察の途に上つた

滿蒙懇談會に外相が出席

【東京九日發電通】內田外相は八日午後七時より次官官邸に開催の外務省滿蒙關係懇談會に出席滿洲國承認、調查團との會見問題に付き懇談十時過散會した

フ案を受諾

支那の外八ケ國

【ゼネバ八日發電通】本日の軍縮一般委員會に於てメキシコ代表の演說後、左の九國はフーバー案を受諾した

メキシコ、支那、スエーデン、エストニア、ペルシヤ、ルーマニア、ヴェネズエラ、ニュージランド、アルゼンチン

エリオ佛內閣大多數で信任

【パリ七日電通】フランス下院は七日失業救濟政策に關しエリオ內閣信任投票を行つた所大多數で信任された

上旬貿易

出超七百廿七萬圓

【東京九日電通】大藏省發表、七月上旬主要各港對外貿易は左の如く七百二十七萬圓の出超を示した（單位千圓）

輸出	二九、〇五九
輸入	二一、七八一
差引出超	七、二七八

明年度豫算の說明を聽取

財務局が十四日から始める

總督府財務局では明年度豫算編成に關する各部局よりの要求說明聽取を目下整理中であつたがいよいよ來る十四日より左の日程の下に要求部局の說明聽取を始めることとなつた

一、豫算要求部局の說明聽取　自七月十四日至七月二十八日（十五日間）
一、豫算主任查定案作製　自八月一日至八月十日（十日間）
一、財務局查定局議決定　自八月十一日至八月二十五日（十五日間）
一、財務局查定案作製　自八月二十六日至八月二十七日（二日間）
一、府議決定豫算會議　九月上旬
一、總督說明聽取　九月中旬

なほ說明の聽取は今月一杯の豫定で、八月一日より同十日までは主計課豫算主任に於て右に對する查定案を作成し、同十一日より二十五日までの十五日間はこれを纏めて局內の查定會議を開き次の二十六、七兩日を以て財務局查定案を作成し、九月上旬中に長官總督に說明府議決定會議を開き最後の決定案を得、これにより歲出豫算を編纂して中央拓務省へ送付する豫定である

宋子文辭表を撤回

【上海八日發電通】辭表を提出し自邸に引籠り中の財政部長宋子文氏は輿論に於て折衝中なりし上海銀行團から共同借款月百五十萬元を支給されることに決定し、七日夜辭表を撤回して急遽南京に向つた

來月二十日に日銀總會

記念配當として年一割增配

【東京九日發電通】日銀では來月二十日株主總會を開き上半期決算を附議する筈であるが、株主配當は一割據置きとし外に創立五十年記念配當として多分年一割（半期五分）を增配することとなる模樣である

道路港灣課長任命さる

松本虎太氏

交通局道路港灣課長は池田氏が退官して以來小谷庶務課長が課長事務取扱ひとなつてゐたが九日付松本技師が課長に任ぜられた

交通局技師　松本虎太
交通局道路港灣課長兼基隆築港所長を命す

人事

▲岡田財務局長　十三日までの豫定で高雄、臺南、臺中、日月潭、嘉義、新竹を視察
▲津田清彥氏（三五公司重役）　九日南部へ
▲山縣勝見氏（辰馬海上火災保險常務取締役）　九日南部より來北（鐵道ホテル）
▲林眞助氏（京都日本紙工株式會社代表取締役）　九日內地へ

無絃琴

さる運動俱樂部の幹部連をひそめて曰く「總督で若い日本の運動選手をカリホルニアなどの柄の惡い所へやるのは心配でなりませんね。ロサンゼルスにしてからがキネマの本場だし心配に堪へませんよ。スポイルされはしないかと……」と自分の子供でも行つてゐるかのやうに心配してゐる。而もその一行は既に桑港につき支障にも第一著に米國モノのキネマ見物をしては[illegible]

その日その日

○軍部が合那的に過去の無批判的な結束を清算するといふのなら結構だらうが、さて……
○サーベルの發言は暴力的言辭であり、爲めに無批判的盲從を強要される恐れがある
○斯ういふ事が國民の對軍部心象に暗影を投ぜぬかを吾等は恐れる
○噂ソレだけ
○一個の永田秀次郎君をあつちこつちと盛んに引つ張り廻す、今度は某總督、民政長官の噂、復文官ださうな。
○梶原仲治君の滿鐵總裁、揺ればなら、今の滿洲事情では誰でも滿鐵總裁は勤まる、周章の雌
○ハルビンの英人誘拐匪大頭物は滿洲國官憲の大手柄、不然に對し
○調子づいてゐた世界早廻り使がロシアで不時着、兎かくロシアは空まで危險地帶と見える
○愛國機二十六號の代機が得られたら是非得たいもの、無心の機器を拾でも矢張夫婦が宜しい
○南支で海賊にさらはれた二十二全進丸の歸客は殆ど拾ひ物
○本島の現住民四百七十一萬、十年前には三百七、八十萬、なんと詰めよ殖えよの盛況さだらう
○臺灣米の移入制限はチト酷だ全島大會もよからう、更に角民論の合理的反映は必要々々
○の南軍出馬でおつけ出したのだらう、恐らく鷹揚ましに支那から海賊退治に出すか

へてもモノにならず且つ新國ず方向轉換をしたが今日では驟ろそれが仕合せで關西で實業家になり濟ましてゐる▲臺灣へは十一年振りの來臺ださうだが十一年といふと一昔前の臺灣と今日と、どの位實際的に變つてゐるか一つ一つ隅々を見て批評して貰ひたいものだと稻垣邊は言ひ合つてゐるさうだ。

火の鳥（135）

前田晁作
橋本邦助畫

再發（四）

八疊の座敷の床の間寄りのはうに、南を枕にして千代子は寢てゐた。今のつづけざまの咳きで、透通るばかりに蒼白い頰にはほんのりと赤みがさして、洗はれた瞳はかのやうに美しかつた。

「おねえさん、いかが？」

靜枝は部屋へ入るなり明るく聲をかけて、姉の枕元へ近づいた。

「まあ、靜枝さんだつたの。なんだか騷々しい聲がすると思つたら。」

千代子は大きな潤いい眼を一杯大きく見張つて、「でも、忙しい人が、よく出られたわね？」

「ええ、あたし。」と、靜枝は眼に顯ひついて、「御病氣の事なんか、ちつとも知らずに、あんまり

さん、あたしみたいに、しよつちう病氣ばかりして、そのたんびにおかあさんに御心配かけたり、何から何までお世話になつたり、本當になんて不孝者でせうねえ」

「まあ、おねえさんてば、なに言つてるのよ。そんな事いふ暇のはうがよつぽど親不孝だわ。あたしなら、親が病氣なんて不幸な目に遭つた時は、見て下さるのが親の當然の義務ぐらゐに思つて、平氣でお世話になるわよ。」

「まさか……」

「本當よ。ねえ、おかあさん、わたしなら、さうしてよ。」

「さうともさ。わたしも其のくら

御無沙汰したものだから、けふは一つゆつくりおしやべりするつもりで來て見たのよ。さうしたら、おかあさんがひよつくり出ていらつしやるんですもの。びつくりしちやつたわ。」

「わたしだつてびつくりしたよ。」と、母親があとを承けて、「だつて、靜枝つたら、わたしの顏を見ると、あ、おかあさんて、こんな顏をするんだもの。ハ……」

さういつて、彼女は目を丸くして、口をあいて、おどけた手付をして見せた。

「まあ、ひどい、わおかあさん！」

靜枝が賑やかに笑ひ出すと、千代子も口許に淋しい微笑を浮かべながら、母親もわざと剽げた微笑を見せた。千代子の枕元のはうへまはつて行つた。

「さあ、枕を代へやらね。」

彼女が膝を突いて、千代子の頭を上げてやると、靜枝が新らしいのをかつてやつた。取つた氷枕はまるで湯のやうに溫く溫けてゐた。

母親と靜枝とは思はず曉然と目を見合せた。

「……ああ、いい氣持になつたこと！」

千代子は頭のすわりを自分でエ合よく直しながら、「ねえ、靜枝

るのはうが、氣樂でいいよ。……」

「まあ、おかあさんまで。……」

「ほんと、ねえ、おかあさん。そのくらゐにしてゐれば、病氣になんかなりませんわねえ。一體、おねえさんは神經質で、氣を使ひすぎるからいけないのよ。あたしみたいに、のんきにしてゐればいいのにさ。」

千代子は、靜枝が夫の一風變つた女道樂の爲に、年中苦勞の絕えた間のないのをよく知つてゐた。それを氣ぶりにも見せずに、わざと冗談めかした事を言つたりして、慰めてゐてくれる心根がいぢらしかつた。

二人はなほもそれからそれへと話した。

母親は默つて暫らく聞いてゐたが、あまり千代子を疲れさせてもと思つたので、やがて脇から言ひ出した。

「ところで、もう三時になるよ。お前さんたち、お腹が空きはしないかい？」

「さうね。」と、靜枝が直に受けて「何か頂きませうよ。みんなで一しよに食べられるものを。何がいいか知ら？」

「さあ、何がいいだらうね？」と母親も小首をかしげた。

銘酒 白鹿

臺灣愛國號の二機 愈よ晴れの命名

十日午前九時臺北練兵場で

參列及觀覽者への注意

愈々晴れの命名十日午前九時から臺北練兵場で愛國第二十五臺灣及愛國第二十六臺灣（破損）の獻納式が行はれることゝなつたが、參列及觀覽者は圖の如き式場全般の配置位置に依る事になつてゐる、尚參列者並に觀覽者心得として左の如き注意事項を守られたしと

一、招待者は川端入口より參集し受付係に招待状を示されたし

二、諸團體は成るべく指揮者の引率を以て川端口より入場し係員指定の位置にて觀覽せられたし

三、一般觀覽者席は圖の如く二ケ所を設定しあるも成るべく川端堤防上に位置せらるゝを便とす

四、式典は正九時開始すべきに付午前八時四十分迄に入場せられ度尚一般觀覽者及諸團體は特に混雜すべきに付成るべく早めに集合せられたし

五、式場における諸合圖を左の如く打上げ花火を以て行ふ

△式の開始及終了（青旗）△君ケ代合唱（日の丸旗）△萬歳（日の丸旗）△飛行開始（赤旗と黃旗との併用）

六、式場に於ては飛行車危害豫防のため絶對に係員の指示に從ひ自由行動を避けられたし

七、式終了後臺北市上空を數回旋回後終了せば退散差支なきも練兵場を通過して退散するものは成るべく次の飛行を顧慮し速かに場内を開放せられたし

八、午後一時乃至一時三十分離陸基隆、宜蘭、羅東、蘇澳、花蓮港の諸市街を訪問飛行の豫定

九、當日炎暑を顧慮し數ケ所に救護所の設備をなしあるも來集者に於ても赤痢病の豫防等に就ては特に注意を拂ひ水筒携行せられるが好い

獻金代表者 愛國號を點檢

九日、練兵場に於て

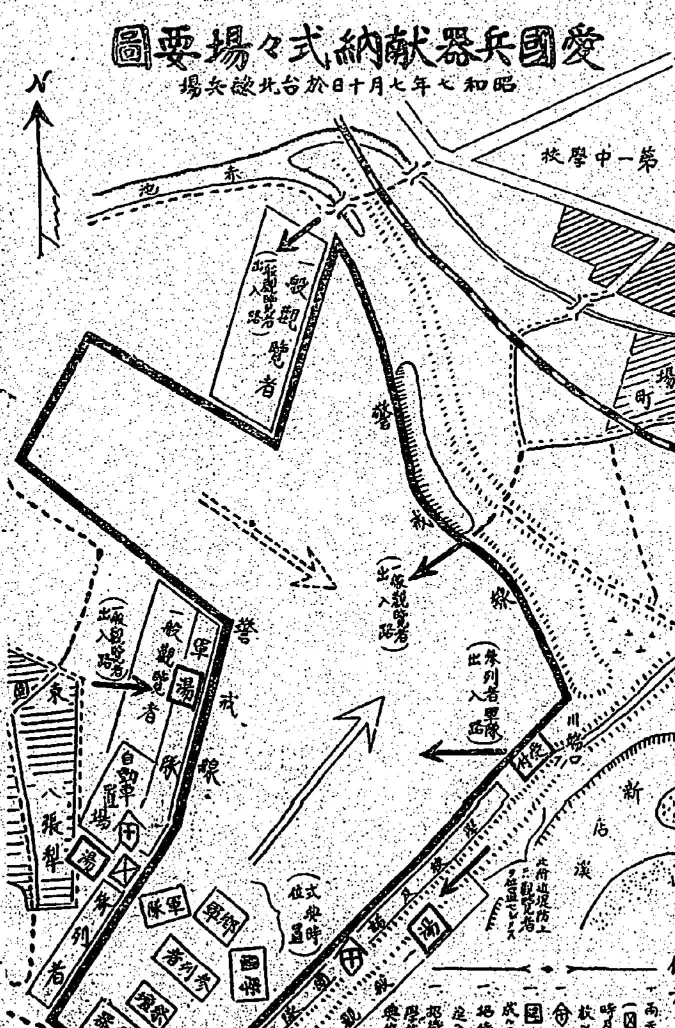
愛國兵器獻納號の獻金者代表の點檢は九日午前十一時から臺北練兵場に於て行はれた、獻金代表として外山守備隊司令官、平塚總務長官、堀內臺北州知事、鈴木海軍武官等は清水參謀長始め淵瀨參謀、峰尾兵器部長、仁紙步一聯隊長等と共に練兵場に來着、徳野飛八聯隊長の案内で「愛國第二十五臺灣」及び九〇式空中聽音機大小三筒を點檢、飛行機に付ては內山少佐の說明で機の構造性能に就て聽取し投彈投下操作の實機を見、聽音機に就ては兵器部牢屋大尉の說明で構造諸元に付て聽取する所があつて正午點檢を終つた

愛國二十六號機は陸軍省が代りを新造

命名式には偵察機を代用

晴れの命名式を目前に控へて愛國第二十六臺灣號は不時着破損のため使用し得なくなつたので、臺灣軍司令部では即刻陸軍中央部に打電、善後措置を講じたが陸軍省からは「愛國第二十六臺灣號」を新に製作して島民の赤誠に副ふとの返電があつた、十日行はれる命名式には八日屏東を離陸臺北へ飛來せる八八偵察機卅一號を以て「愛國第二十六臺灣號」となし之に命名し、約一ケ月後には完成すべき新銳の八八輕爆と代ゆることとなつた

愛國號命名式前の檢分 （上右）平塚長官、外山守備隊司令官らが命名式前の九日愛國機の檢分（上左）聽音機の試驗（下）大型聽音機の据置工事【何れも臺北練兵場にて】



聽音機の命名決定

無電機と共に

本島島民の兵器獻納金によつて製作され獻納されることとなつた八八式輕爆二機は「愛國第二十五臺灣」「愛國第二十六臺灣」と命名され、九〇式大空中聽音機は「愛國第十臺灣」同小聽音機は「愛國第十一臺灣」及び「愛國第十二臺灣」二キロワット短波無線電信機は「愛國第五臺灣」と命名される筈である

命名式當日の操縱勇士

十日命名式當日愛國臺灣號操縱の空の勇士は次の如く決定した

◇命名式　第二十五號操縱田副中尉、同乘河村大尉　第二十六號操縱內山少佐、同乘高田軍曹

◇第一回飛行　第二十五號內山少佐、第二十六號田副中尉

◇第二回飛行　第二十六號高田軍曹、第二十五號田副中尉

◇第三回飛行　第二十五號高田軍曹、第二十六號內山少佐

逃げる馬占山を我が軍追擊

馬は松花江溯江か

【奉天八日發聯合】馬占山は三日綏稜の東方廿キロの地點を通過して東北方に逃亡したとの報知があつた、恐らく松花江岸綏北から同江を溯江するらしいので我が軍は追擊を開始した

支那選手 劉長春渡米

【上海八日發電通】支那唯一の選手劉長春は八日朝上海發のプレヂデント・ウイルソン號で渡米した

臺北第一高女 新高登山

臺北第一高女安部山部長以下二十八名は村上教諭外三名の教諭に引率され新高登山をなすが十日午後十時三十分臺北驛發、阿里山及び新高山に登り十七日午後三時五十五分臺北驛着解散の豫定である

臺北第二高女 草山夏季學校

臺北第二高女では夏季休暇を利用し七月十一日より二十日迄十日間草山公共浴場に草山夏季學校を開く事となつた、參加生徒は約百名で十一日九時半開校式を行ひ二十日午後四時閉校式をなし解散の豫定である

華僑護國空軍 福建に設置

十九路軍に配屬さす

【香港八日發電通】廣東空軍は今回福建に華僑護國空軍設置を決定しこれを十九路軍の直轄下に配屬せしむることとなつた

栃內大將危篤

腦溢血で卒倒して

【盛岡九日發電通】八日腦溢血で卒倒せる栃內大將は九日午前十時半危篤に陷つた

九日から夏休み

全島の中、小、公學校共 休み中AKから復習の放送

九日を以て全島一齊に中學校、小公學校の第一學期を終へ十一日から愈々暑中休暇となり八月三十一日まで約二ケ月間學校では休みとなるが臺北市の小公學校では一年生から六年生まで全兒童に夏季課題を課し其の復習を獎勵せしむる爲め休暇中々十一日から八月三十一日まで臺北市內小學校訓導がJFAKから放送を開始するが、その時間割りは左の通り

△月曜日　午前七時より七時半まで一、二年生（旭及樺山）、午前七時半より午前八時まで六年生（樺山）

△火曜日　三年生（壽）五年生（旭成）

△水曜日　一、二年生（旭及び壽）、四年生（南門）

△木曜日　休み

△金曜日　午前七時より七時半まで三年生（南門）五年生（旭成）

△土曜日　午前七時半より八時まで六年生（樺山）四年生（南門）五年生（旭成）括

（註）（）は放送の番に當る小學校名

坐つたまゝ縊死

病苦を悲觀した結果

臺北州七星郡北投庄北投二六九林氏色は自宅病室に於て二十上る梯子と竹竿の上に竹竿を渡たし細紐にて吊下り坐したるまゝ縊死してゐるのを八日午前五時家人が發見し届け出たが右は一年以上も病床にあつたもので病苦のため人生を悲觀しての結果である

下淡水溪改修工事促進の陳情

委員、督府幹部を訪問

高雄州下淡水溪改修工事の促進に付き屏東街長渡邊、高雄州協議會員白石代治、高雄州總務部長木間榮吉、府評議員藍高川の四氏は八日山北同日岡田財務局長と會見陳情したが九日は午前十一時半より平塚長官を訪問陳情する所あつた、陳情の趣旨は下淡水溪の改修工事は昭和六年をもつて完成する筈であつたのがその後豫算の都合をもつて繰り延べとなり只今では昭和九年迄かゝる事となつてゐるがこれも更にくり延べさるゝ樣な形勢にあるのでこれ以上延期されぬ樣又現在の工事も多少遲延してゐるので一層進捗をはかられたいと言ふのであるが豫算問題についても陳情する所あつた

島津帥氏歡迎會

シカゴ日本人共榮會主事島津帥氏が八日本島視察のため來臺したので同氏の世話になつた人々相集り十日午後六時から鐵道ホテルで歡迎會を開く由出席希望の向は直接ホテルへ申込まれたいと（會費四圓當日持參のこと）

河中に顛落し溺死

臺北州七星郡汐止街汐止字下寮七八一陳溪は七日午後八時頃實兄陳長成の所に飯を持つてゆくとて家を出たが道を間違ひ同所堤防より足を踏外し河中に顛落溺死してゐた

京町假裝投票 當選者

八日夜の京町假裝投票は豫定通り十時に終了したが、當選者は中川、秋山、牧野、服部、岡、勝、高橋、北村、田端、伊藤、前田、奧村、野、岡島、前田、平、大塚、坂本、平井、久保の諸氏內平井、久保の兩氏の賞品は未だ不渡しに付至急京町事務所に申出受取られたいと

天氣概況（九日）

本島は南寄の風弱く晴れ勝ちの好天氣でありますあり

△天氣豫報（十日）

一區（北部）二區（東部）三區（南部）南西の和風晴

臺北地方　南西の和風晴

各地氣溫（八日）

	最高	最低
恆春	三一・九	二五・三
臺東	三二・七	二四・一
高雄	三三・三	二五・五
臺南	三三・六	二五・〇
澎湖	三二・一	二六・三
花蓮港	三二・〇	二四・八
臺中	三四・三	二四・三
基隆	三三・四	二五・〇
那覇	三〇・一	二六・〇
長崎	二四・一	二一・七
臺北	三五・九	二五・〇

商況（九日）

米況

正米市況（前場）

期米安に又頓挫

▲一期蓬萊米　當限 六、九五 六、九四　中限 七、〇〇 七、〇二　先限 七、〇八 七、〇九

前日期米反動扱しの氣先、新氣崩めと蓬萊米大移出の懸念にて反撥力鈍く今朝大阪先二四四六四錢と四丁上寄りしたるもアト地場軟派の賣叩きに逐落二四四二〇錢安止めとなる、蓬萊米は前日引續買人氣となり當限七四七錢、中限七四十六錢位を唱へたが今朝期米安に買人氣となり場外で當限七四丁度中限七四八錢出來立會へば穀物出當限六四九四錢と前止より八丁安中限七四〇一錢と十一丁安、先限七四〇八錢と九丁安に打止む、出來高當限三八車、中限百十八車、先限十八車、內地へは中部產神の七四三十五錢出來アト買人、北部產現物表諸竹の六四九〇錢

大阪期米

▲前場

節	當	中	先
一	二四〇三	二四四五	二四六四
二	二四〇〇	二四四〇	二四五九
三	二三九一	二四二〇	二四四九
四	二三九一	二四二一	二四四二
五	二三九〇	二四二三	二四四二
六	二三八七	二四二〇	二四四一
七	二三八一	二四二五	二四三九
八	二三八〇	二四一五	二四三三
九	二三七六	二四一〇	二四三〇
十	二三七〇	二三九〇	二四二〇

▲後場

節	當	中	先
一	二三五三	二三七七	二三九九
二	二三四九	二三八一	二三九六
三	二三五五	二三七一	二四〇四
四	二三四六	二三七九	二三九五

東京期米

▲前場

節	當	中	先
寄	二三八〇	二四一五	二四二五
止	二三五〇	二三八九	二三八六
高	二三八〇	二四一九	二四二八
安	二三五〇	二三八九	二三八六

▲後場

節	當	中	先
一	二三三五	二三六九	二三六一
二	二三一〇	二三三〇	二三四九
三	二三〇九	二三三一	二三三六
四	二三〇五	二三四五	二三四六
五	二三一五	二三三五	二三四〇

神戸期米

▲前場

節	當	中	先
寄	二三九二	二四三九	二四六八
止	二三六〇	二四〇五	二四一七
高	二三九二	二四二九	二四六八
安	二三六〇	二四〇五	二四一七

▲後場

節	當	中	先
一	二三四八	二三八〇	二四〇四
二	二三三五	二三七五	二三九二
三	二三三〇	二三七九	二三九四

株式

東京銀行實株

日銀	五〇〇、〇	同新	三五八、〇
正金	一四五、〇		
勸銀	四七、三	同新	三〇、二
臺銀	六九、五	同新	一七、五
鮮銀	五六、〇	同新	一四、二

頑固 慢性 ぢ痔 特に脱肛 悩む人々への福音！
痔疾！痛い！切つても灼いても治らぬ頑固な痔の方や永年脱肛で困つてゐた人が！一月か……タツタ二回の內服で其の苦痛を取去り……全快の喜び……

割烹 梅本 電話五五三番

御料理 竹の家 電話三六八四番

割烹 新喜樂 電話二三四七番

すき燒 割烹 小永樂 西門町二丁目 電話二一八七九番

割烹 梅屋敷 電話九七六番

割烹 丸新 電話二〇五番

割烹 日本亭 電話二一七六番

蒲燒 天ぷら 御料理 中惣 電話八六八番

新生完備 臺灣料理 宴席其他 新起樓

勉強堂

內地みやげ 中元特賣 蜜餞各種 新高飴 豚デンブ 木瓜糖 落花糖 鳳梨蜜餞 落花生（罐詰）其他各種 東陽製菓部 東陽物產商會

近日上映 太平洋 全十二卷 芳乃館

耳鼻咽喉科 長尾醫院 電話三六八七番

風ならキット治る 感冒藥 バンコー

買賣株式諸債社公 長期清算取引 大株一般取引員 松井輝三商店 大阪市北濱二丁目

暑中休暇來る 內地への土產に 南國の臺灣！情緒豐かに表はせる特異の工藝品全店內豐富陳列是非御立寄御觀覽願ひます 定評ある臺灣物產商 山一物產販賣所 臺北・榮町一（電話九七四番）

イカリソース 原料は野菜と果實 獨特の葡萄酢を配す

殘月譜 (225)

志乃田紬司作　清水三重三畫

相見互ひ (三)

聞りと云はれて、流石、職隊らしい武家は、聞へ、ぐつ、と來たらしかつた。

が、困つて、無いと知れた懐中へ、叉手をやつた。

「さ、どうしてくれるんだい」

ならずもののやうに、悪駄直しは、尻をまくつた。

「抜け〳〵、無禮打ちにしろ！」

「悪駄直し、負けるな」

「おれがついてらあ、どつちも負けつちまへ！」

群衆は、口々に野次つて、はては、どつ、と笑ひ聲をあげた。

その時である。傍らに菰を被つて寐て居た乞食が、むつくり起き上つたのである。

「待つてくれ！」

群衆は、どつ、と笑つた。

「や、お菰ぞこりや面白いや」

乞食は、さう云ふ群衆へ、ぢろりと眼をくれてから。

「お武家さま、さぞお困りで御座いませう。さ、早くお立ち去り下さいませ、いいえ、僅かばかりの金、私が、はい、拂はせて頂きます」

と頭を下げて、さて、悪駄直しに向つた。

「おい、金さへやりあ、文句はないだらう、さ持つて行け、いいかみす〳〵金をお忘れになつたことが判つて居る際に、態態云つたり悪口雜言したりするのは怪しからん奴ぢや、今度、そんなことをすると、儂が承知しないぞ」

乞食に睨まれて。

「へい、どうも濟みません」

悪駄直しは、ぴよこ〳〵頭を下げて金を受取つた。

「おい、その旦那さまに、お禮を云つて行け！」

「へえ」

悪駄直し、頭を掻き〳〵。

「へえ、どうも濟みませんでした、ありがたうさんで——」

武士に頭を下げると逃げるやうに行つてしまつた。

「かたじけない、明日は必ず返しに参る！」

武士は嬉しさうに禮を述べた。

「なあに、おついでの時で結構で御座います」

乞食は、又もや、菰を被つて、もぐらうとした。

武士は立ち去つた。

「ちえつ、面白くねえや」

群衆は、勝手なことを云つて、だん〳〵去つて行く。

と、その時まで、默つと、此の様子を見て居た立派な武士が、供を手招きした。

何やら、ぼそ〳〵供の耳に囁いた後、懐中から金を包んで渡した。

「へ、宜しう御座います」

供の仲間は、つか〳〵と乞食の方へやつて來た。

金を包んだのを、恭しさうに眺めて。

「これ、お菰さん、お前さんの先刻の取捌らひ、實に見上げたものだつて、俺の旦那さまが感心して、さ、お屋敷へ伴つて下さると云ふんだ、さ、これが手付だ、いいかい、これで直ぐ身装をととのへて持つてやるから、俺と一緒に來い」

乞食は、仲間の指さす方を見て、その立派な武士に視線をやつた。

が、忽ち、ごろり、と横になつてしまつた。

「眠る邪魔だ、行つてくれ！」

その聲は言次であつた。

榮座の『殘月譜』 七日から上演の前篇

七日から榮座に上演してゐる本紙夕刊連載中の大衆小説『殘月譜』前篇（十場）を觀る——全體に原作に忠實に、ズラ〳〵と筋を運んでゐるし、場面の變化が舞台によく出來てゐる。

× ×

場面には胸のすくやうな、大殺陣あり、ユーモアたつぷりな喜劇的情景あり、それに俠艶美女の活躍と戀慕の葛藤を絡んで、近頃面白い時代劇を見せてゐる。

× ×

主役井上八郎の大阪稲之助は、代官の倅でありながら、二子を捨て不良の如女を拗いて放浪の旅から江戸へと人世の裏を行く生涯、その特異の性格をよく描き出してゐる。

× ×

徳川新之助の實三は、稲之助の父代官の爲めに自分の親を殺された仇として、子である稲之助をつけ狙ふ執拗さ、如何にもその人らしく、すつきりした好い役者だが、もう少し一徹な所が現はれて貰いやうに思はれる。

× ×

人公の性格が性格だから六かしい、行かうとする狙ひ所は好い、ただもう少し遊びがあつて欲しい、主役をしないで、親で氣分を出して居る、肝石格らしい感じで、偉りぽつと力強い啖呵が聴きたいものだ、セリフに力が足りないやうだ。

× ×

村田到美子が、おてる役と長唄師匠役の二役で活躍してゐるが、艶つぽさと歯切れの好いセリフとで一座を引き立ててゐる、一座の花形である

× ×

清水森治の馬道の長太役は、若侍の役だ、江戸弁でまくしたてる啖呵も好く切れた。二役の穏井來の家老も重味があつた

× ×

力士三子ケ浦は儲け役だ、ユーモラスなグザサャ許嫁が觀客を笑はせた、その他大詰の喧嘩の立廻りは喚哨もどきの恐悧さがあつた。しかし、まだ全體の統制が充分にとれてゐないのは遺憾である、が、大體において面白い芝居になつてゐた（一記者）

アメリカ雜記帳 (四)

在ボストン　江口杏十

心細かつた話

シカゴから一晩夜の汽車に揺られて、自分の目的地であるボストンの南停車場に降りたのは一九三一年二月七日の午後三時だつた。日本からアメリカに着いて十二日目である。目指す此の町に、日本人は少しは居ると聞いてゐたが自分が知つてゐるのはM君唯一人である。そのMといふのも、間接の紹介によつて名前を知つてゐるといふだけに過ぎない。シカゴを發つ時に、列車の番名と時刻とを電報で知らせて置いたのだが、さて汽車を降りて見渡したところ、その日本人が居ない。こんな時には白人の間から日本人はお互にすぐ識別して見出し合ふ事が出來るので、東京驛の人混みで人を探すのと違つて甚だ便利である筈は、シャトルから此處迄の旅行で二度ばかり經驗したところなんだが、さてその黄色い顔が見當らない。

× ×

さては電報が屆かなかつたのか知らん、既にシーンと心細くなつてしまつた。五分間ばかり唯茫の様に呆んやり立つて見廻してゐたが、たうとう無駄だと知つたので私はスート・ケースと共に歩き出した。人待ち顔なこの若い東洋人の様子を氣の毒に見たのであらう今一緒に降りた一人の紳士が

「何處へ行くのか」

と尋ねるので

「余はボストン・テクへ行くものなり」

と答へた

「道を知つて居るか」

といふ。勿論完全に知らないといつたら、安心した様な顔をして行つてしまつた。……などと書くと、此の所いかにも流暢だが、實際はこれと大分ちがふ。向ふがそんな事を言ふ様だから、こちらもそんな事を言つた積りであるに過ぎない。

× ×

寒いと聞いてゐたボストンの冬は案にたがはない。粉の様に細かい雪が、霧の様に凍冷え〳〵と降つてゐる。仕方がない。私はあきらめて、M君の居るボストン・テクの寄宿舎へ兎に角たづねて行つて見る事にしてタキシーを呼んだ。タキシーは心得て走り出した。凍てついたアスファルトの道の上をどらない様に後輪に巻いた鐵の鎖が、シャラ〳〵と淋しい響を立てながら、自動車は走つた。

大きな河を一つ渡つたら、そこがもうテクの寄宿舎だつた。ナーンだ。歩いたつて十分だ「事務所」とある所へ行つて

「余は日本から來たばかりの者なり」

と例の直譯的英語で先づ煙幕を張つておいてから、M君は居るかと尋ねると、彼の部屋を電話で呼んで見たが、彼は居ないのである。此の居ないたるや、チヨクと近所にでも行つてゐて居ないんだか、それとも今は休暇だから、一週間前から旅行中で居ないといふのだかわからない。此處に於て私は殆んど途方に暮れた。今晩泊るホテルも知らなければ、學校の事務も知らない。

「此の寄宿舎には、M君の外に日本人の學生は居らずや」

私はフッと斯う尋ねて見た。と案外、もう一人居るのである。占めた、もう逃げ込んでもらはう。今來るから暫らく待てと言ふから、待つどころではない。もうかうなれば安心だ。その人に逢つて事情を話せばよい。ホテルの世話もして呉れるだらう。いつ迄も待つぞと、私は強い氣になつた。

× ×

暫らく待つとその日本人が上から降りて來た。日本人だ、間違ひない日本人だ。そこで

「私は日本から來たばかりなんですが、北國のMさんに會ひに來たんですが、どういふ行き違ひだつたか停車場へ迎へに來て呉れる筈を私は電報で依頼して置いたんです。あなたはM君の事を御存じありませんか」

と、まあ息もつかずに私は言つたものだ。すると彼の日本人は、非常に當惑した様子であつたが、私が此處迄一口に言つて、ちよつと息をつがうとするのを捉へて言つたものだ。

「ワタクシ ニホンゴ ハナシ デキマセン。ドウゾ エイゴ デ（ハナシマセウ）」

？？？

！！！

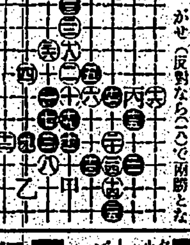
ワーン！

彼はアメリカ生れの日本人で日本語を話せない日本人だつたのである。

臺銀會實戰譜 (六)

後手 勝一級 日高 敬石
初段 岸 八郎
▲(六)迄三々中押勝

井澤五段講評



（五）は定石（六）と打つて（七）から（エ）の退勝を誘つたのは味がある（三）迄は後方容易（三）と見せたが致け（二）中と引き（二）に防がせ（反對なら（六）で兩勝となる故）（九）に四目を見せて以下容易に決するのであつた（七）は絶對止め、これを（一〇）なら（二〇）に飛んであと四目となる（二〇）と見せたのはこの（六）の防ぎを見落したものらしく一図に乗り手を恐れ（七）と引いたのは輕率であつた。この手は平然（八）と引いて（廿）と乘らせ一方に四目を殺して（四）と突入つて殺けば雖辟ながら勝がある（三）は乘つて序に（二）の三々を防いでも以下左上遊に白勝ある故斯く無理な妥に出でたものであらう

竹床几煙り咄し (下)

志乃田紬司

生姜と糠

「どうです、何か、外に、そんな失敗談がありませんか？」

「あるよ、生姜が糠に化けたと云ふのが——」

「生姜が糠に？」

「さうだよ、生姜と云ふものは静岡縣や、愛知縣から、上に石灰をかけて外國へ輸出して居る」

「ははあ」

「所が、此の生姜の貴ばれる香氣と辛味は、ありや生姜の繊維の中にあるのさ」

「へえ」

「先づ、生姜全體の五分だね」

「すると、彼の九割五分は何です？」

「水だよ、だから、高い運賃を拂つて、九割五分の水を添へて生姜を輸出するなんて馬鹿な話だ何とかして、生姜の香氣と辛味のある繊維だけを輸出したらどうか、と云ふ考へが出たんだ」

「成程、名案ですね」

「で、生姜の必要な部分だけ、粉末にしてみやうと云ふ事になつた」

「結果は？」

「うまく粉末にしチッスペーパーや硫酸紙、それに錫箔をはめて英米の食料研究所へ送つてみたのだ」

「ほう」

「すると、英米の食料研究所では品質良好と云ふ折紙をつけて來た」

「ぢや、失敗談が成功談になつてしまつたんですね」

「又、慌てちやいけません、話はこれからさ、いよ〳〵本式に始めてみた」

「その本式が鬼門ですね」

「ははは、先廻りしては困るよ、いよ〳〵生姜を、どし〳〵粉末にして、罐詰にした」

「罐詰とはいいですなあ、罐詰なら何でも大丈夫ですよ、第一濕氣だつて來ませんや」

「ところがいけない」

「へえ——こりや驚いたね」

「いよ〳〵輸出して六ヶ月を經過したんだ。そして到來向から苦情が來たので、その罐詰を、香氣や辛味に變化はないか、と試みに開けてみたのさ」

「あんなものは、いつ迄たつたつて同じでせう」

「さう思へるのだが、とうたう生姜が糠に化けてしまつて居た」

「へえー、どうして？」

「香氣も辛味も、浦島太郎の白煙のやうになつて消え失せてしまつたさ」

「そ、そんなものですかなあ！」

「惜いたらう」

「糠に釘、生姜がねえや」

「ははは、うまく洒落たよ、はは」

鵜の敵

「どうも失敗談ばかりぢや、けりがつかないですね、必ず成功すると云ふ話はありませんか？」

「ありますよ」

「そりや耳寄りですな」

「先づ、羽田の方へ行く事だね」

「羽田？あの、東京の郊外、羽田附近の？」

「さうです、羽田を穴守終點で下車するのですね、すると黒田侯爵家の鴨池がある」

「その鴨を捕へる、と云ふのですか」

「ははは、氣の早いね、さうぢやないよ」

「黒田侯爵家の鴨池は廣いと云ふ話ですね」

「さうです、面積は一萬坪、池は六千坪あるのです」

「ははあ、それで——」

「その鴨池には平常、三萬羽位の鴨が居るのです、つまり、宗家の鋤島に殺されて池に下りて遊んで居る譯ですよ」

「三萬とは隨分居ますね、勿論番人が置いてあるんでせう」

「ははは、捕る氣になつたね、番人は居ますよ、が、話は鴨の事ではないのです、その鴨池の安全地帯であることを見越し、寄食いや寄住して居るものがあります」

「何です、ルンペンですか？」

「いーや、ルンペンはルンペンでも鳥の中の弱力なルンペン、鵜です」

「ははあ」

「あそこへ行つて御覧なさい、池の周圍には鵜が群れて居て、松と云ふ松には鵜成りに止まつて居ますよ、その爲め松は鵜の糞で眞白です、鵜の奴には困りものだと、鴨場の番人は、こぼして居ますよ、何しろ、周圍に巣を作る爲めに荒らされる、頭から糞をしつかけられます。しかも、一千羽位居ると云ふ」

「ははあ、[illegible]と云ふのは、それですね」

「さうなんです、夕方、鵜が餌を喉に詰めて、暗に隠つて來る時の隊行した姿、飛行機のやうに下りて行く姿實に見事なものですよ」

「さうですか、一度見るべきですね」

「あなた、岐阜の長良川の鵜飼見たことがありますか？」

「はあ、あります」

「鵜匠が篝火の下を水に潜る十數羽の鵜の綱を巧みに捌取つて、鮎を敢つた鵜を引き揚げては、咽喉を、ぎゆつと抑へて吐き出させますね」

「ええ、さうです、その状況がつまり芭蕉翁の「おもしろうてやがて悲しき鵜舟かな」の名句を生んだのですね」

「さうです、つまり其處ですよ、成功する談と云ふのは」

「ははあ、一寸判り兼ねますね」

「それ、一體に水鳥に貪食なものですよ」

「と、話に聞いて居りますが、それが——」

「しかも、鵜に、[illegible]一日、一羽平均、百匁の魚を食ひますよ、だから、[illegible]

信長公、いや、ずつと以前、源頼朝など鵜匠を扶助したものですね」

「成程」

「鵜の眞似する鳥水に溺れる、と云ふことを御存知でせう」

「ええ」

「鵜と鳥とは奇妙な關係がありますよ」

「ほほ」

「つまり鵜の敵は鳥ですね」

「ほう」

「鳥は鵜の卵を狙つて仕様がないのです」

「へえー」

「所が、鵜の眞似した鳥は水に溺れるけれども鵜の卵を狙ふ鳥は成功してますよ」

「鵜に恐らないですか？」

「恐りますよ、怒つて鳴きますよだけど、鵜に鳥には敵ひませんね、ただ、ガアガアと叫んで、卵を退治るだけなのです」

「で、其成功する談と云ふのは鳥の代りに卵を捕るのですか？」

「いいえ、大違ひです」

「おや、何ですか？」

「鵜の食料ですよ、鵜が一日一羽、百匁の魚を捕へて食ふとしますと、黒田侯爵家の鴨池附近へ一千羽の鵜が居るでせう、これが、一年間に喰ふとも十五萬貫の小魚を捕へて食ふことになります」

「十五萬貫の魚！ 驚いたですねえ」

「いや、實際の計算は、もつと、うんと多いと思ひますよ、一匹鵜は一回に三四尾、小魚ならば七八尾は呑み込みますからね、例の鵜呑みと云ふ奴で丸呑みですよ」

「ははあ」

「だからして時局救濟金になれる成功疑ひなしと云ふ談が此處にありますよ」

「と仰つしやると？」

「雜魚は一貫目一圓位でせう」

「成程」

「だから、鵜が呑む魚が一年に十五萬貫あるとすると、つまり、十五萬圓ですね」

「それを、岐阜の鵜飼のやうに、一々吐き出させるのですか？」

「まあ、さうですね」

「なーるほど、いい考へ方ですね」

「どうです、年十五萬圓です、これを一つ本式にやつてはー」

「ははは、蒸パン、生姜のです、考へてみるだけが、いい心持ちですよ、ふふふ、お蔭で涼しくなりましたよ」

「ま、御ゆつくり」

「いや、ありがたう、お寂みなさい」

臺日案内

料金 [illegible]

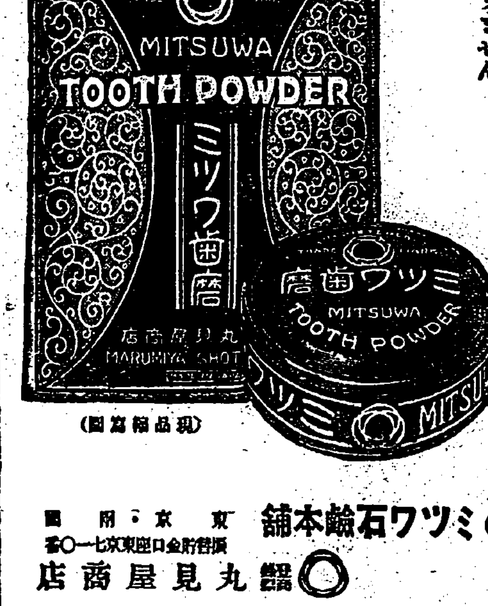
書籍　古本飛切高價買入 臺北京町 電一六八〇 杉田書店
●臺灣總督府發行 六年版 [illegible] 新高堂書店
畔見書店 文化教育會 臺北市本町二
藥種商　ヒラノ藥 午前一時迄營業
エナモル 各地有名藥房にあり
醫院　小林醫院
藤井歯科醫院
樂生堂小林分院
專門花柳病科
轉地療養
内地土産　三共舍
芭蕉煎餅 下江商店
寫眞
治療所　パテー全島代理店
ほねつぎ專門
出養生
菓子商　アイスモナカ
旅館　上乃湯
頂北投
料理屋　辨當と料理は魚惣
自動車
世帯道具　萬年漆器特約
靴商　靴は斷然國益靴
雜件　家具三割引
洋服タンス
特許商標　岸喜鑑
麻雀 拾圓 文藝堂
張清式冷藏庫
麻雀
時計

習字用半紙
冷西瓜
葡萄大賣出
メガネ專門は和田
保險
佛具大賣出
桑茶にんにくエキス
身上
台南市内 營業案内
高畠商會
ビクトリヤ
バイオリン尺八

海にも
山にも
御家庭の御食膳にも

ミツワ歯磨

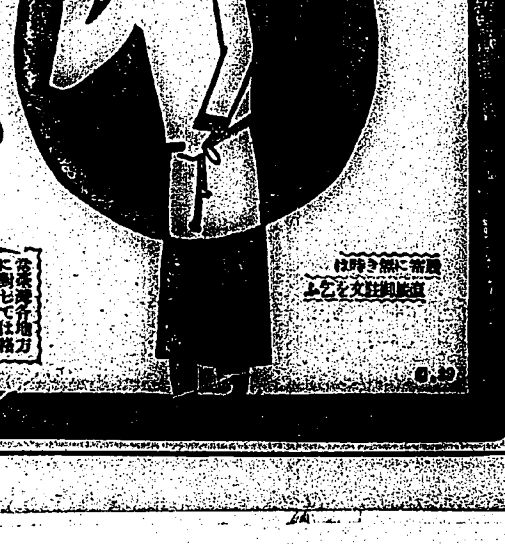
ミツワ歯磨には大形袋入と罐入の二種があり供に、優秀にして、且つ至廉な經濟品です。



(現品摸寫圖)

時代の要求に應じて生まれた理想品

最新の口腔科學に基ける理想品で、優秀にしてお徳用な歯磨で御座います
特に其香味の清快にして後口の宜き、使用後直に飲食するも、毫も其香味に障りません。

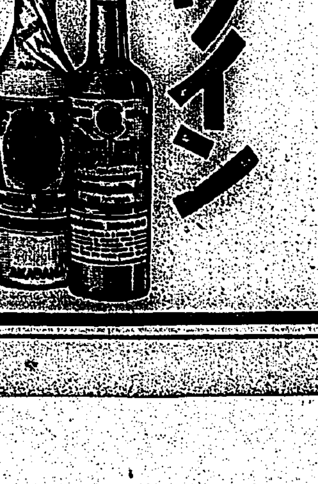


東京・大阪 ミツワ石鹸本舗
振替貯金口座東京七一〇一番
製造元 丸見屋商店
臺北市入船町一丁目
電話長五五五番、電略(ノト)
振替(ト)臺北一一一六番
總代理店 張德昌商行

● 歯痛に頭痛はガオガンで直る ●

補血 強壯 ぶどう酒
赤玉ポートワイン

小康を保つべく
苦杯に親しむは迂也
健康を加ふべく
赤玉に凭るは賢也



260

漢文 臺灣日日新報

時局匡救政府無排萬難之勇
政友且出徹底政策
或與政府正面衝突歟
高橋藏相向背大局有關

九日東京電。政友會。於政府之實行時局匡救對策。深爲注意。近接情報。謂齋藤首相。高橋藏相。其他政府要人。此際均無力排萬難。徹底實行之誠意。其意在以從徒無難之政策。彌縫當面。已明窺知。況最近三菱。三井。住友三大財閥。與除派之間。一大逆轉已成。且阻止地方國民要望。及識者之間。所欲修正資本主義經濟政策之氣勢。而與齋藤首相之間。攻守同盟已成。卽藉財閥之力。以操縱政民兩派。突然以濟。第三次議會。政府果爾出此態度。政友會斷然反對。以純理論。提出徹底政策。問之國民。此等強硬意見濃厚。大勢議會々期切迫。不免正面衝突。特堪注目。又高橋藏相超然的態度。黨內爲之不滿。近且由長老建言。高橋藏相之向背。亦所注目云。

滿鐵後任總裁問題
拓相訪首相陸相

九日東京電。滿鐵總裁問題。懸至九日未決。成行如何。有關永井拓相面目。拓相八日午後九時。過私邸訪齋藤首相。披瀝其所信。並徵首相意向。會談十五分。直訪荒木陸相於官邸。交換意見云。

待陸相照會關東軍
本日或決定梶原氏

九日東京電。永井拓相會荒木陸相。告以照既定方針。欲於九日決定。求軍部同滿諒解。午後十時退出。但軍部要問滿鐵與關東軍意向。陸相或照會關東軍首腦部。結果最後決定似延至九日午後。永井拓相期待軍部諒解。決定起用梶原仲治氏云。

軍部薦吉田大將
爲滿鐵後任總裁

九日東京電。滿鐵後任總裁。荒木陸相。正式推舉豫備役大將吉田豐彥氏。然軍部不固執。意謂閣僚意見固滿一致之人物。不論何人皆可。梶原氏起用。荒木陸相。不明賛否。是軍部未完全諒解。又吉田大將。技術者出身。其於鐵石炭。爲軍部權威者云。

粵軍於福建 籌設空軍

八日香港電。廣東空軍。此回擬於福建。設華僑護國空軍。直隸於十九路軍云

郭麥案
小弱國承諾

八日發府電。本日軍縮一般委員會。墨西哥代表演說後。承諾郭麥案。有九國如左。
墨西哥。中國。瑞典。衞斯拉尼。波斯。羅馬尼。麥隸茄衛拉。新西蘭。亞爾然丁。

滿蒙問題懇談
外相懇談

九日東京電。內田外相。八日午後七時。邀次官々邸外務省。滿蒙問題懇談會例會。懇談滿洲國與承認調查團會見問題。十時餘散會云。

中外要電
拔青年組義勇團

東京朝野名士。如頭山滿。小笠原長生子。安達謙藏。望月圭介。永井柳太郎。鳩山一郎。永田秀次郎。內田康哉伯。鈴木喜三郎諸氏。其他八十餘名。共以國家非常之時。必要特有所備。日本國民。殊如青年學生。尤要擧國一致奮起。因爲發起人。援拔都中。及附近學生。組護國義勇團。去五日。於虎門華族會館。開第一回發起人會。鳩山文相。永井拓相。陸相代理松村大佐。永田市長。其他三十五名出席。與小笠原子。爲創立委員長。報告義勇團創立宗旨。協議細目。決定如左。
都下大學。專門學校七十校。一校各拔出百名。加以青年一般有志五十名。組織新團體。訂來九月末。或十月上旬。擧發會式。本部置於芝公園內。以擴之全國。宗旨在指導。青年學生而統一訓練。

全滿學日本語熱

奉天省各小學校。師範學校。擬教日本語。黑龍江省。近開縣長會議。議決教師養成豫算。卽使之學日本語。爲小學校必須科。又省內公安局。襲亦教之。迎怨。凡此學習日本語。可謂至熱。尤日滿洲國建設後。一般民衆。亦容學習。兩國提携其便云。

新站我軍死傷二十

七日午前十時。新站有五百匪賊包圍攻擊。石川中尉所率小隊。苦戰五時久。與援軍佐治大尉一部隊。相與猛擊。旣得地利之敵匪。其勢頗强。我軍頗危。待桂少佐所率救援部隊到。與之激戰。賊始潰走。我軍戰死十二名。負傷八名。敵亦遺屍[illegible]十具。同令部發出云。

蓬萊盛登
在庫將近十萬

去三日日曜。臺北正米市場々外蓬萊米價。受其前日後場勝勢餘波。八月五日限雖起至七圓五十六錢。歐後卽因新米登場睽落。價亦日落。七日期米猛落。後場蓬萊中限。雖破七圓。袋六圓九十九錢。九日早朝唱價七圓八錢。一期米移出已達四十萬袋。本月中契約八十萬袋。尙有一半未移出。東京方面。亦料前途必旺。多躊躇而不買。目下每日當場約四萬袋。移出之外。累積於基隆倉庫。現已近十萬袋。近日中如期米暴落。則內地訂購之信。恐產地不肯應之。若然則米山高築。而當限正値盛出期。產地皆欲急賣。或有一番崩落。業佃當以平均賣爲最安全也。

臺灣最初
鄉軍大會
開于鐵道旅館

臺灣最初在鄉軍人大會。訂來十日。臺灣愛國號命名式後。開于鐵道旅館。出席者。聯合分會長。分會長及代表各分會二名。計有二百五十名。正午。出席于阿部軍司令官之招待午餐會。下午三時。出席東門官邸。督府招宴云。

移出米旺盛
麻袋唱昂

本年一期米豐收。全島豫想收量四百四十萬石。就中蓬萊米百七十五萬石。換算得四百四十萬袋。麻袋十分暢銷。一枚又唱昂一錢。最近原料及銀水。各起一成。袋價前途。尙有昂騰餘地。故各州與麻袋共同販賣所。已訂購二百五十萬袋。臺北米庫利用組合。現時兌於組合員二十七錢五厘。臺北州下豫想移出六十萬袋。現麻袋已賣出二十餘萬枚云。

南市教育課
移牒各校
囑防範兒童

臺南市役所教育當局。以夏季休暇已屆。在內各小公學校學童。當此長期放課。恐於市上有不規則之行爲。不特害及校風。抑且因是感染不良習慣。爲防微杜漸計。特於八日。移牒咨照各校。會請教員於暑期中。輪流赴市內各要所。行校外取締。藉以監視越軌之生徒云。

監查桃郡產組

桃園郡下產業組之事務監查期。龜山信組。經去二三兩日執行。大園信購利用組合。於四五兩日。八塊信組六七兩日。均執行告終。竹圍信組。來八九兩日執行。但蘆竹。埔子。桃園三處信組之執行期。尙未確定云。

嘉郡理蕃係
各新高登山
團體受付

嘉義郡警察課理蕃係。至八日止。受付各地新高登山團。而各團往返諸驛。及日程如左。

二水驛登。嘉義驛下。山南師九名十日登山十四日下山。高雄高女十九名。十一日登山十六日下山。嘉中十四名。十三日登山二十日下山。南一高女二十名。十六日登山二十日下山。北二師十一名二十日登山二十五日下山。中二中十五名二十二日登山二十六日下山。南教育會員十五名二十四日登山二十九日下山。

嘉義驛登。二水驛下。山岳會員二十五名十日登山十三日下山。北一高女二十名十一日登山十四日下山。嘉郡教育會員二十五名十三日登山十六日下山。嘉高女十九名十五日登山二十日下山。北高等學校十五名十七日登山二十一日下山。北教育會員三十名十八日登山二十二日下山。南高二十五名二十一日登山二十六日下山。阿里山案內社人員未定二十四日登山二十八日下山。

改造臺銀紙幣
廢五十圓札新造百圓札
十月發十圓券

廢止臺銀券。統一爲日本銀行券之事。賛否兩說爲々。而臺銀竟得大藏省認可。準備改造現在發行券。現於內閣印刷局。印刷原版。新意匠改造札。九十月之交。當見出現。現在發行臺銀券。有一圓。五圓。十圓。五十圓四種。一般比日銀。鮮銀札。過於大型。易於磨損。一年中因回收而發行。可達一千三百萬圓。而最缺憾。乃容易僞造變造。此回紙質、寸法、意匠、色彩。爲之變更。意匠欲將現在臺灣神社及鵝鑾鼻燈正面使之存續。欲防變造。用獨特機械用紙。其型小而長。日銀所謂內地札型。最後色彩。絕無僞造餘地。今回新札。前後五年計畫。而與日銀鮮銀券比較。採長補短。招聘印刷局矢野部長。技師。調查原地。選定紙質。足爲現代最善紙幣。又觀商業發展狀況。比大正十年手形交換額。一口金額約二倍。此際五十圓券。莫如百圓爲便。故廢止五十圓券。新發行百圓券。新券之發行。因印刷局事情。十月頃先發十圓券。其他須至來年。新券流通。當於一箇月前。以大藏省告示形式。公告略圖。臺銀當局。以官報並新聞紙廣告。暫時新舊併用。其後三年間。停發舊券云。

壽青訓所
保護者會
續開感想談

臺北市立壽青年訓練所。自本年二月十九日開所以來。頗舉相當成績。現在生徒百二十名。近欲將該所趣旨及希望。俾一般保護者間知悉。乃于去八日夜七時半。于市內壽小學校內。開保護者會。出席者父兄而外。生徒五十餘名。參觀教練及學科兩組。次開懇談會。其時有志大衆市協議會員感想談。先敍青年訓練之必要。次提唱保護者。自發的設置青年訓練所後援會。藉場指手。故以後武見實現。其他保護者間。亦有述希望及感想。又是日來賓。府則社會課廣瀨囑。州稻尾社會係長。宇田同書記。市則千葉教育課長。橫山視學等列席。

金價混亂全無標準
南部地方買價過賤
臺銀買收產金

日銀產金。買上價格。自六月十九日。發表同一週中買上價格。每匁七圓四十七錢以來。鑑於同月下旬對華匯水落至二十六弗餘。一時金價驟漲。若照匯水換算。則一匁將近九圓。而趨利之徒。多將所有貴金屬錯賣而應賣。況抑產金獎勵主旨。故自二十六日以來。不發表買收價格。仍以十九日所發表之價買收。然滙水旣昂。買上價不昂。人多不肯應賣。八日大藏省經已改正產金買上方法。政府欲由其所指定之產金業者及朝鮮臺灣兩銀行。買上金地金。行情按兩週間一次發表。產金以外。歸還者絕對不買上。月初臺北市內金銀商每匁當金猶以八圓五六十錢買收。南部金商。直接移出內地者甚少。多買收而輸賣於北部金商。故其買收價甚賤。如去七日。嘉義市內買收價。只按八十圓。當日滙水猶是二十七弗毫。不應如是賤賤。蓋日銀旣不發表價格。全無標準。今後臺灣銀行若買收。行情方能安定云。

臺北市開設
臨海教育
十日開始

臺北市開設小公學校生徒臨海教育。分作小學公學兩部。小學部假基隆小學校。公學部在淡水海水浴場。南小學部。經定自十日起。開始教授。蓬公學部。則于十一日開始。是日市當局。均擬臨場云。

東港街代表
訪督府要路
陳情鐵道延長

高雄州東港街民代表。蔡東港街長外五名。關于鐵道延長問題。去九日午前七時半。搭溪州驛發列車赴高雄。訪問野口知事。陳情鐵道延長問題。又搭同日夜行車上北。訪督府要路。同樣陳情云。

德法協定九月簽印

賠償會議幹部會。八日午後四時開會協議。決定同九時開本會議。配布書類。九日午前決定簽印云。

德法協定完全成立

八日午後。英法德首相會議結果。德國允支三十億馬克。四時起。更議細目。德法協定。完全成立。

德國允支卅億馬克

三國合議。德國允支三十億馬克。條件如左。
一、德國本年起三年。乃至十五年間。發行公債總額三十億馬克。
二、十五年經過後。公債不發行之時。自行的永久取消。
三、德國繁榮回復。三年以內。公債不發行。
四、公債額面。百馬克。賣上價格九十馬克。現金額。僅二十七億馬克
五、公債附五分利。分納償還。[illegible]

原保甲書記
假冒記者
詐欺金錢不少

原基隆市西町派出所保甲書記周添。最近恐用該派出所某巡查名義。詐欺二十數件。今回僞造大阪每朝新聞基隆支局長辭令。到處印刷新聞記者名刺。到處行詐騙。詐欺金錢等。近被基隆署刑事探知。卽拘往究問。被害甚多。且有多數連累者。全刑事現向各方面搜查中云。

三失業者無錢遊興
受橘亭告訴拘二逸一

道岡邦香。年三十二。臺到臺中苑賊。宿愛月館。去六日。遊于臺中公園。遇友人熊本縣人。山本末彥。年三十一。同鹿兒島人。千釜直年三十。兩人亦失業而來臺職者。乃相悲歎良久。繼而道岡謂失業許久。不飲美酒。乃招山本。千釜兩人。到橘旗亭。呼妓命酒。豪飲至下午十一時頃。道岡謂欲歸愛月館。持金來淸。竟一去不回。且不歸旅館。於是橘亭主人。乃對臺中署訴山本。千釜等。以無錢飲食。卽拘之到署裡究問。而道岡至今。踪跡不明。聞道岡之兄。現勤務北部某郡。爲警官。或赴其兄處寄食。亦未可知云。

如水社附屬醫院
無料施療
六月分三四七名

如水社附屬病院。去六月中。無料施療患者數。大稻埕百四十四名。萬華二百零二名。計有三百四十七名云。

高勞働組合
幹部講解決案
當局欲嚴究之

既報高雄勞働組合組合友近理事。橫領三萬四千圓事件。取調告畢。二日中。將送交臺南檢察局。一面道今發生數個。橫領案之同組合。今回非常狼狽。幾由最高幹部間。考究善後策。而幹部一邊意兒。只須請求何等補塡方法。使友近再復原職。而對此後友近之薪金及賞與金。乃起幾成。先紛還橫領金。以圖圓滿解決。現由有關係組合之一二有力者。將具體案。求當局諒解。然警察一邊。則欲照神聖法律處置。據聞今回事件。本年三月頃。會發覺當力頭。鄭贊。橫領一萬餘圓。但二三幹部。祕不發表。爲暗地整理。今回因友近用組合名義。向吳田某。借出三千餘圓。與田要近。欲歸里。對友近催討不果。乃始暴露其事于世間。然幹部間之欲出爲調停者。不過憚事件之擴大。警官一邊。則以此際若不追究。恐後再發生問題。故欲乘機。徹底清算組合內部之弊害云。

跌撲起腦震盪

新竹市南門外人吳旅之次男金福。年十五。素染癲疾。去六日夜十時。登竹蓮寺前戲棚。癲疾發作。跌落棚下。頭部撲地。一時昏倒。經片刻始蘇。次受醫診察。判明爲腦震盪云。

原督府土地員
判明收賄

旣報關連原臺南州雇員。王謨紀。及李金抄官有地拂下詐欺案之原督府土地係員。竹口茂。客年末已退官。任中由王謨紀。收賄之事已明。臺南州刑事課。疑調查竹口去向。現已判明其住臺北市內。不日將拘本人嚴問。事件似更擴大。亦未可知云。

遇海賊全進丸歸臺
船員死一重傷二
血跡彈痕尙歷歷可指

旣報在南華牛山島海面。遇賊船襲擊。船員並漁船同被拉致之基隆市日新町林象所。所有第二十二全進丸（四二噸八十馬力）。經許放還。歸被海賊彈殺船員一名。重傷二名逃離。于八日午後五時四十分。悄然歸基隆港。而緊留于逃歸至水產會社前之僚船第二十一全進丸號。爲是親友及關係者。聞報來訪問者。一時驟至。皆下淚而祝一同之幸運。且對死者表弔意。該船除機關部外。悉被掠奪無遺。船中見有彈痕及血跡衣類。不覺而起戰慄。受重傷水夫川本及古田兩名。卽時昇入基隆醫院。應急治療云。

遭難眞相
岩崎船長談

今歸基隆。如夢初覺。去十五日午後二時半。與僚船第二十一。聚合撈漁中。由後突來帆船六隻。接近時五隻環圍。其中一隻乘組員三十餘名。拳銃彈亂射。一彈貫通船室壁。貫過水夫川本松太郎左背。二彈三彈。射中古川水夫頭足等四處。次一彈貫通水夫長伊藤安輔咽喉。伊藤轉落甲板卽死。市欲橫泊時。海賊七名。躍過本船。將伊藤遺骸。投入海中。而對船員一同擬銃。立于余兩側。迫余操舵。余旣無武器。復欲救船員一同生命。不得不從。迨至七時頃。忽見有似英國汽船。而賊挾余背。以爲余之發火信號無疑。幾欲殺余。以此足見其對船具有十分智識也。至深更似泊在牛山島岩陰。一同被監禁。翌六日。將船中物掠奪一空。是夜賊首。與余筆談。欲索一萬圓。而將送到福州。囑爲打電于基隆。謂送金後。余亦許諾。然彼等頻問僚船之去向。蓋彼等似恐係船之歸。引出軍艦。故于七日夜。俾許爲釋放。以一帆船送出。余等亦不知所向。唯逃指東方。囑往臺灣。賊船乃亦自退。吾等始得放恢歸臺也。

拘變態色魔

事局裏報。木精地竹山郡竹山庄竹園子。現住所斗六郡林內人某婦年四十四。客月二十七日。下午二時頃。以事欲往竹山。途至清水溪中。恰遇竹山庄東埔納人。蕭能賢。年二十八亦到。能賢同顧無人。突將婦押倒。欲行無禮。婦大驚呼救。能賢放手。倉皇逃去。婦歸將情。訴于竹山郡當局。翌二十八日。佐々木司法主任。偕王來法通譯。河原川。陳森康兩刑事等。赴實地臨檢。然能賢已逃脫。不知去向。至近日始被拘引。現留審中。聞能賢似變態性慾者。自白昨年。亦會犯東埔納人。某氏女云。

詐欺不遂
被嘉署捕住

嘉義市新高町二五。前科八犯陳江。年四十四。去六月十五日午前九時頃。詐稱爲臺中州能高郡埔里社埔里五〇江天來。年四十。至嘉義市東門町六丁目四〇江瑞徵家。對江母江吳氏鴉。謂瑞徵在臺北。暗中使無賴漢。欲刺殺嘉義市元町三丁目六六黃先引事發。今欲與之圓滿解決。瑞徵使我。對爾支金三百圓。以爲和解費用。吳氏鴉被騙不遂。陳江自知露出馬脚。登時逃匿。嘉義署接報。嚴重搜查。六日捕住。現留置查究餘罪云。

竹山未婚女縊死
種種風評眞相未明

竹山郡竹山庄竹園子人。陳厚。別名爲脚來。年三十一。昨年十一月間。以聘金二百二十圓。訂婚同郡鹿谷庄字坑尾人。劉泉之長女。劉氏玉。年二十六。[illegible]十圓。及[illegible]二百四十圓。[illegible]訂本[illegible]同九月初四日迎娶。但嗣後玉之母背約。要求聘金二百四十圓。託新寮保正某氏。種々周旋。厚亦許之。然玉母尙不滿足。更要求聘金。須納三百圓。方肯使其迎娶。因此聘金問題。懸案至今。未能解決。不圖劉氏玉。思已年紀漸高。爲母又對人刃難。難咸陳之不聽。遂起厭世之念。卒于去六日。下午三時餘。在自宅附近林中縊死。翌日有鹿谷派出所江巡查部長。往爲檢視。陳厚聞報。頗爲憤慨。謂玉之死因可疑。現正力蒐證據。擬出訴當局。但據一邊所傳。謂厚自與玉訂婚後。始知玉乃獨眼之女。故反悔。云已係訂婚北妹劉氏春者。年二十三。非與玉婚。然玉亦觀厚破足。甚不稱意。況戀愛已表兄。被母迫嫁不從。隨奉短見。未悉眞相如何。容後續報。

是々非々

港町某媼。年逾知命。數日前深夜。爲些少金錢細故。卽酷打養女。使負過重傷。終受警官嚴罰說諭。此後若不改過。恐惹動公憤也（無惻隱之心非人）無根捏造某國語夜學會教師拘女生。懸土着時餘誑言。大衆現正查究此種誑言。捏造來由。（使人迷惑不淺）月前二十九日。當欄有載治兩耳內排膿良方。說可用山瓜鼠內抗洋參。余到該藥店查問之。該藥店之先生。說山瓜鼠內抗洋參者。是不可服之藥。若是多服用能害身體。但不知其藥之狀態如何。屬何藥類。每次服量如何。又此藥有何別名否。再懇求新爲詳細指示。（一同病者）

航空思想普及會
難波氏籌設

臺灣航空思想普及會。由難波三郎氏創設。其目的在確立本島航空國防基礎。極力宣傳。發展充實。已得督府及軍司令部後援。訂近日中。招聘前陸軍省航空本部長古谷中將。大日本國防協會理事石井大佐。有馬男爵。森美代子女士及高等飛行家日野俊雄諸氏。決於島內各地。或講演。或獻高等飛行術及落下傘等妙技。均爲公開。以資國防宣傳。屆時定必盛況。又訂九日午後六時。假江山樓宴客云。

藝妓厭世自殺

嘉義市榮町五丁目魚豐料理店研岩次郎家。有藝妓德島縣阿波郡市場町人矢田喜美子者。年十九。藝名君龍。去八日午前三時頃。在寢室嚥下毒藥。苦悶中。被同家人發見。急入囘生病院治療。至九時半死亡。聞自殺原因。係欠樓主前借金千四百二十二圓。不能償還。且近又遭實父之喪云。

老翁斃於園畔
屍體役場保管

八日午後六時。在新營公學校前庭園西畔。發見住所氏名不詳。年逾古稀老人屍體。由田中司法主任大橋巡查部長立會。山田公醫檢證結果。判明爲行旅病人。死者遺留品。有金一圓。及刻吳協兩字印章。現向各派出所照會中至判明之間。暫交新營庄役場保管中云。

瑞芳

稅割輕減

本年度瑞芳庄之稅金。鑑農村不況。是故在役場財務係員十分研究考慮。卽本年度之戶稅率。依正式發表者。生產每千圓之戶稅率額。一圓七拾錢（但錢未滿之分切上或切捨）而戶稅割。乘戶稅率十三倍。爲本年度戶稅額。比昭和六年度分。輕減七八分云。

納稅沾寫

瑞芳庄當局。一面爲啓發庄民納稅精神。預定月之來二十五日午後七時起。在瑞芳驛前廣庭。或瑞芳大運動場。公開納涼活動寫眞。

寄附美談

北部瑞芳基督長老教會。者番會員自發的。欲致助傳教瑞濱會堂之建築之資。及欲寄附於病院之施藥費。現寄附人數及金額如下。二圓二名。一圓五名。五角八名。三角一名。二角四名。一角二名。五錢二名。一錢二名。計二六人分。總金額十四圓四十二錢。由卓傳道師近將手續送上云。

購買渡船

懸案中之瑞芳庄三瓜子渡船購買之件。後得瑞芳派出所。極力援助。去四日。在保甲役員會議席上。決定購買新船。其捐金。卽第三保。頂川三十圓。庄役場補助五十圓。至十四日能得到着開使。以便三瓜子部落之村民。

海山

庭球競技

海山郡體育聯盟會。訂本十日々曜日午前七時起。在板橋常小學校球庭。開郡下小學校郡役所各街庄無線電郵便局樹林酒工場各職員共八團體。球部爭霸戰大會。對最後決勝者由聯盟總理松野郡守。授與優勝旗云。

忠魂碑祭

海山郡土城庄大安忠魂碑。所奉祀故山本特務曹長以下十九勇士例祭。訂來十三日。午前十時起。舉行盛大祭典。

會事

▲板橋公學校卒業生同窓會。定期總會。訂來十七日々曜。午後一時半起。開於同校講堂。其會費每人金五錢。現交受付係。當日閉會順序如左。一、茶話會。午後一時半至三時。二、運動會。午後三時至四時。準備運動。徒步競走。リレー。大珠送。整理運動。三、福引。午後四時至五時。右畢後各贈呈扇子一支爲紀念。
▲海山郡爲欲警察官吏派出所甲會議。去七日午前。在公會堂。開保甲役員。席上小林部長。向保甲役員。通知爲歇店鋪亭子脚及道路。照臺北州告示百六十五號。自七月三日起。編入于街路取締規則施行區域。午後召集各關係戶口。傳達決不可違犯也云。

人事

▲臺北市米仲買人組合長林綢雄氏令嚴之葬儀。訂來十日。卽古曆六月七日午前八時。在自宅舉行。
▲虎尾醫師商工會副會長甘文芳氏之德配甘黃氏鳳。日前患脊髓膜炎。入臺北醫院外科室治療中。去七日午前九時逝世。八日運柩回彰。
▲林本源觀眉記建築株式會社支配人張松君之弟張坤元君。與板橋街邱氏愛。卜七月十日。在板橋本宅舉結婚式。
▲陳瓊梅竹南庄長。自受任至今。閱十五星霜。者番受內海州知事表彰。竹南庄官民。于去三日下午五時。在竹南俱樂部。爲開祝宴。

新營

蓬技磋商

新營郡。依定例。于九日上午九時起。在同郡會議室。開街庄蓬萊技手磋商會。是日野野農務。三代畜產。正司米種。池田栗佃各主任。併關係職員技手等列席。就左記附議事項。熱心協議。至正午閉會。一、蓬萊苗本調查。二、蓬萊種獎勵指導。三、看天田改良。四、栗佃指導村建設。五、畜產現地品評會實施等所關之件。

召集甲巡

新營郡警察課。依定例于去六日上午九時起。在武德殿。召集甲種巡查六十餘名。首由佐野課長。朗讀戊申詔書。併訓示畢。次由淺野行政主任。與以注意及指示事項。十一時起。檢閱裝帶品及訓練。正午休憩中食。下午一時。再行柔劍比試。是日有臺南州知事優勝旗爭奪戰。就武道關係時。及武道所關[illegible]授。薄暮散會。

菓販溺死

新營郡柳營庄山子脚人林嘉通。年三十。去八日擔挑仔。往鹽水街。販賣回家。下午一時。在新營驛東側急水溪渡橋搭中。誤陷深處溺死。卽由山田公醫檢證後。交與家族領去埋葬。

事務引繼

此回臺南州警務部人事異動。新營郡警部補庄野在柴山警部補榮轉於州高等課勤務。去九日赴任。而後任者。藤宮警部補。由嘉義郡轉入。七日在郡役所。事務引繼終了。

臺南

和洋總會

臺南市和洋總合第二回總會。去七日晚七時。開於末廣町醉仙閣亭。出席組員五十六名。來賓有州市勸業課長。席定。及內臺人商業團體[illegible]吏員。[illegible]報告會務。收支報告。[illegible]

拘橫領犯

臺南市港町二丁目井林木商行。有雇員臺南人陳萬成者。年三十。近沈溺花酒場中。事甚可疑。去七朝。被臺南署刑吏張田。張兩刑事捕去訊問。結局果自供彼自昭和四年六月起至昨年中。計橫領店千餘圓。恐有餘罪。目下拘留取調中云。

臺灣日日新報

キング

夏期特大號

見よ 堂々誌界を壓する大計画大特輯!!

大評判特輯 現代名士講談

▲永井柳太郎と野田大塊……尾崎士郎

▲菊池寛と床春さん……加宮貴一

▲林檢事總長兄弟涙の握手……橋爪健

（永井拓相）（林檢事總長）

▲修養講話 私の見た不思議な夢……大藏大臣 高橋是清

▲教訓 道話 手淨ければ……大僧正 道重信教

▲處世 實話 生の楓……本社社長 野間清治

一問一答 名家に秘訣を聞く（評判特輯）

●演説上達に就いて一番大切な事は何でせうか……（答）永井柳太郎

●貴方は一職工の何處を見込んで大工場長に拔擢されたか……（答）藤原銀次郎

●これからの農家はどこへ目をつけたら成功するでせうか……（答）山崎延吉

●將棋から見た外交交渉の秘訣は何でせう……（答）木村義雄

●社員店員はどんな心掛が必要でせう……（答）麻生誠之

●良人を出世させる妻の心得は何でせう……（答）米田和歌

▲魚つりの心理……永田秀次郎

▲我が處世の信條……山本英輔

▲野間會發會式の盛況……大川平三郎

▲偉人の名言……ウイリアム・ピット

漫談落語小ばなし大會

▲鳥と鶏……落語 甚公と碁石

▲好運襲來……落語 屁代り

▲鯉どろ……落語 選擧ナンセンス

▲忘れもの……落語 あて字

▲粗忽……落語 野球と総番職

▲ボーナス……落語 千人針

▲圓タク……落語 お江戸の仇は

▲乗物風景……落語 名前

▲聽診器……落語 大きな佃煮

▲節約

好敵手同僚互ひに語る

各界の代表的人々が、互ひに好敵手に就て赤裸々に語る。一字一句勝躍を衝く興味と感激の大特輯。

▲演劇＝俳優 中村吉右衛門 尾上菊五郎 鈴木鳥次郎 七段瀬越憲作

▲圍碁

▲劍道＝範士 持田盛二 範士 高野茂義

▲柔道＝五段 須藤金作 五段 牛島辰熊

▲映畫＝及川道子 川崎弘子

▲水泳＝高石勝男 鶴田義行

▲琵琶＝高峰筑風 橘旭翁

食卓漫談

▲お茶、紅茶、コーヒー……香山莊主人

▲特輯 輝く産業大博覧會

▲學校美談「嘘から出た眞」

▲漫畫ユーモア これはく大會

▲味へば味ふ程値打のある話

愈々面白くなった大評判の名講談!

勇士 龍造寺大助

幼君を護って同志と共に悲壮な大活躍をする美男の勇士! 智あり勇あり、義あり涙あり、面白い事天下無類!

▲長篇小説 末來の花……菊池寛

▲美男俠客 振分け小平……長谷川伸

▲血涙戯曲 空閑少佐……眞山青果

（空閑少佐）

▲現代小説 白夜は明くる……久米正雄

▲美男美女 薩摩飛脚……大佛次郎

▲仁俠 菊五郎格子……子母澤寛

▲處女哀話 青春無情……三上於菟吉

▲連載漫畫 愉快な連中……田河水泡

▲冒險繪噺 海龍號……東日出夫

オリンピック豫選 マラソン大血戰記

痛快壯烈 全國民待望の裡に神宮外苑、六郷鐵橋二十六哩のコースに於て行はれた代表的選手決定の大競技!

日本軍は何故強いか＝大庭二郎

陸軍大將

世界哲人傳 苦難の大文豪＝加藤武雄

面白くて爲になる讀物

▲一行知慧袋……▲面白い種統計

▲意外な感激……▲蛇と拳闘家

▲天の聲地の聲……▲常識力だめし

▲洒落くらべ……▲愛國俚謡行進曲

▲腦の驚異……▲ある露店青年

▲萬人熱狂……▲心の持ち方

▲上原元帥の遺語

▲全會名句集

海と空と山の驚異驚嘆の體驗談!!

冒險探檢大座談會

純情美談 愛を越えて（西田鷹止）

特選五大傑作

▲田園哀話 蠶飼ひの歌……正木不如丘

▲豪商異聞 錢屋五兵衛……橋爪彦七

▲探偵綺譚 マカロニを食ふ男……花岡健二

▲豪勇悲壯 熊谷十郎左……山本周五郎

名士揮毫色紙及び色紙掛 壹千個大懸賞

素晴しい大福運をぜひお當て下さい。ハガキ一枚で誰にも出來る面白くてやさしい大評判の懸賞です。

奇拔ビックリ盤し キング傑作笑話選

名士執筆 隨筆隨感隨想

▲古武士の風格……森田草平

▲蘇峰先生……池田林儀

▲理想……市川源三

▲永久に青年の心を……岡田三郎

▲暑中見舞に答へて……山崎延吉

▲大切なもの……青柳有美

▲食事のとき……河井酔茗

▲神の恵みの金貨……小平國雄

▲駱駝……天沼俊一

▲南國情緒……昇曙夢

▲或る就職希望者……宮田脩

▲パラソル……若山喜志子

▲桃太郎の遺蹟……谷本富

新掲載! 大評判の出世小説

シグナルは青だ

谷孫六先生苦心の大力作!

このエ夫、このやり方! 斯うすれば誰でも成功せぬ筈はない

人氣花形 映画俳優大座談會

東西各社の一流男女優出席!!

大入滿員 漫画大レヴュー館

▲我等が朝鮮同胞の聲

▲成功執務法二十ヶ條

●月刊 五十錢 送料四錢　大日本雄辯會講談社

兵器献納と飛行場の問題 國防參與の意義を明にせよ

一

愛國愛國號の第二十六號機が、軍部への引渡し献納に先つて不時着陸をなし機體の破損、搭乘者の負傷等を見たのは甚だ遺憾の至りであるが、操縱部の故障に因るとすれば不可抗力の事に屬し天災とあきらめる外はあるまい。唯だしかし如何にしても諦らめられぬことは、完全なる飛行場が臺北に無かつたといふことである。八日の第二十六號機の不時着にしてからが若し完全なる飛行場があり附近等に立木や人家などが無かつたならば極めて安全に不時着陸が出來たのであつて、此の事は操縱者の今日までの手腕から見て一點疑ひの無いところである。約束通り直ぐに着陸すれば民家をつぶし是非なく旋回しやうとして木の枝に翼を觸れたのだとすると、今次の不幸の原因は良い飛行場が臺北附近に無かつたといふ事に歸せねばならぬであらう。

二

これは二十六號機の不時着に依て新たに提示された最もシリアスな問題であつて、文武兩官民及び一般民の篤と考慮せねばならぬ事柄と思ふ。一部識者の間には兩民の愛國心に基づく兵器の献納は、寧ろ臺灣においては飛行場等の献納の方がよくはないかとの說もあつたが、今にして思へば或は其の方が優してあつたかも知れない。しかし罪なる結果だけを以て兵器献納をかれこれ言ふは當らない。要するに兵器献納もよし飛行場の寄附もよしで軍備の許す限り軍官民協力に依て最少限度の國防の設備だけは築いておく必要があると思ふ。而して相當完備した飛行場建設の案は既に當局の手において作製されつゝあるとのことだが、此の計畫は此際速かに實現し完成さるることを希望に堪へない。

三

それは兎に角として、臺灣住民及び其の關係者が、自ら進んで國防に參與するの熱意をもつて今日まで既に二十四萬圓の献金をなし、この愛國の至情は凝つて愛國號[illegible]となつて今日を以て軍部に献納さるるに至つたことは邦家のため慶ばしきことであつた。且つ二十六號の身代り機まで[illegible]に之に依て献金者に滿足を與へんと努めた軍部の熱意についても本島大衆は恐らく心より好感を以て迎へるであらう。吾人は帝國南端の國防が、今日の如く軍官民三位一體として永久に其の萬全を期すべく協力あるやう望まねばならない。

南支那の海賊團を一掃せよ

一

對岸なる福建省の海壇島一帶が、海賊の巢窟として有名なのは人の知る通りであつて、今日まで彼等一味の毒手にかかつたものも頗る多いのである。語り傳ふる所によると同省の福清の如き地方は、婦女誘拐を專門とする行商人か然らずば海賊を副業としてゐる者のみであつて、重なる兇漢の巢窟になつてゐるとも言はれてゐる。對岸附近に斯る海賊の巢窟あるがゆゑに我が對岸通ひの汽船の如きは、支那人の船客は一般と隔離し武裝せる印度人巡査をもつて其夜警に當つてゐる樣な次第で、かかる海賊の存在は心ある民國人としても甚だ不本意とし、不名譽とする所であらうと思はれる。

二

去る五日我が漁民がリーファイランド附近で海賊巾これ等海賊團に襲はれ、中八名が賊團に拉致されたことは、本島官民を痛く刺戟し海軍は直に軍艦の出動を命じたが、右の八名は一名の死者と二名の負傷者を出したとは言へ兎に角歸來することを得、災禍を二三名の犠牲に極限できたのは不幸中の幸と申すべきだ。然しながら故なくして他人の生命を失ひ財物を掠め切り取強盜をもつて職業として居るが如き不逞漢に對しては、人道上よりも或は正義觀念の上よりも容捨できないことである。第一かかる海上專賊の存在は民國の名譽の爲めにも棄て置けぬところで我が官憲は支那政府若くは支那當局と協力し此際是等不逞の輩賊を一掃し以て海上の安全を期するやう希望に堪へない。

陸相、調査團と會見 信念と決意を披瀝

引續き滿洲國問題について 深刻なる質問應答

【東京九日發電通】聯盟調査員一行（リツトン卿を除く）は九日午前十時官邸に荒木陸相を訪問、陸軍側より荒木陸相、小磯次官、山岡軍務局長以下關係官出席、調査委員より再來朝の挨拶あつて荒木陸相より滿洲國に對する陸軍側の信念と決意に付き歷史的、民族的關係及び國防問題を中心として忌憚なき意見を披瀝した上、滿洲國正式承認援助提携の堅き決意を正式に表明した、右に引續き兩者の間に深刻な質問應答が重ねられ、正午會見を終つたが、右は聯盟及び全世界に對する滿洲問題に就て帝國の進路を明かにした最初のものであつて、會見の內容並に結果は非常に重大視されてゐる

質問應答の內容 調査團に異常な印象を與ふ

【東京九日發電通】九日午前の陸相官邸に於ける荒木陸相と聯盟調査團との會見に於て荒木陸相は左の如き意見を開陳し、調査員に強き印象を與へたものの如くである

問 日本の國防と滿洲の關係如何

陸相 歷史的民族的地理的關係より見て滿洲國は日本の國防と不可分のものである、日清、日露兩戰役もそのためであり滿洲事變も之を脅かされんとしたため起つた、從つて滿洲の國防は單に日本の自衞上だけでなく滿洲の平和東洋の平和に重大關係あり日本の國防の基礎も此處にある

問 滿洲の治安回復に對する日本の方針如何

陸相 滿洲の治安維持は以上の點から見て絕對必要で日本としては滿洲三千萬民衆が合理的安穩な生活をなし得る迄之を援助指導するはその責任であり撤兵の如きは到底不可能である

問 滿洲國の將來及び之に對する軍部の態度如何

陸相 日本は滿洲國の成長發達に極力援助提携し之が確立を圖らねばならぬ、故に今日以後滿洲に對しては支那の主權が及ぶとか支那の主權の下に國際管理を行ふとか其他滿洲國の獨立に反する內外の脅威に對しては日本は飽く迄之を排除する決意を有す、支那と誼を結ぶことは素より望ましいが支那が反省せぬ限り日支親善は望み得ない

賠償協定成り 六國は署名す

協定內容研究の爲 小國は署名を延期

【ローザンヌ八日發電通】賠償會議は決議成るやマツク議長は直ちに八日午後九時十分より日、英、佛、伊、白、獨六國外十二國を招き本會議を開きマツク首相より會議の經過を報告し、新協定成立の旨を述べた、之より先ルーマニア以下小國側より協定內容研究の爲め署名を延期されたいとの申入あり、議長も之を諒とし九日午前十時より本會議を開く事とし六國のみ署名を了した終つて各國代表のマツク首相の努力を謝し、會議成功を祝ふ讚辭の交換あつて十一時半散會した

ローザンヌ條約

【ローザンヌ八日發電通】六月十六日開會以來二十三日間各國の大政治家の大努力に依つて遂に成立したローザンヌ條約は前文と五部よりなる本文とを合し約五千語の浩瀚なものであるが、その要項左の如し

前文

本條約調印諸國代表はドイツの賠償支拂の義務が今や完全に終了した事を宣言すると共に、[illegible]定に引續き列國の間で希望する所の平和を保障する新なる大事業の遂行を希望して止まない、今後の成功は各國がこの新なる努力に向つて突進する事により將來より容易に獲得せらるゝであらう、此の平和は本條約の精神が[illegible]に適用せられ、且つ何人の武力又は實力に依りてのみ完全に齎ち得らるゝであらう[illegible]

本文

[illegible]成は今後起るべき諸問題に對し飽くまで本條約の精神に基き之が解決に總ゆる努力を致すべき事を要求す

第一部 ドイツの[illegible]三十億[illegible]

[illegible]決定に關係なく支拂はるべく、ベルギーと係爭中の戰時馬克の時價換算價額問題は本項と關係なし

第二部 本條約が批准せらるゝまで獨の支拂猶豫期間を延長す

第三部 ドイツに無關係の方面の賠償金處理のため別に委員會を設置す

第四部 列國は歐洲經濟委員會と協力しオーストリア援助方法作製に着手す

第五部 世界經濟會議開催に關する決議(場所、時期未定)

マツク議長の斡旋で成功 協定成立を正式發表

【ローザンヌ八日發聯合】一時決裂に瀕した賠償會議もマツク議長の斡旋により遂に妥協點に到達した本日に至り事實上完全なる協定に達した旨正式發表、かくて最終總會で新協定に調印し結末をつげ、マツク首相は九日歸國の途につくと

支拂免除と同じ 根本的手術を完了 世界經濟界の癌

【パリ八日發電通】賠償會議は三週間に亙り波瀾を重ねたが、ドイツをして歐洲復興資金の名目で三十億マークを支拂はしむる協定を了した譯である、今回支拂ふべき三十億をヤング案に依る千百十五億六百マルクに比較すれば支拂免除に等しきものである、世界經濟の癌の根本的手術[illegible]と稱されてゐる、政府筋では「先づ目下の所では最も滿足すべき結果と云つてよからう」と稱してゐる

全獨逸歡喜 協定成立して

【ベルリン八日發電通】ローザンヌ協定成立の報に全獨逸は歡喜に[illegible]

官吏身分保障 司法省で原案承認

【東京九日發電通】司法省では九日省議を開き官吏身分保障法案に付き協議の結果同案の第十一條第一項四號の存置を認め委員會を設置する政府の原案をその儘承認することに決した

三十ヶ國が原則的承認 フーバー案に對して

[illegible]三十ヶ國が原則的に同意[illegible]

戰債減額につき米國も考慮する

賠償協定成立の報に接して 國務省から發表する

【ワシントン八日發聯合】賠償協定完全に成立との報に接した米國務省は本日米國政府の態度に關し左の如く發表した

歐洲諸國がローザンヌ會議の結果ドイツの賠償金を七億五千萬弗（三十億マルク）に減額せる以上、米も歐洲十五ケ國に貸した百十億弗の債務額を個別的に各國の提案を考慮する用意がある

駐滿總監府は八月中に開設

關東軍司令部は十一月に新京に移轉する事に決定

【奉天八日發電通】八月中に開設さるる駐滿總監府新設に伴ふ軍司令部の新京移轉時期は來る十一月と決定した

梶原氏の滿鐵總裁決定迄には曲折

急げば無理が出來るとて 首相は週末旅行

【東京九日發電通】柴田書記官長は午後二時私邸に齋藤首相を訪問し梶原氏に對する軍部側の意向は尚永井拓相の希望する方面に向つてゐないから急ぎ解決すれば無理が出來るから、此際週末旅行に延かれ解決を十一日以後に延期すれば適當なる旨進言したが、齋藤首相は午後三時十五分自動車で箱根に向つた

市尹等草山へ

臺北市內各青年團に加盟した市內の各青年團長十名は西澤市尹、川添助役らと共に九日午後一時から草山[illegible]

拓相の諒解運動 軍部まだ承認せず

異論を唱へる理由

【東京九日發電通】滿鐵總裁に就ては永井拓相は梶原仲治氏一本槍で進んでゐるに對し軍部では諒解の餘地ありとして拓相の諒解運動に對し九日午後に至るも承諾の回答を與へず行詰まりとなつてゐるが永井拓相は飽く迄も初志を貫徹する決意を漏らして居りこの行詰まりが何等か打開されぬ限り永井拓相の辭任問題に絡み政局上に重大影響を與へるものとして齋藤首相も痛く憂慮してゐる模樣である而して軍部の異論を唱へる原因としては

一、梶原氏の手腕に對する疑問

二、梶原氏の公人としての過去の行動を調査した結果適任ならざる材料多きこと

三、永井拓相が各方面との諒解もつかぬ先に政略的に外部に發表せることに對する不滿

等が擧げられてゐる、その他山本內相、永井拓相の態度に對し政友會側が荒木陸相その他に相當猛烈運動を爲してゐると言はれ成行は極めて注目されてゐる、尚本問題に關し荒木陸相は語る

自分としては滿洲問題解決の上にも大きな關係を持つ重大問題でその選任如何に依つては自分の責任にもなる事だからこの問題は急がずゆつくり實行したいと思つてゐる、從つて[illegible]決まることになるかどうかは[illegible]

政友會は梶原氏反對 山口幹事長兩相に進言

【東京九日發電通】政友會の山口幹事長は九日午後四時より三土總務と共に、拓相、[illegible]、鳩山文相を夫々訪問し政府は滿鐵總裁に梶原仲治氏を推さんとする模樣であるが同氏は政黨こそなけれ實質上民政黨員であり且つ手腕も大した事はなく今日の時局に滿鐵總裁の重任に就くのは不適當である、政友會は黨を擧げて反對であるから總理にも考慮を促されたいと進言し兩相も之を諒とし閣內より反對することとなつた

斯る狀態で本問題は十一日以後に持越されるであらう

荒木陸相 外相を訪問

【東京九日發電通】荒木陸相は九日午後四時內田外相を訪ひ調査團との會見顛末を報告したる後滿鐵總裁問題に關し

本問題は極めて重大であるから愼重に考慮したい

と述べたるに對し內田外相も

自分も同感だ、副總裁も居る事であるから急に決めて仕舞はねばならぬ必要にもあるまい

との意見を述べた依つて荒木陸相は永井拓相に對し電話を以て

自分は別に梶原氏に反對する譯ではないが事重大であるから篤と考慮して態度を決めたいと思ふから暫く猶豫されたい

と通告した、結局決定は兩三日延びる模樣である

岸本前樺太長官 聲明書を發表 冷酷な罷免に對して

【東京九日發電通】岸本前樺太長官は九日午前十時半拓務省で今井長官と事務引繼ぎをなした後[illegible]

自分には何等不正はない、木材拂下も一回も許可したことはない、何れ公の際明を執る積りである

と發表した

拓相の辯明を求む

【東京九日發電通】岸本前樺太長官は九日午後二時ステーションホテルで永井拓相に對し公開狀を發し何等正當の理由なく濫りに罷免したる拓相の所謂を要求した

三十億馬克受諾の條件

【ローザンヌ八日發電通】三國會議でドイツは三十億マルクを受諾したがその條件左の如し

一、ドイツは本年から三年乃至十五年の間に總額三十億ライヒスマルクの公債を發行す

二、十五年經過後公債發行せられざる時は自動的に永久的にこれを取消す

三、ドイツは繁榮が回復しても三年以內には公債發行せず

四、公債額面は百ライヒスマルク以上價格九十ライヒスマルクとす、依つて現金總額は二十七億ライヒスマルクとなる

五、公債は五分利附とし分拂ひ償還期間三十七年とす

中川總督敍勳 勳二等に

中川總督は九日の定期敍勳で勳二等に敍せられた

在米高 第二回發表

【東京九日發電通】農林省發表、七月一日現在米見積高（第二回發表）岩手縣外十六地方の概況左の如し（單位石）

內地米	八、九二九、四八三
朝鮮米	六七九、二二八
臺灣米	二七、一二五
外米	一七、八四八
計	九、六六三、六八四
前年比	三九八、〇一六減
△第一、第二次累計	
內地米	一六、〇六六、九八〇
朝鮮米	七二三、三三一
臺灣米	三七、〇五七
外米	五八、九四八
計	一六、八八六、六一六
前年比	一、一八七、一五〇減

淡水郡の街庄事務講習會

淡水郡では街庄事務の刷新改善を期するため郡主催のもとに來る十日から五日間淡水街公會堂に於て街庄事務の講習會を開催することとなつた、講習科目は街庄制講義、街庄財務規程講義、街庄一般事務、稅務事務等である

禁酒大會 ボラー氏は總裁就任を拒絕

【インデイアナポリス七日發聯合】現行禁酒法に對し嚴正或は撤廢の聲高まりつつある折柄、本日當地において禁酒聯盟大會が開かれた結果、元ジョージア州選出議員ウイリアム・デーヴイト・アプシヨー氏を禁酒聯盟總裁に、イリノイス州のフランク・イーガン氏を副總裁に指名した、前總裁にアイダホ州選出上院議員ウイリアム・ボラー氏を推すべく同氏の內意を求めたが受諾しなかつた結果、アプシヨー氏に廻つたものである、アプシヨー氏は全禁酒黨の熱心なる支持者であり同氏が嚴格なる禁酒を實施する場合にはよろこんで指名を辭退する意向を有してゐると、因みにアプシヨー氏は一九〇六年アトランタにおいて雜誌ゴールデン・エーヂを創刊し久しく禁酒主義のため活躍した人格者である

◇シナチク◇

枡山秘書官が大正九年ごろ臺南州の教育課長だつた八丁春太郎君から臺南市の視學に懇望されたといふ因緣バナシがある▲枡山君は當時[illegible]さんから熊本へ行かぬかといふ話があつた、[illegible]その頃文部省の下山の視學を出てから[illegible]熊本へ行き[illegible]▲ところが人間の運くらゐ不思議なものはなく[illegible]

[illegible]何でも私に當臺へ來いと言つて來たのは八丁氏の外に臺南市に佐藤矢といふ助役さんがゐてその人からの勸めもあつた[illegible]斷つておくが枡山秘書官は昔から面倒見の良い[illegible]

商業登記公告

●株式會社日本勸業銀行總裁[illegible]
[illegible]
昭和七年七月六日登記 臺北地方法院

來れ！ 適確英語上達を志す者は
英語研究倶樂部 臺北市太平町四ノ五二 老松商會二階

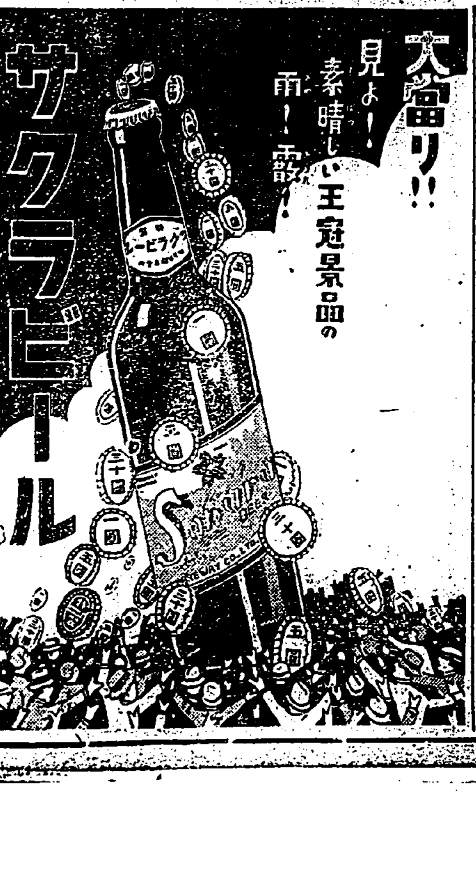
▲內科▼ 吉田內科醫院 臺北市榮町一ノ五 電話二八五三

大阪商船 基隆 門司行 扶桑丸 七月十四日前十時發 蓬萊丸 七月十九日前十時發 瑞穗丸 七月廿三日前十時發

近海郵船 基隆 神戸行 吉野丸 七月十二日前十時發 朝日丸 七月十六日前十時發 大和丸 七月廿一日前十時發

本月一日當籤償還勸業債券及復興貯蓄債券
下記ノ債券ガ當籤シマシタ來ル八月一日ヨリ各郵便局並ニ臺灣銀行・三十四銀行・臺灣商工銀行本支店出張所及日本勸業銀行臺北・臺南兩支店ニ於テ債券引換ニ元利割增金ノ御支拂ヲ致シマス（太字ハ回別デ表內ノ金額ハ割增金デス）尙百圓未滿ノ當籤番號表ハ最寄郵便局及銀行ニアリマスカラ御覽下サイ
昭和七年七月 日本勸業銀行臺北支店

債券	回	金額	番號
勸業債券	8	壹千圓	13671
		五百圓	49539
		壹百圓	13403 48148 48159
	12	壹千圓	45441
		五百圓	31469
		壹百圓	20277 39531 39858
	14	壹千圓	7300
		五百圓	32750
		壹百圓	7376 12335 15473
	18	壹千圓	48790
		五百圓	33074
		壹百圓	13467 19359 47609
	20	壹千圓	79711 88272
		五百圓	65770 71954
		壹百圓	1638 12603 17561 23349 32323 32555 33569 40505 54762 66578
	28	壹千圓	38407
		五百圓	453
		壹百圓	14855 40875 52033 68138 72242
	32	壹千圓	50631
		五百圓	20706
		壹百圓	564 1497 12290 47117 61774
	39	壹千圓	8302
		五百圓	10758
		壹百圓	15089 26441 29325 39288 41229
	58	貳千圓	27593
		壹百圓	10429 20962 27093 28190 30532 50038 67065
	80	參千圓	84350
		壹百圓	8939 92289 94649 96061 96538
	89	五千圓	70403
		壹百圓	8607 21836 24372 46425 74769
	94	五千圓	8345
		壹百圓	352 9294 10637 53822 83687
	割引2	參千圓	29262
		壹百圓	2369 31264 44455 48318 52050 52107 66223 70937 80873 90641
	割引4	參千圓	61382
		壹百圓	36268 44798 70587 70958 71646 73741 75793 77079 84851 86322
復興貯蓄	5	千五百圓	26889
		壹百圓	15619 20158 22954 34116 36341 43449 54732 69296 83575 95187
	11	參千圓	79216
		壹百圓	12051 13269 18018 36007 37904 45671 52209 60508 62888 80830



萬漬物の調味料！ 萬野菜の消毒料!!
專賣特許 糠漬の素
特効 味小組にくうまかわからしずず
臺灣總輸入元 宅商會 台北・台南・嘉義

Whoo pee ?
ウーピーとは何ぞや
それは「久遠の若さを保つ」優良高級石鹸の「シンボル」であり
そしてそれは 愉快 近代 快適 悅 味 …
觀樂のカクテルであり 極致である
妾断然ウーピーよ!!!
ウーピーを解せざれば憂鬱あり

●肺結核●婦人病●淋病●胃腸病●神經系病 其他一般慢性病
東京樂生堂慢性病科院 臺灣總本院 臺北市太平町三ノ九四(御成町)

台北市榮町一ノ九 電話二三五三番 入院隨意
內科 外科 板谷醫院 醫學博士 板谷[illegible]

馬公と東石港の定期航路開始
鮮魚を積んでけふ東石港へ 本間廳長自ら坐乘し

【嘉義電話】既報本間澎湖廳長の主唱により澎湖廳馬公と臺南州東石郡東石港との定期航路を開拓し同廳下産出の鮮魚及び一般海産物を嘉義地方に搬入し同地方よりは穀類、果物等を同廳下に搬出せんとする計畫は愈々具體化し、その第一回の試みとして本間廳長は十日午前九時鮮魚二噸を流防丸に積込み自身も同乘して午後二時東石港に到來することとなつたが、嘉義市よりはこれを出迎ふべく嶺谷市尹自動車を驅つて同地に向ひ鮮魚をトラックにより市營市場に搬入賣捌くこととなつた

五ツと六ツの坊や汽車旅行 悲しくなつて泣出す

去る七月斗六街斗六七二五番地王枝眸の長男王坤輝（六ツ）同く五〇七番地蕭火の男蕭金和（五ツ）の二人は家を出て遊んでゐるまま歸宅しないので四方八方搜したが心當りなく午後八時頃急に臺灣警察の通知に依り二坊兒が林鳳營で警察の保護を受けてゐるとのこと判明てつきり人さらひだと街民が騷ぎ立つたのであつたが同夜父兄が貸切自動車にて林鳳營に赴き連れて歸つて來た話しによると誘拐されたのでなく二坊兒が停車場へ遊びに行つてゐる中たまたま汽車が來たので好奇的に乘つて林鳳營まで行くと急に悲しくなつて泣き出したので始めて迷ひ子だとわかり保護を受けたものらしい

貴藥白木耳を大湖蕃地で發見
新竹州木佐貫技手の大手柄 將來州名物とす可く繁殖試驗

新竹州林業係木佐貫技手は大湖郡蕃地無名溪上流にて野生の白木耳を發見したが右は明治四十二年森林係長が阿里山にて發見し臺灣でも生育する事實を知り内地から種を取寄せ北埔、タコナン、南庄方面で繁殖に努めると同時に新竹州下にもあるに違ひないと搜してゐたものであるが、白木耳は藥用として對岸から年額三十餘萬圓輸入されつゝあるもので、新竹では百目百圓位みする貴重なものである、大湖ではハンの木、フシの木等に生じてゐたが州にては之を繁殖せしめ新竹の名物として全島に供給すべく目下繁殖試驗に苦心してゐる

臺中神社へ『朝參り會』 夏休の學童精神修養に

【臺中電話】臺中神社では學童の夏休暇を期し一般兒童の精神修養及び心身鍛錬を目的とし、將來健全な國民の基礎を築くために同神社「朝參り會」を催す事となつたが會則は左の如くである
一、會期　八月一日から同三十日迄
一、會員　小公學校兒童入會隨意
一、毎朝參拜の時「朝參り帖」に參拜印を押す
一、會期中一日、五日、十日、十五日、二十日、二十五日の各日を「樂し日」として次のことを行ふ
日本體操　神　話
神社參拜作法　神社參拜歌
【樂し日】は特に午前六時集合のこと（行事に約一時間）
一、三十日午前七時終了式を行ひ參拜日數の多い人を表彰する
一、入會希望者は學校の先生又は社務所に屆出ること

八通關道路調査の花蓮港隊元氣 本月中に終了の見込

【花蓮港電話】既報八通關道路調査の花蓮港隊は臺中州側から入山せる西班の一班に分れ西班は五日から、東班は先月二十八日からそれぞれ調査行動を開始して居り、西班に大野[illegible]既報本月中に全部の調査を完了する意氣込である

東港街代表 野口知事訪問

【高雄電話】既報東港街の鐵道延長問題に關し同街長察賴取同街協議會員水越定氏外四名の陳情員は九日高雄州廳に野口知事を訪問陳情した後同夜夜行で出府した

道路問題で 樹林街代表中瀬知事訪問

過日周木氏外二氏は樹林間道路問題に關し樹林街從業員上道路線更陳情者代表として松野海山郡守を訪問し陳情書を提出したが更に州知事にも陳情の爲め午前九時五十九分板橋驛發列車にて陳情書を携へ出北し陳情書を中瀬知事に提出し陳情の理由を說明した

臺南の納涼 人出を見越し
臺南署取締方針協議

【臺南電話】十日より十五日間臺南全市を擧げての大納涼會もけふとなり、臺南警察署では九日朝幹部及び市役所係員參集の上交通取締其他の警戒につき協議を遂げ各手配をなすこととなつたが、一般に於ても留守中の戸締又は子供の一人歩き等注意せられたしと

阿里山國立公園協會 陣容を一新
名譽會長に今川知事推戴

阿里山國立公園協會では第三代目の會長嶺谷嘉義市尹の主動に依り前後二回の理事會を續開して示衆假選に關し愼重協議した結果先づ陣容を整へ新幹部の協調努力に依つて速急陳情等を考慮の上着々遂行せんことを期し會則を變更して臺南州知事を名譽會長に推戴する外從來の副會長の定員二名なりしを三名に改め一名を民間有力者中より選任することとし、更に同協會の事業が阿里山を中心とし新高山、日月潭、烏山頭、關子嶺等の風景地を抱擁連絡する國立公園の設定促進を目的とする關係上嘉義の各地域に關係縁故を有つ各郡守を推擧することに決定し既に各人の諒解を得て次の如き新陣容を發表した
▲名譽會長 臺南州知事今川淵
▲會長 嘉義市尹嶺谷致員
▲副會長 嘉義郡守猪口誠
▲同 營林所嘉義出張所長友係
▲同 州議員木勝太
▲常任理事 嘉義市助役堀克夫
▲理事 竹山郡長、早川、勝田、中島、加士各州議、小西、白井、酒川、徐、加藤、鐘、陳、林、梅谷市議、太田驛長、小野寺新組長、小笠原曾文、栗原新營、齋内斗六、會根原虎尾、阿部北港、齋藤東石各郡守

現金貴金屬を金庫から拔取る
犯人は内部の者か

【臺南電話】臺南市安平六二八陳化維方に八日午後十二時頃より翌朝五時半迄に裏戸をこぢ開けて侵入し、臥室の手提金庫を盜み出し在中現金二十九圓餘と貴金屬價格二百圓を**拔取り金庫**は同家一丁程先路傍に捨てあるを發見したと午前八時屆け出があり、臺南署では直に市内清水町天后方のピストル強盜及び臺南法院盜難の手提金庫未だ犯人擧がらぬ折柄なので非常な緊張裡に時を移さず齋藤警部指揮の下に全部員出動し、現場檢證を行つたが**戸をこぢ**開けるに用ゐた金鑿らしい金物が被害者宅のもので家内が荒らされて居らず金庫だけ持出した點等より犯人は同家内の樣子をよく知つてゐるものと見られてゐるが、一説には怨恨關係に絡む點があつて怪しき點あり八方搜査中である

カンター番の移住費解決
耕地補償も近日中決定か

【臺中電話】カンター番の移住費其他について同地警察に移り警察と交渉中であつた伊藤臺中州理蕃課長は八日午後歸中したが、移住費については彼らの要求する額を基とする時は公平の樣でもあるが多いものもあるので一戸につき最低三十圓、最高百圓止りとし總額五千七百圓の移住費を交付するに決し、彼等の舊耕作地にして水田に要する所は何程か蕃害に知り得ないので一々標識を立ててこれは誰、かしこは何某の**舊耕地**であると言ふ風に詳細な調査をなした上補償金を交付する事となり、目下同地蕃務警官立會の下に蕃人らが總出で調査中であるが一兩月後には明瞭となるべく一甲歩につき百圓位は交付せねばならぬであらう

新竹市營住宅 三十六戸建設

新竹市營住宅は新公園入口の空地を埋立て約二千坪の敷地に低利資金五萬圓を以て三十六戸を建設すべく本月中に埋立を終り八月中旬頃から工事に着手する豫定であるが、住宅は一種二十一坪（八疊、六疊、四疊半二間、玄關二疊）四戸二種十六坪（八疊、六疊、四疊半）十二戸三種十三坪（六疊二間、三疊）二十戸で家賃は一坪一圓の見當であると

岡田財務局長 高雄を視察

【高雄電話】岡田財務局長は九日午前八時八分着列車で來高、州廳訪問後臺灣水產内外食品、築港、山寮を視察して港口官舍に一泊したが十日午前八時十分發列車で臺南に向ふ豫定

全島的大異動 ―稅務關係の―
臺中州稅務關係 制度改正以來の大異動 沈滯せる空氣を一新す

【臺中電話】臺中州稅務課の直稅、間稅、州稅係の各係長は十日附で臺中州又は臺南州等へ夫々轉任となり、その後任として臺南高雄新竹等の各稅務課から轉任を見たが、稅務職員のかゝる**大更迭**は制度改正後初めての事で、臺中州から臺北州へ轉任の各係長の如きは何れも十數年の長き間臺中州に勤務してゐたもので今回の更迭によつて多年の間稅務課員間に沈滯してゐた空氣が一掃された觀あるとて轉出入者は大喜びであつた、氏名左の如し
任臺中州屬、命知事官房稅務課州稅係長 臺南州屬 山岡 文八
任臺中州屬、命知事官房稅務課間稅係長 高雄州屬 品田進一郎
任臺中州屬、命知事官房稅務課直稅係長 高雄州屬 隅増 彌助
任臺中州屬、命南投稅務出張所稅務係長 新竹州屬 成田 誠一
任臺中州屬、命南投稅務出張所間稅係長 臺南州屬 磯井 深三
任臺中州屬、命知事官房稅務課庶務係長 新竹州屬 川田 輝三
任臺中州技手、命知事官房稅務課勤務 臺南州技手 高尾 貢彦
任臺中州屬、命知事官房稅務課勤務 新竹州屬 双津喜右衛門
臺中州屬直稅係長 長田 好房
臺中州屬庶務係長
臺中州屬間稅係長 原松 零衙
臺北州屬へ轉任（各通） 中島 清
臺中州屬州稅係長 昨桝德四郎
臺南州へ轉任 臺中州屬 清正 [illegible]
高雄州屬へ轉任 臺中州屬 森一郎
花蓮港廳へ轉任 臺中州技手 芥川 新吾
臺南州へ轉任 臺中州屬南投稅務出張所勤務 長谷川喜三郎
總督府屬へ轉任 臺中州屬 渡邊 孝一
新竹州屬へ轉任

高雄州稅務關係 異動發表

高雄州では十日付左の通り異動を發表した
任高雄州屬命稅務課勤務 臺北州屬 平松 貞次
任高雄州屬命稅務課勤務 臺中州屬 清正 [illegible]
任高雄州屬命稅務課勤務 臺北州屬 北條 角馬
任高雄州屬 命屏東稅務出張所勤務 新竹州屬 赤尾 好直
任高雄州屬命同 臺北州屬 井上 公文
任高雄州屬命同 臺南州屬 井口 米造
任高雄州屬命同 新竹州屬 近藤 學而
高雄州屬 國瀬 均 命屏東稅務出張所勤務

礁溪信組の横領事件判決
執行猶豫付で大喜び 組合長外三名何れも懲役刑

【宜蘭電話】一千餘圓の資金費消事件の捜査から不正のある事が發見されて問題になつてゐた宜蘭郡礁溪信用組合の約五千四百圓の業務上横領及び有價證券僞造行使事件の第三公判は九日午前十時臺北地方法院宜蘭支部において對島檢察官立會の下に太田判官によつて判決が下され、組合長林大用、書記林木鼠、林旺兒及び陳信林海鐘の四名は何れも懲役一年三ケ月間執行猶豫の恩典に浴し喜びの色に滿ちつついそいそと引下つた

宜蘭農林の後任校長内定
猿渡校長代理に同情集る

【宜蘭電話】西崎校長辭任以來四ケ月に及んで未だ後任のきまらなかつた州立宜蘭農林學校校長は今度新に石川縣より西崎清氏赴任する事に決定したと噂されてゐるが、聞するに西崎氏は大正七年の駒場出であるに對し現に同校々長代理を勤めてゐる猿渡共吉氏も同じく**駒場の**大正二年出であるため昔は五級も下の西崎氏の後長たる事を同校創立者として且つ生徒の信望厚き猿渡氏にとりあまりに氣の毒な人事關係であるまいかと見られ各方面の同情をひいてゐる模樣である

交通團と臺中側試合決定

【臺中電話】十日臺中水源地における臺北交通團チームとの試合は午前は臺中市内各中等學校選拔選手、午後は全臺中軍が當る筈

阿片癮者の死 疑惑視さる
更生院曰く―阿片中毒

【高雄電話】高雄更生院で八日午後三時頃死亡した阿片癮正患者屏東郡里港庄黃阿質の死因については同人が入院の際持込んだ多量の阿片を密に服用したため中毒症狀を起して**死亡**したものと言はれてゐたが、死因に疑ひがあるので高雄署ではこれを司法事件として九日朝から取調べを開始した、病院において聞く所によると七日午後五時同人が入院の際係員が身體檢査を行つた所口邊に阿片臭氣が附着してゐるのを發見した、入院後**狂氣**の樣になつて阿片を要求めるので係醫師が代用藥として鹽酸モルヒネ〇・三を與へたが同夜十一時頃になつて苦悶し初めたけれど、普通阿片癮者の中毒症狀と見て何ら處置を施さなかつた所八日朝になつて俄に**容態**が急變したので係醫師がかけつけ應急手當を施したけれど遂に午後三時死亡したもので病院側には何ら手落ちなく死因は患者が入院前に呑んだ阿片の中毒によるものであると言つてゐる

阿片を嚥み中毒死亡 高雄更生院入院の日

【高雄電話】[illegible]

高雄の醫師嘉義署に留置
嘉義市相手の損害賠償 藪蛇に終り、流言亂れ飛ぶ

【嘉義電話】曩に嘉義市尹を相手取り六千四百圓の損害賠償を提起して嘉義市民を驚かした高雄州岡山郡岡山庄[illegible]醫師[illegible]は同市[illegible]にて同人の實父より讓受した土地の關係の陳情書を發見したので、去る五月損害賠償の訴訟を取下げたと傳へられてゐるが七日突如として嘉義署司法係に召喚されそのまま留置取調を受くるに至つたので種々の噂を傳へられてゐるが同人は嘗く嘉義市に寄附し現在道路となつてゐる市内西門町一の一八の土地四百二十坪を某氏に賣渡したこと發覺したものと云はれてゐる

喧嘩した夜 妻奇怪な死
權藤博士死體解剖

【臺中電話】彰化郡員林街大有口陳尤氏緞は七日夫婦喧嘩をした後實家に歸り夜に入つてから大有口の自宅に引返し就寢したが八日朝いつ迄たつても起床せぬので家人も不審を起し寢室の側に行つて見ると既にこと切れてゐたので大いに驚き、庄役場から醫者二名を呼んで診察したが死因不明につき九日臺中醫院の權藤外科博士が出張し解剖に付し死因の檢診をなした

臺南を明るい市に 街頭照明で
來月末迄には全部點燈

臺南市内各町に取りポールヘッドライト及び鈴蘭型電柱二百六十六柱を新設して近代都市並の照明に依り臺南都の巷を光りの中に浮かせやうとする計畫の下に七日午前十一時から臺南市役所に於て東京電燈、三共舍、鐵工組合その他より集めたサンプルに依る照明器を定むる事となり、市内四實業團體代表者職業、土木各協議員の合議を經て共の照明器を審査したが之に夫々選定入札に付す、其と共に三日中各町に割當て八月下旬には大體の新設を見る事となるであらうと

野口知事九日夜行で出北

【高雄電話】野口高雄州知事は遞信部新設命名式參列並に事務打合のため四日間の豫定をもつて九日夜行で出府した

呪ひの金曜に溺死二人 臺南州新營郡で

【臺南電話】臺南州新營郡鹽水街[illegible]は八日鹽水街より[illegible]途中急水溪渡船場に於て水浴中過つて深き所に足り込み溺死したので山田公醫が檢診の上家人に引渡した、又同日午後六時頃新營公學校前の臨溪側に住所氏名不明七十歳前後の老人死體を發見したが、田中司法主任、大屋巡査部長立會の下に山田公醫檢屍した人らしく所持品は金一圓現品と云ふ印籠を持つて居る、目下各派出所に照會中である

壽山山腹に 警官療養所
二萬圓を投じ九月起工

【高雄電話】高雄州警務部では壽山公園地帶の一部即ち西子灣に望んだ壽山山腹の景勝地に警察官療養所新設を目論み昨年來督府當局の諒解を求めてゐたが、愈々督府當局の諒解を得、これに要する經費**二萬**圓は本年度において警察協會より支出の事に決定したので九日官有地たる敷地の貸下願ひを提出したが、許可があり次第本設計に移り本年九月頃工事着手の豫定である

臺中大隊將校 高雄で現實戰術

【高雄電話】臺中第三大隊將校九名は九日午前七時五十四分臺南發汽車で高雄に到着、壽山西子灣で現地戰術指導をなし同夜一泊十日朝十時五十二分高雄發で臺南に向ふ豫定

尻輕女房家出す

【高雄電話】高雄市湊町[illegible]黃氏[illegible]は生來の淫奔女で本年三月頃[illegible]を忍んで情を通じてゐたのを夫に知られ激しく叱責されたが夫と共に何れへか姿を消したので夫は血眼になつて行方を搜してゐる中七日午後十時頃女が[illegible]氣取りで鹽埕町市場附近を歩いてゐるのを發見逃亡らんとしたがきかぬので鹽埕町派出所へ訴へ出た

東石郡對嘉義 警察官武道試合

【嘉義電話】東石郡警察課員三十名は九日午後二時より嘉義武德殿に於て嘉義郡警察課員と武道試合を行つた

東部煉瓦公司 十日披露宴

【花蓮港電話】北埔に建築中の東部煉瓦公司は完成したので十日午前十一時から昭和記念館に官民多數を招待し披露宴を張るが同公司製造にかかる煉瓦は一萬當百六十圓で販賣すると

意外！横領魔 八日釋放さる
一件書類のみ檢察局送り

【高雄電話】高雄[illegible]組合の横領犯人友近米三郎は取調べの終了と共に身柄は臺南檢察局に送致さるるものと見られてゐたが八日一件書類のみ檢察局に送つて身柄は同日夕刻一先づ釋放された、これは今回の事件の後始末、整理事務等について友近がゐなければ不明の點があるとの理由により二、三幹部の熱心な運動が奏効したものと見られるが、當局では既に取調べも一段落をつげ證據湮滅又は逃走の惧れなきものと見て檢察局の指揮により一時釋放したものであると言つてゐる

屏東稅務關係異動で送別庭球試合

【屏東電話】屏東稅務出張所では十日大異動が發表され品田、播磨、干來、宇出、草野、楓野六氏は臺北其他各市へそれぞれ榮轉することとなつたが何れも十年乃至二十年勤續の係長級であり、庭球界の幹部揃ひのことで十日正午は所員主催の送別會、午後三時からは體協と元老隊が主催となつて公園コートで庭球試合後第一樓で送別宴を開く

又一稼ぎ 起訴猶豫中に

【臺南電話】臺南市鹽埕町二三〇番地松林と云ふ小倫は窃盜罪で起訴猶豫中のものであるにも拘らず昨年一月より今日まで二十八回に亙り臺南市内で約七十圓の現金泥棒をしたことが判り又復臺南署に檢擧された

海山體育聯盟 庭球試合

海山郡體育聯盟主催に係る庭球部第九回春季大會競技は十日午前七時板橋小、公學校兩庭球コートにて擧行する由
海山郡役所團……三峽庄團
板橋公學校團……土城庄團
鶯歌庄團……中和庄團
樹林酒工場團……板橋無線團
試合方法各團リーグ、五回シヨートゲーム
優勝團には優勝旗を授與す
尚昨年度に前々年度より二回連續優勝し優勝旗ホルダーで今年の試合にもベストをつくし優勝すべく目下猛練習中

妻黃氏婦儀豫而病氣ノ處去ル六月十九日午前三時五分逝去致候ニ付此段御知己ノ諸ニ代ヘ親族故舊ニ謹告仕候
追テ來ル七月十一日午前七時自宅ヨリ出棺仕候
昭和七年七月十日
夫 顏 能 光
男 顏 瑞 徵

研究社 英語通信講座
◇毎月壹圓（毎月二冊配本）◇
毎日二時間十五箇月の獨學で、立派に英語が讀める！話せる！書ける！
新興日本を風靡する滔々たる英語熱は遂にJOAKを動かして英語ニユースの放送を開始せしめました。今や吾々は英語を知らないではラヂオの興味も利益も十分に享受する事が出來ないのです。即時決心、本講座で英語獨學のスタートを切り、時代の歩みに追ひ付いて下さい！
内容見本進呈
東京麴町富士見町五 研究社通信學部 振替東京二八〇五番

夏季新學期 會員大募集

濃く・淡く・滑かに 最高の質 トンボ鉛筆
製圖用 事務用 圖畫用 高級色鉛筆等々
東京 トンボ鉛筆製作所

犯罪公論
出た！八月號！
海へ山へ汽車に船に この一冊を忘れ給ふ勿れ 賣切の惧れありすぐ！
踊子行狀畫報（八頁）
全肉體美ミス・ニツポン畫報
犯罪公論特輯寫眞
スポーツと戀愛 短篇集
犯罪公論特輯記事
留置場萬華鏡……牧島剛力
特異醫學・接吻考……島洋之助
誘拐その他……宮川曼魚
新類人猿……城田シュナイダー
社會の混沌期に於ける犯罪……長 一
輪理葬娼婦二萬人……草間八十雄
旋旗時代（倒行逆施篇）……落合三郎
獵奇研究 首斬淺右衛門……白川翠川
夜の日本・道後温泉の巻……木路特派員
新作落語・職業婦人
戀愛忠臣藏……瑠井十五
花火供養……大石平
化粧史話（附文身の話）……大隅爲三
研究 モザムピックの魔人……ラユバクス
ピストルの歴史……平島
農民運動アモレスチン……秋田亮
世界戀愛美人辭典……丸木砂土
50錢
東京神田通神保町 振替東京四四五四八 四六書院

東洋第一
花王石鹸（カオーセッケン）
品質本位
お中元の特別奉仕
美しい文匣式花王石鹸容器一個つき
他に類のない雛段式一打函
正價 一圓廿錢
體裁のよいハンカチーフ一枚つき
花王獨特の美しい半打函
正價 六十錢
この外にお手頃の三個函（三十錢）も取揃へてあります
いづれも美麗なのし紙をお添へ致します
一打函につく花王石鹸容器
雛段式の美麗な一打函
戴いたからとて無駄に使ふことの出來ないのは石鹸です
石鹸ならむだべりのしない品質本位の花王石鹸に限ります
半打函につくハンカチーフ
純粹度九九・四%
正價一個十錢
東京・花王石鹸本舗 長瀬商會・大阪
9367

臺北市に 初めての催し 盛大な廣告祭
來る二十三、四日兩日舉行
商業美術展委員會で決定

本島最初の試みたる商業美術展の準備は着々進捗してゐるが主催者たる臺北市商工課では九日午後一時半から商工課において實行委員の打合會を開催した出席者は

▲民間側 府後會副會長藤岡隆吉、新高製菓會社森平太郎、村井商行村井房吉、神木洋行神木次郎、盛進商行中辻喜次郎、菊元洋行重田榮治、臺北茶商公會[illegible]

▲官廳側 臺北州商工係長代理高石、本田兩囑、臺北市勸業課長中村朝太郎、督府商工課長須田一二三、係長福場宏、與又光雄の諸氏で先づ須田商工課長の挨拶あり事務の經過報告に次ぎ參觀者に對する顧出の件、各實行機關の名稱を廣告祭實行委員會とし實行委員長は中辻喜次郎氏に決定、事務所を本町會事務所に決定し經費、參加勸誘及び申込受付、趣意書起草、參加規程の作成に關する件を決定し廣告祭の月取は二十三、二十四の兩日とし午後四時から市內を練廻るが總指揮者は臺北州小池商業主事、中村臺北市勸業課長が當ることとなり午後三時二十分閉會した

內地自身に必要な 臺米の移入制限は 不合理且つ姑息だ
加藤商會臺北支店長 曾根秀之介氏談

臺鮮米の移入制限については新聞紙上で散見するのみで果して實行するや否や多少疑つてゐたのであるが、最近名古屋本店からの情報に依りそれは必須的のものであるといふことを知つた次第である

本島米 の移出高は最高二百八十萬石であるが、此內約四十萬石は在來米、六十萬石が九州米で蓬萊米は百七、八十萬石位である就中在來米は東北地方の如き生活程度の低いところや養蠶地帶に需要され恰も朝鮮の農家が滿洲粟を食つて自ら產する米を **移出向** に廻るやうに価安な在來米を食うて自家の蓬米を他に廻るのであるから之は勿論移入制限の必要もなく又內地米に脅迫を加へるほどの移出力でもないから殆ど問題にはならない、又丸期は新穀正月用及工業用に必要な米であつて之が移出を制限されると本島の米產者よりも內地の消費者が困らう、問題は蓬萊米であるが、之とて內地の端境に向つて特に必要なる

補給米 イヤ味の良い格安な新米として歡迎せらるる新米であつて朝鮮米のやうに七百萬石からの移出力を有し而も內地米と出廻期を同じうするので新米出盛期に一層內地米を壓迫するものとは大に趣を異にするのであるからその移入を制限することは寧ろ不合理であると思ふ、事實內地の **農家に** は穀草製るべき米もなく自家飯米を他より買はねばならぬ境遇にあるものが砂くない實狀からしても單に大農や一部米商のみを利するやうな米價釣上げ策、殊に移入制限には贊成出來ないのである、米價調節については歷代政府當局が大に苦心努力し而且つ滿足な效果を收めることが出來ずに今や農村疲弊の喧察、明さといふ

清算期 に達してゐるのであるから移入制限の如き姑息な手段をとつても到底內地農村を救濟することは出來まいと思ふ殊に蓬萊米の消費者は農家以外にも多く農民も亦蓬萊米の有力なる消費者である以上それら消費者に內地の製値を高くして高い蓬萊米を喰はすことは考へものではなからうか一方臺灣蔗地としては制限の結果價以下に **米價を** 崩すことになるから臺灣の米作は延に大破產を來して重大なる影響を各方面に齎すだらうことを深く恐れる次第である臺灣に生活する吾々としては此の移入制限には無論反對しなければならぬ

臺米移入制限は 惡結果を來す
移出米商組合 林濟川氏談

植民地米の移入統制案は內地延長政策の主旨に相反するも甚しいと思ふ、以前內地の米價は暴落のため內地農民の生活は非常に不安定であつた、その同胞達が今茲因に安らかに生活し得て居るのは蓬萊米に移出能力があるお蔭である、一、二年の豐作により米價が下落したからとてもう要らぬと斷るのは共存同榮の上から云つても蓬萊統治上から云つてもはた蓬萊の健全なる發達の上から云つても非常な惡結果を將來に殘すと思ふ

改良糖廍も增產
產額十一萬二千餘擔 步留一割四分二厘強

總督府特產課調查によれば昭和七年期の改良糖廍八工場の原料搾斤數は三億一千九百十萬三百二十斤に上り原料增收で前期に比し五百八十五萬二千二百十斤を增加し產糖高は十一萬二千四百五擔六十四斤で前年の產糖高に比し一萬七千五十七擔三十斤を增加したが步留は平均一割四分二厘一毛の新記錄を作り昨年の一割三分二毛に比し一分一厘九毛の增加である、尙之を各工場別に示せば

工場別	產糖高	步留
臺南製糖	四、三八八擔	一一・四五
新竹大湖工場	六、一六二	一二・一〇
旗成隆場	一〇、九九三	一一・五五
東興興業	五二八	〇・八七五
昭和新竹工場	五、二七一	一六・四三
同 大崗山工場	一〇、四二五	一三・八八
新竹製糖第一工場	一八、八二八	一四・四〇
陳板糖廍	九、八〇七	一二・六八
計八工場	一一二、四〇五	一四・二一

特許爭ひ セロテックスと アルテックス
結局アルテックスも特許さる

甘蔗の搾り粕で製造される絕緣材又の名防音板は宜蘭のバガス工業試驗所でセロテックスと稱し盛んに製造島內各方面の需用に應ずる外內地は淺野物產株式會社と特約し總賣元として極力販賣に努めてゐるが、右の外元士林の臺灣製紙會社にゐた柏熊太郎氏が同社で廢粕を主原料として製造したものをアルテックスと稱し販賣してゐた關係上昨夏以來柏熊氏個人で臺北市內中崙に工場をつくりアルテックスの製造に從事中本年三月火災に遭ひ保險金を得て應手もなく復興目下盛んに製造してゐるが內地は神戶の野澤商店と特約して各方面に販賣めることとなつたので端なく淺野物產發賣のセロテックスと競爭の狀態となつた、然るにセロテックスの發賣元淺野物產では社員手尾吾一氏名義にて柏熊氏のアルテックス特許に對し特許すべきものにあらずと異議の申立てをなし問題を起したが其後特許局にて審議の結果アルテックス側の勝となり六月二十四日付にて特許查定を見たので柏熊氏も愈々之が製造に本腰を入れ得るに至つた、因に同工場におけるアルテックス製造高は月四、五千坪にして厚さ四分のもの一坪三圓位で內地及島內に販賣されてゐる

東京爲替市場 閑散

【東京八日發電通】八日の爲替市場は外電安を入れて前日引値に比し幾分弱含みとなり寄付對米二十七弗、對英一志六片十六分の三對に對し買手は二十七弗八分の三、一志六片十六分の七を唱へたがその後氣配少しく軟化し午前十一時頃には二十七弗四、八分の一買、一志六片八分の一買、八分の三買唱へとなつた、商內極めて少なく至極閑散

一期米標準米查定

總督府では來る二十一日午前八時から臺北植物園內商品陳列館に於て本年第一期標準米の查定會を開催することとなつたが當日は殖產局、中央研究所、各州民間當業者竝に米穀檢查員ら多數列席の席で在來白米を除くの外各種類の標準米を決定する

脫稅問題に鑑み 實績查定法改訂

【大阪九日發本社特電】明治製糖會社の脫稅問題に鑑み大藏省主稅局では現行協定步合たる原料百斤につき精糖九十五斤糖蜜三斤の割合は製糖技術の大進步の結果、一大改訂の必要を認め先づ之に必要なる實績查定を急速に實施する爲中島主稅局長は六日午後二時臺灣明治、大日本、鹽水港、中央の各製糖會社代表を招致し左の通り通達した

一、實績查定をうける場合各精糖會社首腦部は夫々工場長に嚴明を發し從前通りの製糖技術によつて作業を續けその間何等の欺騙行爲なき樣極力注意すべし

一、脫稅事件そのものについては大藏省は獨自の立場に立ち技術的調查をとげ態度を決定すべきにつきその旨諒承ありたし

尙主稅局は同日直ちに稅務技術官を總動員して製糖會社の各工場に對し實績調查を開始することとなつた

天然瓦斯會社 設立相談會

目石の天然瓦斯を工業用其他に利用するを目的として設立計畫中の天然瓦斯工業會社は資本金百萬圓內拂込三十萬圓の豫定にて目下出資者を勸誘中であるが九日午後二時鐵道ホテルに後宮信太郎、中辻喜次郎、尾加彥太郎、重田榮治、高橋猪之助、松岡富雄の諸氏會合之が設立につき種々相談するところがあつた

資本逃避防止令
八日府令で細目發表

九日附の府報號外で例の資本逃避防止法案の施行細目に關する府令が出たが、右は資金の海外逃避を防ぐためのもので、本島としては大した影響はなく外貨證券の如きも僅かに大藏當時の四分利佛貨公債が六、十萬もあらう他問題になるものもない見込で、ただ外貨證券の手持筋や貿易商などが屆出や手續に面倒を見る位のものであらうと

六月中移出米
二十四萬三千六百擔

【殖產局調查】六月中の全島移出米は二十四萬三千六百八十六擔、價額百八十四萬三千圓にして本年一月以降の累計百五十八萬五千五百五十一擔、價額一千二百二十七萬五千圓に達した、之を前年同期に比較すれば數量で三十四萬一千九百八十二擔減少し、價額で百十七萬四千圓增加して居る數量減少の主因とする所は六月は長雨のため收穫遲れて出廻りが少かつたのと內地筋の買付が割合に不活潑であつたにあり價額の增加したのは昨年に比し値高であつた爲めである次に各仕向地別に六月中の移出數量と本年一月以降移出高を仕向地別に表示すれば次の如し(單位擔)

仕向地	六月分	本年一月以降累計
小樽	九九九	二九、四〇九
函館	二〇〇	一、〇〇〇
東京	一五六、五二六	四四七、五七九
橫濱	二七、五三六	二〇九、一三三
名古屋	六、五三一	一五五、四〇六
大阪	六、九七三	一四六、九四〇
神戶	一八、二五一	三二六、五五四
廣島	[illegible]	[illegible]
下關	[illegible]	[illegible]
門司	[illegible]	[illegible]
三池	—	[illegible]
長崎	—	[illegible]
鹿兒島	[illegible]	[illegible]
沖繩	[illegible]	[illegible]
朝鮮	[illegible]	[illegible]
其他各地	[illegible]	[illegible]
計	二四三、六八六	一、五八五、五五一

移出糖 累計調查

【稅關調查】六月中の移出總數量は四十一萬二千九百六十七擔、その價額三百四十六萬一千圓にして六年十二月以降移出累計は數量一千四百六十六萬三千五百六十四擔、價額一億二千六百四十八萬六千圓に達し之を前年同月累計に比較すれば數量に於て二百四十四萬八千五百九十擔增出し價額は一千三百九十八萬八千圓の增加を示して居る、尙ほ各仕向地別に六月末迄の移出累計數量を前年同期のそれと比較して見れば左の通りである

仕向地	昭和六年十二月以降累計	昭和五年十二月以降累計
小樽	二六一、九七七	二三一、二三五
函館	六五、四〇五	六四、五〇四
東京	五、二七四、〇八六	四、二〇七、二五九
橫濱	四四三、三五五	三七二、八〇四
名古屋	一、二三六、六二一	一、〇五六、三三三
大阪	二、三五九、六〇七	二、四〇四、一三九
神戶	一、六六五、九〇七	九九八、六六五
廣島	二三三、五五五	八九九、一九五
下關	四〇五、一〇三	二七〇、八〇九
門司	八三六、三六八	五八五、六六九
三池	四〇七、六〇四	三三九、一〇四
長崎	一〇一、〇〇八	七六、一五三
鹿兒島	二五六、六〇五	三〇、五五八
沖繩	四六九	三三三
朝鮮	[illegible]	[illegible]
其他各地	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

東京爲替閑散

【東京九日發電通】九日の爲替市場は極く閑散でレートも寄付より引まで殆ど動かず對米二十七弗乃至八分の一對英一志六片八分の一乃至四分の一買に對し賣手は二十七弗四分の一、一志六片十六分の五乃至八分の三唱へ先物は一ポイント高位である商社ひは殆どなく氣配は保合帶態である

米穀檢查狀況視察

同 九日 四、二五五
同 長稻 二、三五五

蓬萊米の出廻りは最近頓に增加し米穀檢查所はこれが檢查に大多忙を極めてゐるが米穀檢查本所では檢查狀況視察のため十二日から作田技師は新竹、高雄、臺南三州下小田技手は臺北、新竹、臺中の三州下にいづれも出張することとなつた

林田村黃色煙草收納

【花蓮港電話】花蓮港廳鳳林支廳管內の黃色葉煙草の後期收納は林田村の分で四日全部收納を見たが既報の通り本年は黃色葉煙草耕作開始以來の良成績で從來の最高賠償價格は十七萬圓であつたが本年は前後期を通じて二十二萬九百五十九キロ賠償額二十萬八千四百三十八圓五十九錢であつた

倉庫保管貨物

臺灣倉庫會社の六月末現在保管貨物は五十九萬二千五百六十九個、價額六百十六萬五千四百四十一圓で主なる保管貨物は次の通りである

品名	個數	價額
內地米	[illegible]	[illegible]
朝鮮米	[illegible]	[illegible]
蓬萊米	一八、一一〇	[illegible]
外國米	一、〇〇四	[illegible]
小麥	[illegible]	[illegible]
麥粉	[illegible]	[illegible]
精糖	[illegible]	[illegible]
分蜜糖	[illegible]	[illegible]
雜食料品	[illegible]	[illegible]
雜飲物	[illegible]	[illegible]
織物製品	[illegible]	[illegible]
陸產肥料	[illegible]	[illegible]
人造肥料	[illegible]	[illegible]
金物製品	[illegible]	[illegible]
機械類	[illegible]	[illegible]
木材	[illegible]	[illegible]
藥品	[illegible]	[illegible]
油脂及蠟類	[illegible]	[illegible]

ウーロン夏茶 買付開始さる
上茶は捌けるが 中下茶は停滯

大稻埕の茶況に關し臺灣共同販賣所の調查によれば烏龍茶の夏茶取引漸く商機相熟し輸出洋館側が兩三日前から一齊に買付を開始した從つて再製茶館側では手持品の賣込みに東奔西走の姿で市場緊張味を帶びてゐる、然し取引狀態は買賣兩者の呼値に相當の開きありて折合付かず出來高は比較的稀少である、一面粗製茶の出廻り價狀は今や夏茶出盛りの中心期とて流石に入荷稍增の形であるが上茶は右から左に捌けて行くも中、下茶は停滯勝である、相場は氣配一張一弛步調定まらず漸して保合狀態で變化を見ず、九日の相場は大葉烏龍種及青心種の極上茶六十圓、上茶二十六圓、中茶十七圓、下茶十三圓、黃柑種が上茶二十四圓、中茶十五圓、下茶十一圓、時茶種の上茶十七圓、中茶十三圓、下茶十圓であつた

新竹州一期米は 素晴らしい良質米
紅毛產には本島一の折紙

【新竹電話】新竹州本年第一期は頗る良質の蓬米を得大湖檢查所主任は紅毛から出た納日の如き本島一の折紙をつけ中部米に比し斷じて勝るとも劣らぬと云つてゐる、一期蓬米の檢查成績が頗くに七月一日開始以來八日迄に一等二十九袋、二等千六十四袋、三等一萬八百四十八袋、四等一千二百九十袋計一萬六千五百八十二袋になり前年一期作は二等米が全體で三千九十六袋しかなかつたが本年一期は一、二等米三萬袋以上必ず出る見込であ、右は明日が新竹の土地に適してゐるため將來これを普及せしむる事が新竹州米改良に最も必要な點であると

基隆積一期米

【米商組合調查】八日基隆出帆第二蓬萊丸で一期蓬萊米仁川揚三百袋を、九日出帆の扶桑丸で一期蓬萊米大阪揚四千百八十五袋、神戶揚一萬二千七百六十袋、廣島揚九百袋、下關揚六百袋、宇和島揚二百袋、門司揚七千八百二十袋、計二萬六千四百六十五袋、一期丸糯小樽揚百六十五袋、大阪揚三百三十袋、神戶揚三百袋、廣島揚八十袋下關揚百袋、宇和島揚百袋、門司揚四百五袋、計一千四百袋を積出したこれで九日現在蓬萊移出累計は次の通りとなるわけである

一期蓬萊 四八二、二六八袋
同 在來 一二七、七五九

東西南北

▲大正九年より十四年まで臺銀理事をつとめてゐた江崎國君と永らく消息を聞かなかつたが今度名古屋に本店を有する明治銀行の頭取となることに決定した▲明治銀行は名古屋に於ける一流銀行として愛知銀行と並び稱されたが、昨年來の財界不況で休業の止むなきに至り更生を目標として整理中で新頭取の詮衡を大藏省に委託した結果江崎君を一先づ頭取として迎へ近く株主總會を開いて正式に頭取に推薦することになつたのださうな、東大法科を出て臺銀に二十二、三年ゐた同君今年五十五歲になるが更生の明治銀行頭取として或は適任かも知れぬ▲移出米商組合から脫退したものが八名、新加入者は大有と振榮の二店、差引現在組合員十六名となつたが、脫退者は保證金五百圓を返して貰つて年會費金百圓を免れ得るので、取敢ず脫退したものらしい、ところが新加入者は今問題になつてる臺鮮米の輸入制限に鑑み早手廻しに加入したのでないかとみられてゐる▲三井の菅沼君曰く、移入制限が行はれると蓬萊米の移出は許可制になるだらう、その時には大正八年の前例もあるから移出組合員が恐らく百名位にふえるだらう、と君も矢張り拔け目のない一人かも知れぬ

商況(九日)

米況

臺米相場
(基隆米穀商組合調 來賣百斤 前日對比)

南部一期在來米 六、一〇 五安
北部一期在來米 六、八五 二安
中部一期蓬萊米 六、九五 一〇安
南部一期蓬萊米 六、七五 三安
北部一期丸糯米 七、一〇 五高

基隆在庫米(九日現在)(正米市場調べ)

一期蓬萊米 三〇、六六〇袋
一期在來米 二、四五一

正米市場 (公定相場 出來高)

一期蓬萊米 當 七、〇〇一 中 七、〇〇九 先 七、一六 [illegible]
一期丸糯米 中先共不申
總出來高 三八四車

正米市況(後場)

▲一期蓬萊米 期末の崩落を移して下押す
當限 六、八六 八七
中限 六、九七 九九 九六
先限 七、〇八 〇七 〇八 〇九 〇八 七、〇〇

▲一期丸糯米 各限不申
▲一期蓬萊米 前場軟弱の氣配を移し後場各地期米の崩落を移して下押し當限六圓八十六錢と四丁安に出り八十七錢と止め二十四車中限六圓八十七錢と四丁安に出りアト利喰に七圓ドタと止め十車先限七圓八錢と同じに出り七錢と小甘く見せ九錢と上向いたが結局八錢同じと止め三十車
▲一期丸糯米 相變らず氣薄く見られて全部出來不申

大阪期米
(前 當 中 先)
[illegible]

東京期米
[illegible]

神戶期米
[illegible]

各地期米

安 大阪、東京不變、神戶二十錢安

堂島前場先限兩建 控除主なる手振

堂島兩建控除俵合

大阪在庫米(單位石)

內地玄米 一、六四二、一〇五
同 白米 一、六一一
朝鮮玄米 八〇七、四七一
同 白米 二〇、四三四
臺灣玄米 七〇七二
同 白米 一〇〇三
外國白米 六、一四三
餅米 五、〇八九

堂島米況前場

【大阪九日發電通】各地小締りに期近上寄り先もの軟派筋京都筋投に對し株式筋、關取筋筋、神戶筋買向ひ二十四錢六十四錢と小堅く寄り跡天候回復に利喰の賣物筋と事を交へたが田中金四とマバラ小口の賣氣投に四十一錢より三十九錢と下押し地場買に同じ引前三十錢と見せ顧取粉筋の三期、及ぶ防戰買も利かず二十錢と大引

堂島米況後場

【大阪九日發電通】割氣袋めに各地一段安を移して期近から投崩し先は各名の松本川先舗付込り顧取粉筋の防戰も神戶向の賣も勢に買つたが二十三錢九十九錢と姿剝の不勢に寄り一向は更に九十六錢と姿剝の視いたが大小、利喰返み四錢○四

株況

藍と引返し長待と株式の瓦落に救物多く松本の買乘もあつて引前九十二錢と即かれ利喰ありしも地場の下げ樂成に四八十九錢と無力に大引

大阪短期

大阪長期

東京短期

東京長期

[illegible]

東京株況前場

【東京九日發電通】スチール株の低落を入れて立會時の商勢は低迷してゐたが國價の引返しに延れ日銀利下氣構擡頭し更に上何貿易出超待氣構等から人氣好轉し引締り步調となり第一立會の東株三十錢安新東八十錢安ながら砂糖株は外地の底入模樣を好感して精算分賣高から原氣強調を呼へて氣配見直し日魯一圓十錢高を初めその他小幅り日魯、北電五、七十錢安、淺野、鐘城セメント五、七十錢高、靈樂三十錢高、第二立會は綿絲强含み勞々紡績一圓二十錢高、東株は一圓高、新一圓五十錢高に引けた

公債

東京國債

甲號五分利 九三、四〇 九三、四五
第三五分利 九〇、三〇〇 九〇、二五
第一四分利 七九、二〇 七九、一〇
第二四分利 [illegible]
二十二年四分利 [illegible]
二十八年四分利 [illegible]
國債出來高 [illegible]

爲替

米日爲替
二十七弗〇六仙四分一

米英クロス
三弗五八仙八分一

神戶日米爲替
寄 二十七弗八分一 二十七弗四分一買 二十七弗四
引 二十七弗八分の一買

銀塊

倫敦現物 一六片四分三
同 先物 一六片一六分一三
紐育現物 二六仙六〇
同 先物 二八仙〇五
大連現物 午後二時 八一、二五 午後三時 八一、九五
同 先物 八一、三五 八二、一五

絲況

大阪綿絲
米棉 十五錢高 印棉 一圓高

大阪棉花
▲前 寄 引
七限 一二九、一〇 一三〇、〇〇
一限 一二八、〇〇 一二七、五〇
▲後
七限 一二六、六〇 一二七、〇〇
一限 一二三、二〇 一三五、六〇

橫濱生絲
▲前
七限 三三四、〇〇 三四〇、〇〇
▲後
七限 三三四、〇 三三〇、〇〇
十二限 四九、一〇 四九、一〇
休み

砂糖

瓜哇
玖瑪 一弗〇五仙

大阪現物
直 七月積 六八圓
八月積 六八圓
九月積 六八圓
十月積 六八圓

穀肥

大阪定期
三品(ＯＢ) 一三四六〇
分蜜(Ｍ３) 一三四六八〇
精糖(蔗) 一八四四五〇
同(白) 一八四六〇〇
耕地白糖(Ａ文) 一七四八〇〇
▲前
七限 一〇、一九 十限 一〇、五二
十限 一〇、七九
九限 一〇、八二 十限 一〇、六八
九限 一〇、四五 十限 一〇、六〇
▲後
九限 一〇、四八 十限 一〇、八三
十限 一〇、七〇
九限 一〇、四七 十限 一〇、五八
十限 一〇、七一 十限 一〇、八四
八限 一〇、三六 十限 一〇、五五
十限 一〇、六九 十限 一〇、八二

シカゴ小麥
七月限 四八仙八分五
九月限 五一仙八分三
十二月限 五四仙二分一

神戶豆粕
出來高 二千萬ブッセル
▲前
七限 一、八三
一節 一、八五
▲後
七限 一、八五
七限 一、八五
七限 一、八五

神戶市中相場
大豆現物 四、八〇 同先物 四、二〇
豆粕現物 一、三八 同先物 二、八四
張安內國物 二、〇〇 同外國物 五
四、〇〇 過燐酸 15% 〇、九五
19% 一、〇五 硫石現物 六三、〇〇
小麥內地物 四、九九 同米國物 四、
二〇 麥粉(百台) 二、五二
同物 二、四五 同上布物 二、四五
同天津物 二、四五

神經衰弱の人にとりこの

謝罪廣告

貴社御販賣ニ相成候太田胃散ノ賣行盛大ナルヲ羨ミ之カ包裝及ヒ商標ヲ模造シ大元胃散ト稱シ散藥ノ販賣ヲ致シ居リ候處其外觀頗ル太田胃散ニ類似セシヲ以テ貴社ヨリ特許局ニ對シ商標權利範圍ノ確認審判ヲ提起セラレ其結果大元胃散ノ外觀ハ太田胃散ノ類似商標ナル旨審決相成誠ニ申譯無之次第ニ御座候仍テ示談方懇願致シ候處格別ノ御詮議ヲ以テ穩便ニ御許容被下候段難有存候就テハ今後太田胃散ニ類似セル大元胃散ノ販賣ヲ停止シ再ヒ斯カル類似商品ヲ販賣セサルコトヲ誓盟仕候也

昭和七年七月十日 臺北三本松町
大元胃散本舖 倉本義元

太田胃散本舖
株式會社太田信義藥房殿

小賣店諸賢へ急告

前略御引立蒙リ候弊剤大元胃散此ノ度太田胃散ニ酷似セル科ニ依リ當局ヨリ權利侵害ノ審判ヲ受ケ候處太田胃散本舖殿ノ寬大ナル御處置ニ依リ前記ノ通リ解決仕候就テハ右ノ次第ニ付本日以後太田胃散ノ商標ニ類似セル大元胃散ハ御販賣無之樣願上候御手許殘存品ハ全部弊舖ニテ御引取可申候間御諒承被下度右急告仕候

昭和七年七月十日
大元胃散本舖
倉本義元

今日の番組　―J・F・A・K―　七月十日（日）

午前の部

【八・〇〇】全島氣象通報（東京）△今日のお天氣のお知らせ（臺北のみ）臺北測候所發表△臺北近郊今朝のお天氣のお知らせ（臺北のみ）△今日の家庭料理獻立

【九・三〇】愛國號獻納式實況　臺北練兵場より中繼

【一一・五九】正午の時報△氣象通報（臺北のみ）臺北測候所發表△放送局編輯ニュース

午後の部

【〇・二〇】晝間娯樂時間（臺北のみ）（レコード演奏）△流行歌、一銀座三銃士徳山璉、四家文子、二馬と女房徳山璉、三あの尾根越えて藤田正夫、四戀は放送で渡邊光子、五大阪の唄同右、六新祇園小唄藤本二三吉、七思ひつめたら藤野豊子、八港の女羽衣歌子

【〇・二〇】晝間娯樂時間（臺南のみ）ジャズ・ソング、一ジャズ・オン・パレード、二巴里の屋根の下、三巴里のフラウパーアレキサンダー管絃樂團、四南京豆賣り、五ケンタッキーの朝ジャック・ペイン管絃樂團、六アロハ・ワルツ、七別れの花瓶モアナ管絃樂團

【一・〇〇】氣象通報（臺南のみ）臺南測候所發表

【五・三〇】國語普及の時間未定

【六・三〇】子供の時間JFAK子供係發表

夜間の部

【七・〇〇】子供の時間△童謠獨唱、獨唱宮川てる子、ピアノ伴奏衛藤高明、ヴアイオリン助奏山崎良衛、一お山の細道（葛原しげる作詞、小松耕輔作曲）二風（葛原しげる作詞、小松耕輔作曲）三新兵さんの唱兄（本居長世作詞同作曲）四南京ことば（野口雨情作詞、中山晋平作曲）五あの町この町（野口雨情作詞、中山晋平作曲）六ねんねのお里（中村雨紅作詞、杉山はせを作曲）七あした（清水かつら作詞、弘田龍太郎作曲）八街のお宿（北原白秋作詞、弘田龍太郎作曲）

【七・三〇】映畫物語（東京）曲目未定

【八・〇〇】獨唱（大阪）曲目未定　柳兼子、又はオルガ・カラスローワ

【八・三〇】ラヂオドラマ「祖國を護るもの」配役　燈臺守健吉　多米縄雄　妹お靜　北小路公子　父權十　泉三郎　スパイ大木戸正春　勝浦幹雄　お靜の許婚新治　早速健　村の若者　村瀨良夫　同　山瀨透

【八・五五】管絃樂JFAK管絃樂團、指揮一條愼三郎、一西班牙舞曲（モシュコフスキー作曲）第二番、第三番、二歌劇「レイモンド」序曲（トーマ作曲）三露西亞の歌（スミス作曲）

【九・二〇】時報（臺北）△氣象通報（臺北）臺北測候所發表△臺日ニュウス（臺北）△臺南新報ニュウス（臺南）△放送局編輯ニュウス（臺北）△公示事項告知事項（臺北）△明日のプログラム發表（臺北）

愛國號獻納實況（臺北）
―午前九時より―
臺北市練兵場より中繼

我が臺灣から國家に獻納された愛國號飛行機二機及び高射機關銃が、いよ／＼本日午前九時三十分から臺北市馬場町の練兵場に於て獻納式が舉行されるので、臺北放送局では、これを全島に聽いて貰はんものと遞信部當局及軍部と相協力してその實況を放送する、この意義ある中繼は午前九時三十分からである、尚ほ獻納される飛行機は我が陸軍が世界に誇る八八式偵察機、愛國第二十五號二十六號の二機と臺灣では珍らしい高射機關銃である、この高射機は敵機の襲來に備へるもので、既に肉眼にても見えぬ内に敵機が如何なる方向から來るかといふ事を探知する機械である、尚ほ此の日の中繼は西山アナウンサーが擔當することになつた

晝間娯樂時間（臺北のみ）

▲流行歌

一、銀座三銃士

徳山璉氏得意のジャズ・ソングメンヂイボーイのための愉快な歌曲は松平信博氏である

二、馬と女房

これは徳山璉氏と四家文子さんの二人がトテモ朗かに掛合式にうたふ歌謡の唄である

三、あの尾根越えて

最近賣り出した藤田正夫が、ますます調子づいて唄ふ山の唄

四、戀は放送で

渡邊光子さんの獨唱する海の唄である

五、大阪の唄

前と同じく透明な聲を持つた渡邊光子さんが獨唱する水の都大阪の唄である

六、新祇園小唄

京の艶かしい祇園風景が想はせる優美な情緒、唄は藤本二三吉さん

七、思ひつめたら

八、港の女

七は藤野豊子さん八は羽衣歌子さんの獨唱

―臺南のみ―

ジャズ・ソング

一、ジャズ・オン・パレード

一時評判を取つた米國のジャズ・ソングをそのまま日本語に譯して藤田嗣氏が、いとも鮮かにジャズつたもの

二、巴里の屋根の下

三、巴里のフラウペー

共にアレキサンダー・ダンス・オーケストラの演奏で世界を風靡した流行歌、アレキサンダー氏の手風琴が實に素晴らしい

四、南京豆賣り

【午後零時二十分】

五、ケンタッキーの朝

英國第一流のジャック・ペイン管絃樂團の演奏である

六、アロハ・ワルツ

七、別れの花瓶

モアナ管絃樂團の奏するハワイアン・ギターの音もゆかしき南國の香豐かなる曲

管絃樂（臺北）

【午後八時五十五分】

JFAK管絃樂團　指揮　一條愼三郎

一、西班牙舞曲（モシュコフスキー作曲）

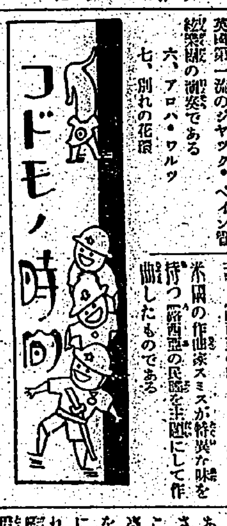
波蘭の作曲家モシュコフスキー氏が南歐スペインの旋律に心引かれて作曲したいくつものスペイン舞曲のうちの第二番と第三番である

二、歌劇「レイモンド」序曲（トーマ作曲）

歌劇「ミニヨン」を作つてフランス歌劇の典型的なものと云はれたトーマの作曲で此の歌劇の主なる旋律が氣持よく流れ出て來る

三、露西亞の歌（スミス作曲）

米國の作曲家スミスが特異な味を持つ露西亞の民謠を主題にして作曲したものである



JFAK子供新聞

【午後六時三十分】―臺北―

爲になる話や
―面白い話がいくつも
放送されます……
JFAK子供係發表

今日の子供新聞はまだ此の稿を書く時までには、内容は決定して居りませんでしたが、矢張りいつもの通り、面白い話や、爲めになる話題がいくつもある筈でありますす、何が出て來るかお樂みにお待ち下さい

午後七時より
獨唱

宮川てる子（十歳）　ピアノ伴奏　衛藤高明　ヴアイオリン助奏　山崎良衛

今日は子供の時間が二つあります、宮川てる子さんはまだ十歳の小さい方です曲目は八つあります

一、お山の細道　葛原しげる作詞　小松耕輔作曲

お山の　お山の細道は
だれだれ通る　だれだれ通る
狐の提子の　通るみち
月夜にたぬきの通るみち
（第二節省略）

二、風　葛原しげる作詞　小松耕輔作曲

海から吹きます海の風
あさ風ひる風よるの風
いつもすずしい海の風
海のむかふのむかふから
（第二節省略）

三、新兵さんの唱兄　本居長世作詞作曲

[illegible]
ザクザクザクザク
ザクサクザクザク
（以下略）

四、南京ことば　野口雨情作詞　中山晋平作曲

南京南京　南京さん
南京さんの言葉は　南京言葉
ピーピアピーピー　ピーチクピ
パーピアパーパー　パーチクパ
（以下略）

五、あの町この町　野口雨情作詞　中山晋平作曲

あの町この町
日が暮れる　日が暮れる
今來たこの道
歸りやんせ　歸りやんせ
（以下略）

六、ねんねのお里　中村雨紅作詞　杉山はせを作曲

ねんねのお里はよいお里
こんもり小森は西東
蜜柑畑も見えてます（以下略）

七、あした　清水かつら作詞　弘田龍太郎作曲

お母さま―
泣かずに　ねんねいたしましよ
赤いお船で　父さまの
かへるあしたを　たのしみに
（以下略）

八、街のお宿　北原白秋作詞　弘田龍太郎作曲

笹藪小藪　小藪のなかで
ちゆうちゆうぱたぱた雀の機織
彼方でとんとん
此方でとんとん
やれやれいそがし日がかげる
ちうちうぱたぱたちうぱたり
（以下略）

（寫眞は宮川テル子さん）

ラヂオ・ドラマ（臺北）
「祖國を護るもの」
【午後八時三十分より】

配役

燈臺守健吉	多米縄雄
妹　お靜	北小路公子
父　權十	泉　三郎
スパイ大木戸正春	勝浦幹雄
お靜の許婚新治	早速　健
村の若者	村瀨良夫
同	山瀨　透

燈臺守の健吉お靜兄妹の父親權十は酒呑みの無頼漢である、某國と日本との國交漸く急を告げつつある時、スパイ大木戸の買收された權十は、燈臺の火を消した、これを知つて追跡した健吉は、燈臺の火を取戻さんとして誤つて父を刺した、駈けつけた妹お靜の手によつて燈臺には點火された、これがため同夜海峽を通過する我が艦隊には何等の異狀もなかつた、燈臺守健吉はこれを見て、親殺しの罪を負ひ自刄して果てる

獨唱（大阪）
【午後八時より】

柳　兼子
一又はオルガ・カラスローワ

▲曲目未定

まだこの稿を記述するまでにはどちらとも決定の通知に接しないが、柳兼子夫人かカラスローワ女史かこの二人の内の一人が出演することになつてゐる、柳兼子夫人は現在我國第一のアルト歌手、明治四十五年の上野出身で、殊に獨逸のリード物を得意としてゐる、オルガ・カラスローワ女史は今神戸に在住する人で露西亞の人、日本に在住する外國聲樂家の第一人者で、殊に秀逸なコロラチユラ・ソプラノで、臺北の宮田とみ子女史の師に當る人である、曲目は決定次第後報する

家庭料理獻立
【午前八時五分頃】（臺北）　金村カネ發表

▲吸物　蛤潮汁

蛤	中十個
味の素	小匙四分の一
鹽	五瓦
水	八百立糎

▲中皿　八幡卷

牛肉	二百瓦
牛蒡	百瓦
醤油	二十五立糎
味醂	二十五立糎
煮出	五十立糎
醤油	五立糎
砂糖	二瓦

▲猪口　豌豆、豆腐、唐辛子味噌

豌豆	五十瓦
豆腐	百瓦
砂糖	七十五瓦
鹽	二瓦
水	豆腐の倍
（唐辛子味噌の分）	
赤味噌	七十五瓦
砂糖	十五瓦
粉唐辛子	四分一瓦
味醂	二十五立糎

曙光　(41)

生方敏郎作　中野修二畫

玩具聖人（二）

春田かず枝子と一しよに、お店にいつた春日の正午すこし前[illegible]

[illegible]

弟子たち―事務所の娘と隣の茶館さんが、仕事をおへ今茶を入れて雑談してゐるところだつた。

靖子の娘が取次に出たが、町子の聲をききつけて、すぐ春田の姉が玄關に出た。

「今日は、お午までとか申して居りましたから、おつき歸りますから上つてしばらくお待ち下さいまし。」

と、いつて、町子を客席へと通した。町子が席に落くと、春田の姉は扇風器のスヰッチを返した。

「昨晩は弟がいろ／＼御厄介になりましたさうで。」

「いいえ、私たちこそ。おかげさまで大へん面白いお芝居でしたつて、姉も大悦びでございました。」

と、町子はあらたまつた口ぶりで禮を述べた。そして。

「今日は、お孃ちやんは？」

「まだ學校ですの。今日はお弁當を持つてまゐりましたから、いつもよりは遲れるんですけれど。もうやがて歸つてまゐりませう。」

町子は手に下げてきた包みを出して。

「これ、つまらぬものですけれど、お孃ちやんに上げて下さいまし。」

「まあ、いつも／＼こんな事をなすつて下すつちあ。」

などと、春田の姉は愛想よく笑つて、茶の間へ下つた。そして弟子の娘にささやいて、近所の氷水屋へと走らせた。

春田の姉は、麥湯の冷えたのを持つて、ふたたび町子の前に出た。

「今月はまた、何てお暑いんでせうね。弟の話に、信州の方は土用中でも、暑い日なんかないさうでございますね。」

「ええ、日中でも、そりやあお涼しいんですのよ。だから夜更けると、寒いくらゐでしたわ。」

「八月だといふのに、初霜を食べたとか、いつてましたが、さうだとすると、東京よりは二月も氣候が進んでることになりますのね。」

そこへ、弟子の娘が氷餡の赤いコップを盆にのせて入つてきた。

「さあ、お召しのぎに、いかがですか、召し上つてみて下さい。ここらの氷水屋では、こんなものしきや、さつぱり氣の利いたものは出來ませんのに」

春田の姉は、[illegible]

[illegible]

春田の姉は、起つて玄關へいつた。春田の聲がした。そして、間もなく春田は客席へ入つてきた。

「やあ、お待たせしました。町子さん今日は仲々暑いですねえ。」

町子は椅子を輕く立つて、挨拶した。

「昨晩はありがたうございました。姉からよろしくと申しました。」

「いや、姉さんには、かへつてご迷惑かけた位のものでした。少しおくれていつたので、何しろ腰かける場所さへないんだから……。」

「あ、先生、それからお土産をありがたうございました。私あの人形すつかり氣に入つちやつたわよ。」

「あなたの年になつても、なつてものは、まだ人形が好きなんかなあ。」

「そりやあ、さうよ。三ッ兒のたましひ、百までも、つていふぢやありませんか？」

「ぢやあ、これからあなたへの土産は、必ず人形といふことにしやう。」

「ダメよ。先生。私人形なら、とても澤山持つてるんだから、平凡な人形をいただいても仕樣がないわ。今からおことわりしておくけど……。」

「では、昨夜のも、そのダメの部でせう？」

「うん、ちがふ。あれはとても氣に入つちやつたつて、私いま云つたぢやありませんか？」

萬なかだち

大書店讓る　臺北市一等地店主心臟病の爲讓る希望者は　太陽館

讓店　陶器硝子器店陶器附屬品に付き新起町二丁目岡崎商會へ希望者は

讓店　カフェー臨時場雜貨店兼クラブ希望者に施付け歡迎　電三六二六合資會社三成社

婦人子供服　裁斷科生募集規則書呈　斷部門學院　明石町三の二二葉洋裁

貸家　梅山町二〇數寄屋應八疊八六三二瓦斯交通便　元尾古氏宅電話一一五四番　殿村

貸家　疊八、六、三、壹、場所市内大正町九條通東方福住町一九電話呼出一一〇七山野友吉

賣家　バラック建工場、住居共譲る　新榮町一丁目五電一七三小原運送店

恩給立替　受給者本位低利　即金本人　末廣町二ノ一電三五七番　山

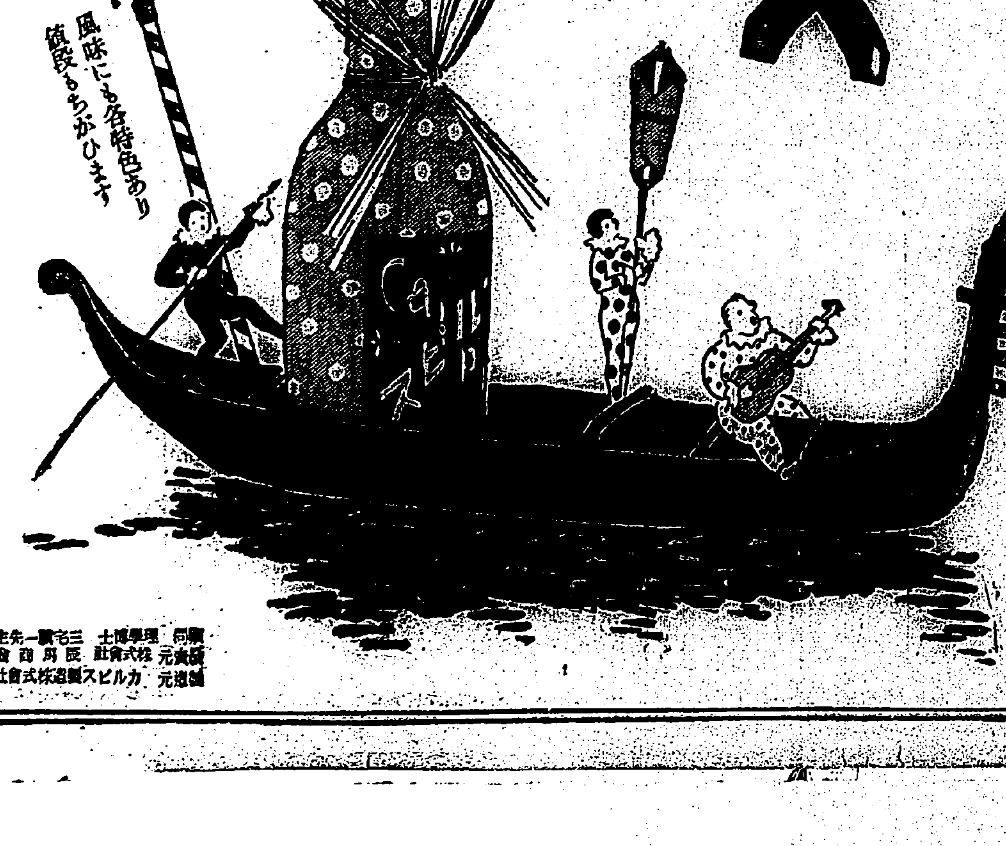
恩給　[illegible]　電話　[illegible]

自動車　[illegible]

御贈答に
森永チヨコレート
健康を贈る
新鮮な御進物！
あなたの眞心を
この一匣にこめて！
森永ビスケット・森永ウエフアース・森永ドロップス

渦巻形の
ライオンかとり線香
（定價十錢）

滋強飲料
カルピス
御中元！
躊躇なく
お撰び下さい
カ・ル・ピ・ス
「健康」の中味に
「清涼」の熨斗つけて



製造元　カルピス製造株式會社
發賣元　株式會社　三島海雲先生
販賣元　理學博士

愛國兵器獻納式

けさ臺北練兵場で華やかに擧行

陸相代理阿部軍司令官が獻納兵器に命名

愛國兵器獻納式は十日午前九時から臺北練兵場にて擧行せられることとなつたが、獻納式次第は左の如くである

修祓、降神、獻饌、祝詞

式典委員長（清水參謀長）式に至る迄の經過報告

獻納者代表より軍司令官に陸軍大臣宛獻納目録捧呈

軍司令官目録受領後陸軍大臣の承認書手交

阿部軍司令官陸軍大臣代理として獻納兵器に命名す

祝辭（總督、長官、民間代表）

玉串奉奠

撤饌、昇神

君が代合唱（奏樂）

萬歳三唱

閉式

閉式後招待者には飛行開始までの間にて兵器の說明があり觀覽に供せられる、一般觀覽者（兵器を含む）に對しては式典當日飛行說明施行後にて供覽されることになつてゐる

全島各都市を空中から訪問

十、十二、十三の三日間

愛國號命名式後第二十五、第二十六の兩機は午後一時半臺北練兵場を離陸、本島各都市上空訪問飛行として先づ花蓮港方面往復飛行を行ひ、次いで十二日午前八時三十分臺北練兵場離陸、西海岸訪問飛行を行つて屏東に到著、十三日は早朝屏東を出發恒春、臺東、玉里方面訪問飛行をなす豫定であるが、各都市上空通過時刻及び機乘者は左の如くである

◇花蓮港方面往復飛行　二十五號機操縱內山少尉、同乘高田軍曹、二十六號機操縱田副中尉、同乘河村大尉

◇西海岸訪問飛行　二十五號機操縱內山少尉、同乘國枝中尉、二十六號機操縱田副中尉、同乘高田軍曹又は河村大尉

尚經路は羅針盤によるが天候によつては鐵道又は海岸線によることとなつて居り、高度は山地通過千五百米乃至二千米都市上空は一百米以上で上空通過時刻は臺北を午後一時半出發として豫定せるものである

十日＝花蓮港方面訪問飛行

臺北離陸午後一時三十分―基隆同一時四十二分―三貂角―宜蘭同二時四分―蘇澳同二時八分―花蓮港同二時四十分―蘇澳同三時十分―宜蘭同三時十八分―臺北同三時四十分著陸

十二日＝西海岸訪問飛行

臺北離陸午前八時三十分―新竹同八時五十七分―臺中同九時三十分―嘉義同十時十分―臺南同十時四十分―高雄同十一時―屏東同十一時二十分著陸

九〇式空中聽音機と臺灣愛國號の性能

兵器獻納命名式によつて獻納される愛國臺灣號及び九〇式空中聽音機、二キロワット短波無線電信機の構造及性能は次の如くである

愛國號は晝間爆擊機

愛國臺灣

本機は主として晝間爆擊機として使用せらる、下翼の稍々小なる複葉金屬製複座機にして胴體の一部及主翼の外面は羽布張である、全幅上翼約一五米二〇、下翼約一三米三四、全長約一一米五六、全高約三米五〇、主翼面積約四八平方米、全備重量約三〇〇〇瓩、水平速度二〇〇粁以上、高度三千米、上昇時間二五分以內、使用發動機ベ・エム・ベ四五〇馬力一基、型式V型十二氣筒固定水冷式

九〇式空中聽音機

大空中聽音機一箇

用途（主として要地防空の際に於ける對空照明諸元測定用前對空警戒用）全備重量二二四〇瓩、運搬（自動貨車に依る分解搬送を主とし小移動は四輪車に依る）聽音距離約九粁、所要兵員（聽音手二名、測定手一名、測秒手一名）

小空中聽音機二箇

用途（野戰及要地防衛の際に於ける對空照明諸元測定並對空警戒用）全備重量二六〇瓩、運搬（自動車又は輕車に依る分解搬送）聽音距離約七粁、所要兵員前者と同じ

二キロワット短波無線電信機

本機は遠距離間の連絡用、指定式にして空中線、送信裝置、受信裝置より成る、波長一〇米以下、通信距離約二〇〇粁乃至二五〇〇粁（臺北より東京、京城、上海等と通信し得）

空中線　高約二〇米、長約二〇米、通信所員拾名

獻納飛機は四十五機

兵器獻納運動が國民的運動となつてそれによつて生れた飛機愛國號は現在既に四十五機に達してゐるが其細別を示せば

一號輕爆ユンカーK三七（三菱）二號偵察機ドルニエメークル（川崎）學術技藝研究奬勵金、關東軍所屬、三號小布施九一式戰鬪（中島）四號小布施八八輕爆（川崎）五號小布施八八偵察（石川島）小布施關東軍所屬、六號日毛八八偵察（川崎）日本毛織、七號群馬九一式戰鬪（中島）群馬縣上海派遣軍所屬、八號川宮田九一式戰鬪（中島）川宮田、九號河野九一式戰鬪（中島）河野、十號朝鮮八八偵察（造兵廠）朝鮮、十一號長岡八八偵察（造兵廠）長岡市、十二號立山八八輕爆（石川島）富山縣、十三號石川九一式戰鬪（中島）石川縣、十四號岩越九一式戰鬪（中島）福井縣、十五號宮城八八偵察（石川島）十六號宮城八八偵察（川崎）宮城縣所屬、十七號東京府、十八號第十師管、山陰九一式戰鬪（中島）十九號兵庫八八輕爆（川崎）兵庫縣、二十號朝鮮九一式戰鬪（川崎）二十一號朝鮮（川崎）朝鮮（二十號は關東軍二十一號は間島派遣隊所屬）二十二號帝國生命、二十三號中學生八八輕爆（石川島）帝國生命、全國中學校二十四號九一式戰鬪（中島）三井鑛山從業員、二十五號姫路二十六號姫路八八輕爆（川崎）飛行八聯隊所屬、二十七號千葉九一式戰鬪（中島）千葉縣、二十八號德島八八輕爆（川崎）德島縣、二十九號鹿兒島八八輕爆（石川島）全國小學校幼稚園、三十一號女學生八八偵察（石川島）全國女學校、三十二號廣島八八輕爆（川崎）三十三號福岡九一式戰鬪（中島）三十四號濱田九一式戰鬪（中島）第五師管、三十五號防長八八輕爆（石川島）三十六號香川八八輕爆（川崎）香川縣、三十七號小布施九一式戰鬪（中島）小布施、三十八號京都九一式戰鬪（中島）京都市、三十九號信濃九一式戰鬪（中島）長野縣四十號第五師管、四十一號愛媛九一式戰鬪、四十二號遞信フオツカー（中島）第三師管、四十三號朝鮮九一式戰鬪、四十五號鹿兒島九一式戰鬪、四十六號福島九一式戰鬪、四十七號秋田九一式戰鬪

ニセ憲兵に御注意

ニセ憲兵御注意……本籍鹿兒島縣大島郡?城村末尚衛生社雇人池田某（二）は六月八日午後十時頃元園町一九六番地質付仲立業田中ヘル方に到り

自分は憲兵隊の特務だが衣類質付帳簿を出せ

と命じ因々しくも酒肴の用意をなさしめ一杯やりながら帳簿を調査したる後帳簿破棄の必要があると稱し之を持去らんとしたので店主は驚いて北署へ屆け出た北署では池田を引致取調べの結果ニセ憲兵と判つたので二十九日の拘留處分に附したが九日漸く留置場を出た池田は臺北憲兵分隊で散々油を絞られた上始末書を取られて青くなつてゐた

けふは全島、晴天

但し驟雨模様

九日は九十四度三分と云ふ暑さで午後三時頃から驟雨に見舞はれたが十日は日曜であり愛國號の命名式も行はれることとてその天氣豫報を臺北測候所にきく

愈々本格的な夏の氣候で八日も九日も今年としては一番の暑さです之は北海道方面の高氣壓が次南進してゐる爲です、驟雨は小笠原島から本島南洋方面に前線につきもので驟雨のあるのは天候の定まつてゐる證據です十日も九日と同樣氣溫が高く午後三時頃から驟雨がありませう、全島的には晴天です

中川總督の市內官衙巡視

十二日から三日間

肝疹治療のため延期に延期を重ねられてゐた中川總督の市內各官衙巡視はいよいよ左の日程で十二日から十四日まで三日間に亙つて行はれることとなつた、横山秘書官山下屬隨行する

十二日午前八、〇〇官邸發同八、〇五州廳著、同八、三五同發、同八、四〇市役所著、同九、〇〇同發、同九、一〇遞信部著、同九、三〇同發、同九、四〇專賣局著、同一〇、〇〇同發同一〇、一〇憲兵隊著、同一〇、三〇同發同一〇、三五稅關所著、同一一、〇〇同發同一一、〇五同發、〇、一〇法院著午後〇、〇五同發同一一、〇〇官邸著十三日午前八、〇〇官邸發同八、〇五專賣局著、同八、五五同發、同九、〇〇刑務所著同九、二〇同發、同九、三〇高校著、同九、五〇同發、同一〇、一五第二師範著、同一〇、三〇大學著、同一〇、五〇同發、同一一、〇五第一師範著、同一一、二五同發同一一、三〇臺北醫院著同一一、五〇同發、同一一、五五官邸著十四日午前八、〇〇官邸發、同八、〇五中研著、同八、四五同發同八、五〇高商著、同九、一〇同發、同九、一五附小著、同九、三五同發、同九、四〇博物館著、同一〇、一〇同發、同一〇、一五圖書館著、同一〇、三五同發、同一〇、四五更生院著、同一一、〇五同發、同一一、一五官邸著

海關自主につき第三次聲明を發表

財政總長熙洽氏の名で

【新京八日發電通】滿洲國は斷乎として海關自主の保全を期するため來る十一日頃熙洽財政總長の名を以て左の意味の第三次聲明を發する事となつた

一、大連海關を初め全滿各海關は完全に滿洲の主權下にあり

一、滿洲國領土內に他國の主權に屬する如何なる海關と雖もその存在を許さず、殊に大連海關の存在は滿洲海關自主權の侵害にして第三國の干涉的讒言は斷じて排擊せざるを得ない

一、大連徵稅事務に引續き現在の事務所に於て行ふ

一、國際債務擔保の分擔額は他國が公平の處置と認むべき額を橫濱正金銀行に供託を繼續し何時にても支拂ふ準備を整へたり

一、從つて將來償還金支拂に障害を生ずる時は一切の責任は南京政府に歸屬すべきものなり

桑港を出て愈々羅府へ

龍田丸見送り盛大

【サンフランシスコ八日電通特派員發】二日間桑港に滯在せる龍田丸はオリムピツク選手一行を乘せて八日午前十時サンフランシスコ發愈々ロスアンゼルスに向つた、在留邦人はランチに乘つて港外まで見送り熱狂した、選手一行は相變らず元氣である

女子選手元氣なし 浪高き爲

【大洋丸八日發電通特派員】朝來浪高く食堂にも甲板にも人影は少い陸上主將以下殆どノックダウンの態である唯ハードルの中西、高橋の兩選手のみが元氣だ、木船は動搖激しくプール使用出來ず各選手とも練習を休んで居る、明日ホノルルに著くが故郷への通信も出來ぬ有樣で我らもホノルル著を待つてゐる

姦通を告訴

示談の五百兩 公共事業に寄附

近頃變つた話

基隆市旭町雜貨商行主劉何坤氏は商用でよく家をあけるところから妻女が間男しさから然し男を作つてゐる事を發見し、カンカンになつて姦夫姦婦を告訴に及んだが、女房が他の男と姦通したのを告訴したが、示談解決となり告訴取下げ料として被害者から五百圓を提供した、ところが劉氏は女房を寢取られた代償金を著服するのは身の汚れだと云ふので五百圓の內四百圓を基隆保甲協會創立助成金へ、百圓は基隆夜學校に寄附し、之れですがすがしたと云つてゐるさうだ

縊死を圖る

身元不明の本島人男 ライオン前で

昨朝、住所氏名ともに不明の苦力風（三〇）といふ男は七日午前二時頃臺北新公園カフエーライオン前の花壇で猫いらずをのんだが死にきれず縊死を圖つたが更に自ら命を絕つことが出來ずマゴマゴしてゐる所に派出所の巡査に見付けられ南署に送られた、この男のわからぬ男南署から出て今は裏々察に置かれてゐる

邦漁船川先船を露國官憲が連行

計畫的な奪取か

【東京九日發電通】農林省への報告に依れば去る六日カムチヤツカ東岸クゾノツヰ岬附近に出漁中の新潟縣片岡喜吉氏所有國際工船チヨイサシ丸所屬川先船（漁夫五名乘組み）が折柄の濃霧に方角を失ひ同岬沖合八浬のケ所に漂流中ロシア商船あいだ丸（船籍日本）に救助されたが、之を認め現場に急行せる農林省監視船より引渡しを要求せるにロシア官憲は何故か之を拒み、ペトロパウロスクに連行した、之はロシア側の計畫的川先船奪取ではないかと農林省では重大視し、ロシア側に嚴重抗議する意向である

橫道河子の兵匪殺戮放火す

名狀し難き慘狀

【ハルビン八日發電通】東鐵東部線橫道河子を占領した兵匪は砲二門を有する二千の部隊で目下死物狂ひとなり各種掠奪中で命に應ぜぬ落支人の殺戮、放火せらるるもの數知れず同地一帶は火焰天に沖し名狀し難き慘狀を呈してゐる

輸送列車を兵匪襲擊

吉林守備隊が討伐に出動

【新京八日發電通】七日吉敦線新站附近の戰隊に於ける吉林兵六名を乘せた輸送列車は老爺嶺附近で五六百の兵匪の襲擊を受け機關車は損壞し瀕死の重傷を受けた、列車は全速力で八日午前十一時吉林に著き危地を脫して到著した、目下吉林守備隊出動討伐中

沈沒佛潛水艦引揚放棄

海相から言明

【パリ八日發電通】七日レヴイ岬を距る八浬の海中に沈沒したフランス一等潛水艦プロムテー號に關しフランス海相レーヨー氏は右潛水艦引揚げは絕望となり、遺憾ながらこれを放棄することとなつた旨を言明した

『殘月譜』後篇上演

十、十一兩日榮座で

榮座上演中の「殘月譜」は九日限り前篇を終り十、十一日の兩日その後篇を上演する事となつた、場面は後篇に至つて益々變化の妙を極め登場各人物の活躍が愈々ハッキリと描き出される、前篇は寧ろ後篇を運ぶ爲の序と云ふべきで、後篇に於いて更に素晴らしい場面が展開される譯である、一座の呼吸も愈々ピッタリと合ひこの暑さにもめげず大車輪の熱演を續けてゐるので連日觀客は既に大入の盛況の分を以つて續々來觀を希望する、同後篇の場面及び主なる配役は左の通りである

場割

一、酒井雅樂頭邸
二、須磨屋人の宅
三、我孫子丸勘屋敷
四、江戸三味線堀屋敷
五、下總手賀沼子の神の社
六、我孫子丸勘の宅
七、千住小塚原附近
八、江戸街道
九、酒井邸門前
十、大塚恒之助宅

主なる配役

一、大塚恒之助、並おたき　井上八郎
一、勘三　德川新之介
一、鶴六、慈隆　桐永　常郎
一、三千ケ浦、酒井侯　梅柳七三郎
一、新藏、富太　松山　紅葉
一、目明し勝藏、吉次　東城　研介
一、玄術、おてる、政枝　村田思美子
一、侯江　濱一　鶴英子
一、河合小太郎　須藤　健一
一、門番、仲平　石原　一郎

バス運轉手を人夫が罵倒

運轉手の謝罪でケリ

八日午後四時半頃のことである、臺北驛に向ふ圓山線の市營バスが道路の補修工事をしてゐる所にさしかかつた際、道路の眞ん中に一臺のリヤカーが置かれてあつたので運轉手がパーンといふ音をたてて一間ばかり押しやつてバスはストップした、道路からはバスを取り圍んで罵聲が浴せかけられた、と見るまに氣の早い道路補修人夫はドヤドヤとバスの中に闖入して內地人運轉手の肩を捉へて ドナりつける、形勢が險惡になつて來たので運轉手の顏からは次第に血の氣が去つて行く、相手が一人二人と見てとつたか一人の本島人人夫は多勢を賴んで罵倒口から頭を運轉手に『カンニンナウ』とばかりに運轉手を三四度たたきつけた、ここまでじつと睨めてゐた本島人の女車掌もたまりかねたか『ひとこと謝かつたら謝ればいいぢやないの』とオドオドしながら運轉手君にすすめる『以後注意します』とあやまつたために事件はケリとなつた

唐津岬氏が十日滿洲視察談

シカゴYMCA主事唐津岬氏は先に上海滿洲を視察しこの程來臺したが十日午後七時半より市內明石町臺北組合教會に於て『滿洲視察談』を試みる由で一般の來聽を希望すると

基隆倉庫信利組岸壁倉庫落成式

【基隆電話】基隆倉庫信用利用組合の元町岸壁倉庫二百坪は此程竣功したので九日正午同倉庫內で關係官民三十餘名參列落成式を擧行したが明比組合長の式辭、小川工事監督の報告、松本基隆街長、富田勸業課長、基隆市尹の祝辭で閉式、祝宴に移り近江組合長に依つて組合の將來を祝福し盛會で散會した

三浦廈門領事の母堂逝く

【廈門本社通信員發】三浦廈門領事母堂知子刀自は舍弟の許で北上中の小川國手、臨州醫院長の手當も効なく五日午前零時二十五分逝去享年七十二

クルベー濱で青年が溺死

【基隆電話】八日午後一時頃基隆クルベー濱海水浴場において海水浴中の二十七八歲の本島人青年が突然心臟麻痺を起して溺死した、住所氏名不詳、携帶品により樹林のものらしいと言ふ事だけが判つたので目下照會中

新高登山の第三高女生歸北

新高登山のため臺北第三高女登山部員十八名（內卒業生二名）は謝昭、岩成、栗山三教諭に引率され三日に臺北を出發、六日に新高主山を征服して九日無事に歸北、本社を訪れたが一行の中一人の落伍者もなく元氣であつた

砂糖を支那へ賣るのが急務

鹽水港の岡田氏談

朝日丸神戸を出港

【神戸特電九日發】朝日丸は定時出港した、鹽水港製糖岡田幸三郎、杉原佐一、正義新一其他多數乘船

岡田氏は

糖界不況の打開は何と云つても支那輸出の獎勵にある、支那では一年一千四百萬擔を現在消費してゐる、その中爪哇から六百五十萬、香港から三百五十萬擔行つてゐるが、これに對抗する策を講じなければ駄目だ、政府としても徒らに增稅のみを圖らず、此の方面に意を用ゐて貰ひたいものだ、でなければ國家としても大損失である

杉原氏は

蓬萊米はソロソロ消費され出した、此の分だと大丈夫賣れると思ふ、無論六圓臺は買則ひだし、滿洲も見て來たが大した景氣でもない、大豆のストックは四百萬石から百九十萬石に減じたため豆粕は下がらないが豆粕のストックはまだ幾らもあるから消費には差支ない

正義新一氏は

例の農倉相手の訴訟川務で督府當局ともよく話をして見る心算である

錦は契約決定氏が督府當局の依囑にて南洋旅遊のため渡臺した

日本一勝一敗

デ杯準決勝第一日

【ミラノ八日發電通】デ杯歐洲ゾーン準決勝第一日シングルス成績は

佐藤　六―一、六―三、六―〇　デ・ペルミエソ

桑原　三―六、六―一、二―六、〇―四?　ステファニ

佐藤對ステフアニの試合は第一セツトで六對三でステファニ勝つたが雨のため一時中止され後小歇となつたので試合を續行し佐藤遂に敗れた

獨逸一勝

對英準決勝

【ベルリン八日發電通】デ杯歐洲ゾーン準決勝ドイツ對英國の試合第一日のシングルスでドイツ先づ一勝した

ダルニエル　六―一、六―二、八―三　オースチン（英）

プレン（獨）

英國勝つ

【ベルリン八日發電通】デ杯歐洲ゾーン準決勝獨對英試合はその後左の成績であつた

ペリー（英）　六―三、六―一、六―三　フオン・クラム（獨）

飛行機を捨てモスクワへ急行

マ、グの早廻飛行家

【モスクワ八日發電通】七日早朝同飛行機の故障からポリソフ附近に不時着したマターン、グリフィン兩氏の居眠飛行は著陸の際地上に衝突し機體を破損したが、兩飛行士は幸ひに微傷を受けただけであつた、故障の原因は飛行機のコースを誤りへんとした際濃霧の爲め不時着を餘儀なくされたもので時間は七日午前四時頃だつた、兩飛行士は飛行機を現地に殘し八日夜ミンスク發モスクワへ急行することとなつた

兩飛行家はミンスクへ

【ボリソフ八日發電通】惜くも世界早廻り飛行の壯途に挫折したマターン、グリフィン兩飛行家は目下ミンスクに向ふ途で、目下大破せる飛行機の整理中である

飛行を斷念

【モスクワ八日發聯合】マターン、グリフィン兩氏はポリソフの町の灯をモスクワ飛行場と誤認し泥土の沼地へ著陸したことが判明した、機體大破のため遂に今後の飛行を斷念した

練習に急ぐ選手連

甲子園を目ざして（3）

北一中の强味

大きな自信

岩田生

ここは傳統を誇る野球王國――臺北一中だ、七日の午後四時はシイトバッチングの最中、良く當つて居る、誰だ！ワン、バウンドで草原の校舍にたたきつけたのは山村だ、北村だ、水島だ、おや？グレートバッター三谷野が居ない、大川が居ない、名捕手篠原も居ない

×

大川は一寸腰をこはして今日丈休みました、篠原は練習中ボールが當つて眉間にタンコブを作つてこれもここ四五日は休むでせう、三谷野ですか？先達て試驗に退屈した時腰をいためて未だなほりません、みんな試合迄には出て來ますから大丈夫です

去年の九月以後ズツとコーチの任に當つてゐる飯島さんは三人の缺場をまるで人の事の様にほがらかだ

山村、川口、三谷野、北村、大川はよく打ちますよ、殊に大川三谷野の强さは超中學級です、比較的弱いのは島角、有田ですが、二人ともラッキーで何とかしていつも出壘しますからオーダーはムラがありませんよ

この言である、以つて臺北一中の攻擊陣の充實を察知していいだらう

×

全島中等學校第一の山村投手に如何『ソラ通すぞッ』とばかりにシートバッチングに投球してゐるのが名だたる好漢山村だ

『神港をスコンクに屠つたあの時は硬かつたですねえ』と記者は油をかけた積りで、却つて恥をかいたと云ふのは

『近頃の山村の調子は、あの時以上ですよ、器械ではみんながびつくりしてゐるました』

からである

技術自在の彼のアウドロのコントロールの妙は今更ここで述べる事を止めやう、近來會得したスピード・ボール、それと一球さへもゆるがせに投じない周到且つ機敏な彼の頭腦に、味方の守備をまかに安きに置く新しい武器となつた事を特筆したい

山村の後陣を承はる者として水島、山本の兩サウスポーが控えてゐる

×

山本は昨夏全島少年野球界で優名を謳つた天才兒

二人共充分に使へますよ、篠選の組合せに依つては二人のうちのどちらかがプレートに立つ事になるかもわかりません

不幸にして記者はこの二人のピツチングを見る事を得なかつたが飯島さんは自信ありげにさう云つた

×

強肩篠原の捕手は申分なく、一壘川口、二壘北村の守備については飯島さんが斷言した『全島一です』と、人氣者の有田遊擊は目立つてうまくなつた、今に先輩日角以上のものになる事を記者が智つて好調の前進をお願ひしやう、三壘島角には根本的なランニングの練習を溺望したい

×

中堅陣の好守好走はもとより三谷野、大川、山本、水島、名嘉山に依つて構成される外野陣は他校に比して一寸頭拔けてゐる樣だ、カーンと打ち上げられた飛球をレフト・フィールドに追つかけてゐる小兵有田の半分に足りるかとさへ思はれるチビは誰だ、惡まれた體覧と熱心に依つてやがては名內野手たるべき松下だ

×

飯島さんが云つてゐた

『私がやかましく云はなくてもみんなで勵まし合つてやつてくれます、試驗がすんだばつかりで疲れてゐる樣ですが、來週からウンと鍛へます、强敵？强いて云へば高雄中でせう』

飯島さんの自信は大したものだ。

投手　山村（五）水島（二）山本（一）
捕手　篠原（三）下村（三）
一壘　川口（五）
二壘　北村（四）
三壘　島角（三）松下（二）
遊擊　有田（三）
外野　三谷野（四）山本（一）大川（五）水島（二）名嘉山（二）

（寫眞は山村投手）

念々明日ヨリ

發言ではありません！日本國民として老幼男女を問はず是非御一覽を願ふべき興味深き一大快篇！

◇帝國海軍◇是非御期待を乞ふ◇新興キネマ總出動◇

太平洋　全十二巻

臺北海軍協友會後援

芳乃館

特別廣告

連日大入御禮申上ます

モーリス・シュヴァリエ主演の（日本版ルービッチ氏監督）陽氣な中尉さん

蒲田作品 兄さんの馬鹿

臺灣愛國號命名式 實寫特別公開

十一日より新2·3各館同時上映

新世界館

今日の催し

▲愛國號命名式　九時より（練兵場で）

▲秋式野球　十時より新公園球場

▲と竣成小祭（校庭で）

▲全島在鄕軍人大會　愛國號命名式後鐵道ホテルで開催

瑞穗丸より（來航）

海上平穩一同元氣、十日午後十二時半基隆港外著豫定、松方正熊、上村泰一郎、高橋春吉、島貫少佐一行外多數乘船（基隆無電九日受信）

漢文 臺灣日日新報

八月開設駐滿總監府 關東軍司令部於十一月 決定移轉新京

八日奉天電。八月中欲開設駐滿總監府。軍司令部之新京移轉時期。決定來十一月云。

歐洲諸國戰債問題 不論何時欲應交涉 美國務省言明

八日華盛頓電。路機條約成立。美國務省。謂同會議既決定。美政府關歐洲諸國戰債問題。不論何時。皆欲應其交涉云。

賠償解決會議成立 議長報告於小國

八日路機電。賠償解決案成。馬克議長。卽於八日午後九時十分。邀日。英。法。意。白。德六國外十二國。開本會議。由馬克首相。報告會議經過。謂新協定成立。先是留馬尼以下小國。爲欲研究協定內容。希署名延期。議長諾之。九日午前十時。開本會議。惟六國署名。後各國代表。感謝馬克首相力疾奔走。竟會議成功。十一時半散會。

表明承認滿洲 決意欲與援助提携 聯盟委員會見陸相

九日東京電。聯盟調查員一行。九日午前十時。訪荒木陸相於官邸。陸軍一邊荒木陸相。小磯次官。山岡軍務局長以下關係官出席。調查委員有再來朝之敘禮。荒木陸相。就對滿洲國之陸軍信念決意。歷史的。民族的關係。及國防問題。披瀝意見。正式表明滿洲國正式承認援助提携之決意。兩者間各有深刻質問應答。正午會見終了。右乃對聯盟及全世界。闡明滿洲問題之帝國進路。會見內容並結果。非常重大視云。

協定成立 全德國歡喜

八日伯林電。路機協定成立。全德國歡喜。政府方面。稱日下結果。最壞滿足云。

栃內大將危篤

九日盛岡電。栃內大將。八日以腦溢血卒倒。九日午前十時半危篤。

日銀總會 記念配當一成

九日東京電。日銀於來月二十日。欲開株主總會。附議上半期決算。株主配當仍定一成。外有創立五十年記念配當。大約年一成。半期分增配五分也。

美棉昂騰

八日紐育電。八日美棉市場。因農務省美棉耕作面積發表。照民間所豫想。減於昨年九分五厘。稱一九二二年來最低記錄。結局換算邦貨。加貴二十五

臺東水產業 鰹魚短消 以雜魚彌補

督府水產課金村技手。最近視察臺東廳下水產業。據其所談。同廳下本年度惣田經漁獲額。七十五萬尾。固非不漁者。唯鰹節價格。跌爲例年之半額。上物二十一二三圓。普通十五六圓。全不和盤。卽以柴熟惣田經。亦隨一般魚價跌下。當業者大苦痛。然因惣田經。究難獲利。乃試爲夜間雜魚漁業。新港附近漁民。竟以雜魚收入。彌縫虧耗者。惣田經雖于處分。唯雜魚于臺東街其他各地。頗以相當高價出售。又類魚以夜。惣田經爲晝間漁業。從業者須于晝夜。在同一漁場活動。本年因雜魚漁獲。而于東部惣田經漁業。不遑行見大革新也。

上旬貿易 又再出超

九日東京電。大藏省發表七月上旬主要各港對外貿易如左。出超七百二十七萬圓。(單位千圓)

輸出　二九、〇五九
輸入　二一、七八一
對除出超　七、二七八

夏茶中心期 洋行採辦 上茶暢消

大稻埕最近茶況。據臺灣茶共同販賣所。于九日所調查。本週爲龍茶市。夏茶買賣。商機漸熟。輸出洋行一齊採買。故再製茶館一邊。亦爲存貨出售大奔走。市面有緊張之態。然買賣狀態。因兩者之間呼價甚差。殊不能相就。以是採買無多。一面粗製茶出貨。現適夏茶盛出中心期。來貨漸增。上茶異常暢消。唯中下茶。一味停頓。價格一張一弛。步調不定。概見保持無變。是日粗製烏龍茶價格。大葉烏龍種極上六十圓。上二十六圓。中十七圓。下十三圓。青心種極上六十圓。上二十六圓。中十七圓。下十三圓。黃柑種上二十圓。中十五圓。下十一圓。時茶種上十七圓。中十三圓。下十圓。

欲期海關自主保全 滿洲國熙財政總長 十一日將發第三次聲明

八日新京電。滿洲國欲期海關自主保全。來十一日頃。將以熙洽財政總長之名。發左記第三次聲明。

一、大連海關其他全滿各海關。完全在滿洲國主權下。
一、滿洲國領土內。不論他國主權所屬。何等海關。皆不許其存在。蓋大連海關之存在。乃滿洲海關自主權之侵害。第三國之干涉的調停。斷欲排擊之。
一、大連徵稅事務。仍於現在事務所行之。
一、國債擔保償還金中。滿洲國之分擔額。將他國認爲當之額。繼續供託於橫濱正金銀行。準備不論何時。皆得支給。
一、是故將來償還金支給有障害時。一切責任。應歸南京政府也。

臺北市新試 納稅施設 徵學童感想文

臺北市諸稅金。已自本月入納稅期。每日配達告知書。從來爲納稅期日周知納稅觀念普及向上。藉青年團。在鄉軍人團。町委員保正等。爲之種種宣傳施設。頗得相當效果。而本年市役所。創舉養成納稅觀念之映畫。對市內小公學校兒童。使爲觀覽。大博好評。在學校學習時。而教以對納稅概念程度。因此次之映畫。大有感得納稅之重大。斯由公民教育上而言。可謂大成功。此際更欲加一層普及改善。對小公學校五年以上兒童。將學習所得智識。而由此次之映畫。以爲休暇中之課題。務作感想文。而供爲將來對策上貴重參考資料。又此等文之優秀者。將見機公表于一般。其他亦一新計畫。經學校一選之援助。以圖納稅思想普及改善云。

臺灣現住人口 四百七十一萬餘 比前年自然增加十二萬

本島昨年末現在。人口及同年中人口動態。據督府官房調查課調查。去八日發表。

現住人口

昭和六年末。臺灣現住人口四百七十一萬五千二百七十八名(除蕃人生蕃)。較之前年。增十二萬二千三百六十六人。而對人口千人率二六、六。比前年低下二、六。各州廳別如左。

▲臺北州　九十五萬四千三百四十九人
▲新竹州　六十八萬三百九十九人
▲臺中州　百四萬七千八百四人
▲臺南州　百二十一萬五千五百二十人
▲高雄州　六十二萬三千六百八十三人
▲臺東廳　四萬八千九百三十四人。
▲花蓮港廳　七萬九千五百七十三人。
▲澎湖廳　六萬五千十六人

而人口動態。結婚四萬二千四百六十八件。一日平均百十六件。比前年減三千八百九十六件。離婚三千八百八十九件。一日平均十一件。比前年減四百十一件。生產二十一萬七千百三十六人。一日平均五百九十五人。比前年增加一萬四百四人。死產七千六百九十二。一日平均二十一人。比前年增三百四十一。死亡十萬千七十七人。一日平均二百七十七人。增二萬千四百二十三人。而人口自然增加。六年中生產中扣除死亡者。增加十一萬六千五十九人。一日平均三百十八人。比前年減一千十九人。

臺南運河邊 建地藏尊 按十六晚開眼

臺南市運河。自開鑿以來。投水自殺者多。爲考究防止策。自客年來。欲建一地藏尊于運河邊。因募資不易。延至而今。日前乘臺南市納涼大會。集寄附金得千三百圓。乃急興工建設。按納涼開會中之十六晚。與大舉開眼式及普施鬼魂。又臺南署。近將樹立防止牌。及點電燈照明運河。力講防止投水之法云。

臺南水道 沈澱池增設

臺南市水道沈澱池。增設一[illegible]

時評

國步艱難。至此極矣。政府有意匡救時局。固可想知。然能力排萬難而斷行之乎。則不易揣摩也。

○

政友於此。頗見積極主張。且提出徹底的政策。以問國民。力與之爭。政府或鑑組閣非常之義。自不得不順應矣。

○

都中朝野名士。倡設護國義勇團。由大學專門學校拔出青年學生。指導訓練。將來得與軍警相資爲用。而國家又省費。非不便宜乎。

○

國民警察官。護國義勇團。練得成功。用得有效。舉國皆兵。名實相稱矣。必要得其人而主持之。

○

經濟株式小康。本邦公債騰貴。美棉行情亦起。貿易上。有好影響矣。

○

本島人口。四百七十一萬五千餘人。繁殖之力強矣。今也。生活難。就職難。日有所聞。非地有遺利。民有餘力之故乎。

○

海外謀發展。島內亦謀發展。究竟二者之中。當以島內發展爲必要。島米移出。尤其至切者。殖產局與地方廳。各期數十年之力。幾有今日耳。

○

移出制限或成。關係官廳之努力。遂同水泡。獎勵之農村。必至於不可收拾。督府及地方廳。市街庄財政。勢必相當打擊矣。

○

督府農村救濟案。尚在五里雲霧中。忽聞此稍害經濟之惡消息。農戶米商。惶恐反對。檄告全島街庄長。求爲援助。問題大爲

○

全島街庄長。約三百人。組織結束爲一心。如內地町村長協會。加之全島商工團體。其力雄厚。陳情有力矣。全島民心若念。輿情激昂。斷不容小視也。

○

海賊在近海。劫掠邦船。殺戮船員。橫肆甚矣。迫擊一次。豈易乎。其膽而奪其魄哉。

州當局。及國庫補助。工事遂得促成。該工事之估價包辦。去八月十時。集諸包辦人於市財務課競簽。初時超過豫算。後再開票。結局以萬七千四十圓。由王媽成簽定。而工事用品中之纖管市自備。洋灰則仰諸官給。按雨期後著手云。

萬華水溝 按來年開鑿 渡邊課長談

臺北市綠町。龍山寺町一帶地勢窪下。每當豪雨淡水河氾濫時。該地一帶恒被水浸。一昨年來綠町一丁目。新築家屋數十戶。而下水溝尚未開鑿。若內地人部落。則先造水溝而後建屋。木島人部落。如是遲緩。同地居民。令詢市當局以開鑿時期。輒云尙未計上經費。該地水溝不造不獨大雨人家水漲。且汚水時常溜積。致蟲發生。本年尤甚。茲據渡邊市衞生課長云。來年度當計上經費。從事開鑿。惟本市豫算支絀。若家屋所有者。負擔其工費之三分一。卽一戶假如三間。一間三圓。一戶總工費九圓。住民負擔三圓則更容易著手也云。

理髮店失款 盜者爲福州人 欲爲歸國川資

瑞芳庄龍潭堵整容軒理髮所店主黃乃卿。去六日下午十一時頃。在自店內被人竊盜現金二十五圓。後由瑞芳派出所。探知盜人爲福建省福州人。現住所不定之李依堂。年十七。若夫動機。則李現失業。日在基隆方面流浪。雖得糊口。四五日前來瑞。向店主黃。懇求一職。受黃同情雇入。經二三日。李欲歸本國。若乏川資。卽起背義之心。將黃所藏之金子竊出。事至七日朝五時頃。欲出發時。被黃發見挽歸。種々取調。乃自供出。並云該金埋藏於瑞芳驛邊石炭堆內。不知被何人竊去。目下李送郡取調中云。

老爺嶺兵匪五、六百 襲擊輸送列車

八日新京電。七日吉敦沿線新站附近戰鬥。載負傷兵六名之輸送列車。在老爺嶺附近。受五六百名兵匪襲擊。投爆彈於社內。護衛兵四名。受瀕死重傷。列車以全速力。至八日午前十一時。始到吉林。脫離危地。目下吉林守備隊出動討伐中。

兵匪占領橫道河子 殺虐縱火靡所不爲

八日哈爾賓電。兵匪占領東鐵東部線橫道河子。其部除二千。有砲二門。目下狂亂。食料掠奪中。不應命之中俄人被其殺戮放火。不知凡幾。同地一帶。火災沖天。慘狀莫名。

全進丸遇海賊被劫 調查證據品附豫審 移牒督府成外交問題

既報夜海賊船襲擊之第二十二全進丸。去八日晚。由東州刑事課長及野田。木村兩警部赴基。詳細取調事件內容。去九日朝。與基隆署清水刑事主任赴水上派出所。取調全船員。下午有豫審判官亦到共蒐集證據品。事件卽附豫審。然後移牒于督府。成外交問題。頗該問題爲木島未曾有之事件。今後如何。頗惹一般注目。又該船長原崎氏。搭下午列車。出頭于警務局就前後事情。詳細報告。

兩船員重傷 全癒要一月

負傷之川本松太郎。古田泉兩船員。入基隆醫院治療。據河田院長談曰。川本摘出彈丸二發。內一彈由左背透腋部附近。頗爲重傷。古田摘出四彈。內一彈在頸部。因近顏面神經。摘發大費苦心。經過均順調。諒一箇月後可望全癒也。又據州刑事課木村警部談曰。余見摘出彈丸之裝藥管甚細。究爲在何種銃未明。

來函照錄

島內到處。開演歌劇。其藝廻。其歌曲。多傷風敗俗。有心人莫不排斥。當局亦常禁止。無如斗六街某々。只圖個人私利。不顧地方風紀。每聘各處歌劇到斗六座開演。有無知婦女。被其淫詞所迷。與藝員私通。或與私奔。實難枚舉。目下斗六座開演中之某歌仔戲。亦與前者無異。每夜演至午後十時頃。變更邪淫戲題。更弄醜舌。挑惹觀劇中之婦女。頗及地方之人士。聞將鳴鼓而攻之。拉願當局。關心檢束。地方幸甚。

阿里眠月線 殺人放火案 現場檢證

阿里山眠月線下殺人放火事件。由臺南地方法院合議部。準備公判。去六日有判官。檢察官。書記等及刑事課長。司法主任等拉卒犯人大谷龜八。東吾一。入山實地檢證。八時在現場公判開廷。九日朝下山。在嘉義檢察局。訊問證人。十日歸南云。

臺北州下市郡 商工主務者 磋商會

臺北州於來十五六兩日。將於州廳會議室。開市郡商工主務者磋商會。時値財界不況深刻。且有農漁村救濟問題。特使出席者研究對策。提出事項。早已印刷配布。附議事項如左。

諸問事項
一、對於現下經濟界不況產業組合對策如何。

協議事項
一、信用組合農產物擔保貸付之事。
二、農村信用組合聯合會事業充實促進所關之件。
三、出荷團體組織所關之件。
四、米穀法實施促進所關之件。
五、品評會所關之件。
六、卸賣市場。小賣市場行情調查之件。
其他指示事項有產業組合不詳事防止所關之件外十一件。

年六年五二幼童 搭車赴林鳳營啼哭 其父母急雇自動車往迎

月之七日午前九時。有斗六街斗六人王枝旺之長男王坤輝。年六。及同地蕭火之子蕭金龍年五。遊於街路。一時消息不明。其父母一面向警察課報知。一面四處尋覓。概杳如黃鶴。迨至午後八時頃。忽接警察課之報。二童子現於林鳳營啼哭。家人聞報急雇貸切自動車往迎。據二童子談云。是自己去乘火車。非受他人拐誘。

不正行商 涼水當葡萄酒 在溪湖就捕

自稱爲豐原郡豐原街新高商會主■紀新傳。年三十八。自去月來。將原價一罐二十五錢所買之薬血涼水。携往四處。欺騙各家庭婦女。詐稱爲生葡萄酒。一罐賣價一圓三四十錢。去三日到員林郡溪湖庄行賣。被同地溪湖派出所發吏探知。檢舉送郡現取調中。聞被害者大部分。爲少出門婦女。故取調係官。希望一般家庭婦女。對各種行商人。須要十二分注意之也。

林熊祥氏 滿洲國獻金 正手續中

都中近訊。林熊祥氏。自滿洲國。歸次郡中。決定以金若干。獻之滿洲國。正手續中。據其臺北大有會社。所接消息。來一禮拜。將聚留學子女歸臺。屆時可知其於滿洲國。如何計畫云。

翰墨因緣

▲彰化崇文社第百七十一期課題並附崇新詩吟社第四十七期課題。擬定如左。文題。一題目。文明與衛生與文明形式對於國家社會孰益論。二交卷。彰化崇文社內黃臥松。三期限。昭和七年十月末日。四贈品。十名以內均有薄贈。新竹市北門。李逸樵先生寄附。五文宗。鄭潞源氏。詩題。一題目。富苦樂七律不拘韻。二交卷。彰化崇文社附屬新詩吟社。三期限。昭和七年十月末日。四贈品。十名以內均有薄贈。彰化延陵後宮氏寄附。五詞宗。鄭潞源氏。

公開投稿

[illegible]

古詩文言文 獎勵愛護論

蘇箏運

近來島內諸有志。極欲提倡振興漢學。但可惜一部。喜拾歐美人牙慧。云々要革新。乎無視前人古詩[illegible]已。使成一種畸奇文字。則誠何心。玆特介紹湖南碩學羅道帆氏之古詩文言文。獎勵愛護論。以質諸大方有識階級者。羅氏有言曰。求樹木之長茂者。必固其根本。欲江河之浩蕩者。必浚其泉源。冀思想之發達者。必培其精神。吾於是有慨於今之提倡新文化者矣。彼其言曰。舊時代之文學。是奴隸制度產物。束縛民族思想之罪孽。宜及時驅除。代以新詩語體文。呼號今。古代[illegible]晶品。更進而爲搆造精密之創制品。何則上古之時無赫々君主。而犂壞卿雲已具文學雛形。範經爲詩藝之大成。朱晦菴謂多出於里巷歌謠之作。所謂男女詠歌。各言其情者也。此猶不過形容其流露眞情一部。至其中或諷或刺。或頌或款。不一而足。大都是思想。稍受剩殺。與自然成爲文章。而由無正小安小雅諸詩。尤貞述國家之過失而無忌。此其不屈不撓之精神。實足感動千古。[illegible]制度之產生物。笑言其可以束縛民族思想也。周公孔子。相繼代興。周禮孔言皆以文學之精神。施之于事。立千古之以法。傳千古之道統。其構造精密爲何如。固今之言廢除者。抑拔本塞源之說也。廢除之說。已深入一般青年耳鼓。欲固根本於待拔。溶泉源於將塞。其惟實行獎勵政策。而起其愛護之心歟。開爲論之。椿育旗歌成旻以治。卦聲頌成。周召以與。時書正。春秋作[illegible]獎誉坑儒。秦漢忽焉。除挾書律。搜集遺書。廣開興館。漢唐之獎勵爲。提倡獎勵而收成功。破壞磨滅。而呈惡果。若合符節。蓋國家之盛衰。關係文物制度之良否。文物制度之成立。必有嚴密之思想之周詳之計畫。而欲思想之嚴密計畫之周詳。非細心密理者不能。古詩文言文論理萬物。動語精微。實爲攻錯思想之良工具。思想旣嚴密。心理自細密。遂施之於萬事萬物。而無不宜。[illegible]而學術之所以不發也。近代大科學家大政治家。其詩其文。雖不豪邁一時。矧曰。字璣珠璣。璧錯琳琅。足以娛心樂意。抑通乎此而後貫於彼。此前代聖君賢王。魁儒長者之所以盡力提倡極意愛護也。彼新詩語體文。任意誑謬。漫無紀律。而欲於其中收啓發思想窮極理趣之效。難矣哉。近觀遠察。功效顯然。幸重爲獎勵而振作之。重爲愛護而培植之。毋使古詩古文之巨大精神。湮沒於萬頃狂瀾中也。

宜蘭 特科講演

臺灣總督府警察官練習所講習生一行六十餘名。去八日來蘭。午前十一時半。在宜蘭警察課內。招請市內三紳商爲特科生。開講演會。演題。

一、領臺前之文化　區中聯合會長　湯碧格氏
二、領臺前之關稅市況及衛生比較　第一保正　劉石炭
三、明治二十九年前後之土匪攻城實見談　楊永昌氏

新竹 發表陞敍

荻阪新竹中學校長。者番發表陞敍高等官三等。郡內務部長一級俸下賜。龜山新竹高女教諭。敍高等官四等。齋藤桃園郡守。敍高等官四等。下賜四級俸。而大湖山下郡守。與谷警務部長。鈴樹南投郡。矢野竹南郡守。各下賜五給俸云。

旅規發表

昭和製糖株式會社。去八日午前正九時起。在關東郡二結。該會社集會所。招待一區內重要蔗作者多數。開昭和八年期。蔗作規程發表會。

村嫗無行

新竹郡香山庄下某甲之妻楊氏年四十有餘。年來往々乘夫不在中。與近隣某少年來往。其後該少年。更與同庄陳某之女有染。楊氏於于不滿。楊氏憤無可洩。去六日邀陳女卽咆哮截其進路毆之。然因年老反被陳女奪去手中竹棒。毆傷目下楊氏臥病床。經受醫診斷數天。云不日欲提出告訴。一面其夫聞知其妻。與某少年有染。亦擬對某少年。提出姦通訴狀云。

北斗 私財造路

北斗郡竹塘庄竹塘信用組合長詹錦河氏。平素熱心。凡地方公益。皆率先爲之。者番感及竹塘九塊厝間。保甲道路。凸凹不堪。特支出私財千餘金。買入砂石。備工敷設。現道路之平坦。不遜州有道路。極便於通行云。

輕減稅金

北斗郡下海岸地方。去年間蔗作物受霜害甚巨。農民之悲慘。疊登本紙。其後得松尾北斗郡守。及各街庄長出爲奔走。要求救濟金。及向州當局。歎願減稅。去三日得州當局。通知補助金。給與左記二庄。其他因庄有剩餘金。及其他關係。故無受補助。然對稅金。亦得撥減云。

大城庄補助一四〇〇圓對此稅額(每圓)加二圓八十錢
沙山庄補助一〇〇〇圓對此稅額(每圓)加二圓七十五錢

早稻豐收

北斗郡下海岸地方。去年蔗作物受霜害。農民悲慘。莫可言狀。此回始受當局特與輕減稅金。而現值早稻收穫之期。不期克得意外豐收。而海岸地方之蓬萊種。郡中心地方之在來種。比於例年。各增收三成。一般平均。得二成以上云。

員林 竊犯送局

前後五六回。竊盜諸神明之金牌犯。永靖人陳禽鑑。去月來留置於員林郡取調中。究因不肯實供。然至最近。撿全部調查告完。去八日。與以一角書類。送犯人送臺中檢察局究治中云。

訴訟組長

永靖信用組合元監事周謙。爲職務上訴欵。乃由役員會決議去四月中。被組合强行解職。依同氏談云。余不知受解職理由。故於去月。以組合長陳慶雲氏爲對手。向臺中地方法院提出給料一個月分。及一個月分賞與金。計六十四圓之請求訴訟。評定本月二十一日。開第一回口頭辯論。其結局如何。頗惹一般所注目云。

新任敍禮

元臺中州刑事課勤務之賀淵刑事。此回轉勤員林郡。七日來任。八日受郡刑事導向街內重要紳商處敍禮。

巡廻電映

[illegible]共濟會。訂十日映寫之夕自是夜七時起。由竹州社會事業協會後援。在新竹座。開社會事業宣傳巡廻活寫。

斗六 國講學藝

斗六街溝子埧公學校。自內田校長。赴任以來。教育有方。近更與佐藤巡查連絡。在溝子埧公學校區域內之各部落。鼓設國語講習所。去四月起。新設之講習所者。有溝子埧。坊溪。水碓。九老寮。大崙五處。去八日午後一時。更召集各所生開學式。由各所選出演者。是日有都河野郡守。鄭街長。與會記等臨席。及父兄百餘名。皆發賞其成績優良云。

會事

▲臺南州主催。農家青年幹部講習會。定十日起十日間。開于市農林學校。講師富尾州教育課長。猪口新豐郡守。鈴木郡田。堀內三視學。及其他等講習員乃州下小公學校職員六十名云。
▲宜蘭地方初巡視中之臺北州龍元內務部長。玉手地方課長。放塚州視學。去七日夜。宿宜蘭官民。約四十名。假宜蘭宴亭。爲開歡迎宴。

詩壇

直江津訪仙堂麥畝二

三州 高橋竹迷

張家

春風直江路。百里訪君家。殊衷心空裕。海天波碎花。

○

客裡相逢感慨深。禪機飛處兩同心。一帆不見海天遠。松籟濤聲無古今。

轉結赤霜赤飛。

戶倉溫泉

三載重來何限情。涼々猶聽曲川聲。靜看堤上源風穴。千尺虹橋兩岸横。

小々香繡渡曲川。吟風嘯月又三年。偏驚晴嶂松皆大。且喜空階花尚妍。風捲碧波浮淡霧。情流玉沫溯温泉。重登八十齡逾五。躍躍眞同地上仙。

謝森田眞海君惠贈奕堂禪師書裝表二字額

詩解禪意松長在。閣句偏驚晴嶂松皆大。與陸同一感想。後聯全氣。吾亦有志而未之逮焉。

潤菴漫評

金塊行情 銀塊行情 滙水

英美滙水　九日
英美滙水　三弗五八仙八分一

金塊行情　八日
上海金塊　七六一兩

銀塊行情　九日
倫敦現物　一六片四分三
同　先物　一六片一六分一三
紐育現物　二六仙六〇分
同　先物　一八仙五分

對外滙水　九日臺灣銀行賣値
倫敦電信賣　一志五片四分三
紐育　同　二六弗八五分
孟買　同　九六留比
新嘉坡　同　一五七四四分一
爪哇　同　六八盾
馬尼剌　同　一八〇圓
上海(參考賣)(同電報)　八一七兩　八一兩四分三
漢口(參考賣)　七九兩
福州　同　八二圓四分一
廈門　同　八二圓
汕頭　同　八二圓
香港　同　八八圓
廣東　同　八八圓

漢文 臺日案內

雜件

ジャズ演奏　同聲俱樂部
每週水土日曜　電七七四